

上 下 水 道 事 業 年 報

平成 30 年度(2018 年度)

堺市上下水道局

《はじめに》

本市では、明治 43 年に水道の給水を開始し、昭和 27 年に下水道の整備を始めて以来、普及を進めてまいりました。水道は平成の初期に整備が完了し、下水道についても、平成 16 年の水道局と建設局下水道部の統合を経て、平成 26 年度末に公道部分の整備が概ね完了しました。

上下水道局では、「安全安心なライフラインの確保」と「将来に向けて快適な暮らしの確保」を使命に事業を実施しています。水道事業においては、「蛇口をひねればおいしい水が出る」、下水道事業においては、「お使いいただいた水をきれいして、川や海に戻す」という、市民や企業活動を支える大切なライフラインをこれからも守り続けます。

平成 28 年度からは中期経営計画である『堺市上下水道ビジョン』を新たに施行し、計画に基づく目標管理による事業推進を行うことで、持続可能な上下水道事業の構築とお客さまから信頼される組織をめざしています。

この上下水道事業年報は、《上下水道局》・《水道事業》・《下水道事業》の 3 編で構成され、上下水道局の組織や料金体系、水道・下水道の事業実績、業務統計などについて、基礎資料の蓄積を目的に毎年発行するものです。各種分析に活用いただくとともに、生活に欠かせない水道・下水道事業について、身近に感じていただければ幸いです。

目次

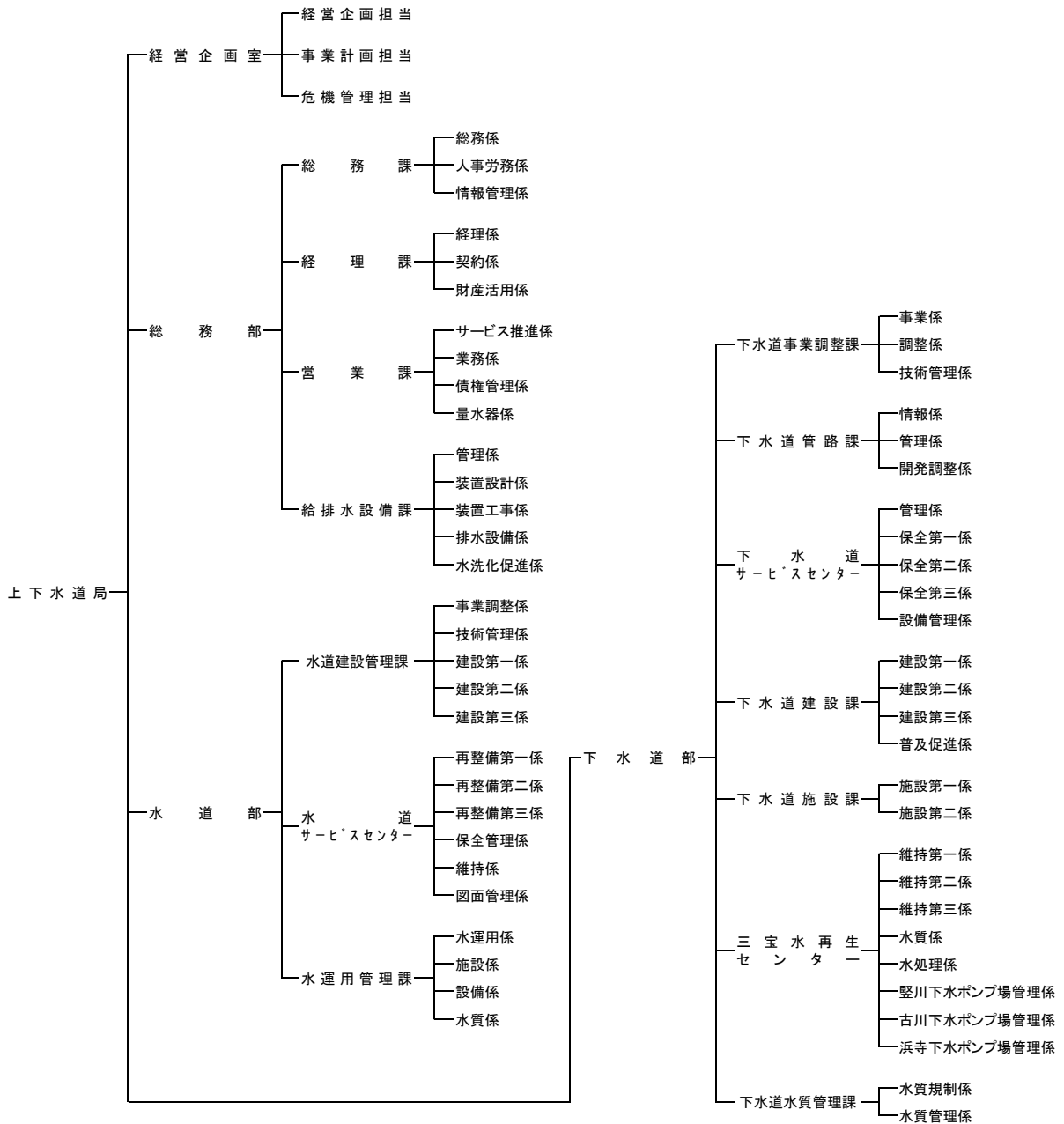
《上下水道局》		2 料金	
I 組織		2-1 使用区分別調定表	P. 38
1 機構		2-2 用途別・口径別調定表	P. 39
1-1 機構図	P. 1	2-3 月別徴収率	P. 40
1-2 事務分掌	P. 2	2-4 納入方法別件数の比較	P. 41
2 職員数		2-5 検針	P. 41
2-1 推移表	P. 10	2-6 加入金収入の推移	P. 42
2-2 配置表	P. 11	3 維持管理	
II 広報広聴		3-1 月別薬品使用量等	P. 43
1 広報媒体		3-2 道路上維持修繕工事	P. 43
1-1 紙媒体	P. 12	3-3 水質試験	P. 44
1-2 デジタル	P. 13	4 経営状況	
1-3 SNS	P. 14	4-1 比較損益計算書	P. 46
2 双方向コミュニケーション		4-2 比較貸借対照表	P. 47
2-1 三宝あじさいまつり	P. 15	4-3 目的別原価	P. 47
2-2 夏休み自由研究 上下水道まなび隊	P. 15	4-4 経営指標	P. 48
2-3 みずからセミナー	P. 16	《下水道事業》	
2-4 ステップアップ研修	P. 16	I 事業概要	
2-5 わくわく！ワークショップ	P. 16	1 総括	
2-6 出前講座	P. 16	1-1 概況	P. 49
2-7 上下水道出前教室	P. 17	1-2 建設改良工事の実施状況	P. 49
2-8 PRブースの出展	P. 17	2 沿革	
III 料金体系		2-1 事業の歩み	P. 50
1 水道		2-2 事業の変遷	P. 54
1-1 水道料金	P. 18	2-3 計画概要	P. 55
1-2 加入金	P. 18	3 施設	
1-3 手数料	P. 19	3-1 施設一覧	P. 56
2 下水道		3-2 下水管きよ延長	P. 61
2-1 下水道使用料	P. 19	4 工事	
《水道事業》		4-1 管きよ布設事業	P. 62
I 事業概要		4-2 ポンプ場築造事業	P. 62
1 総括		4-3 処理場築造事業	P. 63
1-1 概況	P. 20	II 業務統計	
1-2 建設改良工事の実施状況	P. 20	1 普及状況	
2 沿革		1-1 業務量の概要	P. 64
2-1 事業の歩み	P. 21	1-2 普及の推移	P. 65
2-2 拡張事業の変遷	P. 24	1-3 処理水量の推移	P. 66
2-3 整備改良事業の変遷	P. 25	1-4 排水設備工事件数	P. 66
3 施設		2 料金	
3-1 施設一覧	P. 26	2-1 使用区分別調定表(使用規模別)	P. 67
3-2 管路延長	P. 28	2-2 用途別・月別調定表	P. 68
3-3 配水施設位置と給水区域図	P. 30	2-3 月別徴収率	P. 69
4 工事		3 普及促進	
4-1 配水管整備事業	P. 31	3-1 里道・水路敷の下水道整備	P. 70
4-2 配水管改良事業	P. 32	3-2 私道の下水道整備	P. 70
4-3 配水場整備事業	P. 32	3-3 環境整備資金貸付金制度	P. 71
4-4 配水場改良事業	P. 33	3-4 生活扶助世帯への助成制度	P. 71
4-5 その他施設整備工事	P. 33	4 維持管理	
II 業務統計		4-1 水再生センター	P. 72
1 普及状況		4-2 ポンプ場	P. 75
1-1 業務量の概要	P. 34	4-3 管路施設	P. 76
1-2 普及の推移	P. 35	4-4 管きよ系機械・電気設備	P. 77
1-3 給水量の推移	P. 36	4-5 水質規制	P. 78
1-4 給水量の内訳	P. 37	5 経営状況	
1-5 給水工事件数	P. 37	5-1 比較損益計算書	P. 81
1-6 開閉栓等の受付件数	P. 37	5-2 比較貸借対照表	P. 82
		5-3 目的別原価	P. 82
		5-4 経営指標	P. 83

I 組織

1 機構

1-1 機構図

(平成31年3月31日現在)



1-2 事務分掌

≫ 上下水道局

- (1) 水道の管理についての技術上の業務に関すること。

≫ ≫ 経営企画室

- (1) 局の重要な施策の企画、総合調整及び推進に関すること。
- (2) 経営の計画に関すること。
- (3) 事業の計画に関すること。
- (4) 水道料金及び下水道使用料等の制度に関すること。
- (5) 統計(業務状況説明書類を含む。)に関すること。
- (6) 国への要望等に関すること。
- (7) 日本水道協会、日本下水道協会、大阪広域水道企業団及び政令指定都市関係各種協議会に係る連絡調整に関すること。
- (8) 予算の総合調整に関すること。
- (9) 水需要の計画に関すること。
- (10) 上下水道事業全般に係る調査及び研究に関すること。
- (11) 庁内外の事業の調整に関すること。
- (12) 上下水道事業に係る国の補助及び起債の総括に関すること。
- (13) 広報及び広聴に関すること。
- (14) お客さまの声の活用の総括に関すること。
- (15) コールセンターの運営及び総括に関すること。
- (16) 危機管理の推進及び総合調整に関すること。
- (17) 防災対策の推進及び総合調整に関すること。
- (18) 災害対応に係る訓練に関すること。

≫ ≫ 総務部

- (1) 上下水道の整備工事に係る工事検査に関すること。
- (2) 上下水道の技術監理に関すること。
- (3) 部の危機管理に関すること。

≫ ≫ ≫ 総務課

- (1) 職員の出退勤の記録の整理に関すること。
- (2) 職員に係る諸証明に関すること。
- (3) 手当の認定に関すること。
- (4) 給与等(退職手当を含む。)の支給に関すること。
- (5) 給与等(退職手当を含む。)に係る税の源泉徴収及び特別徴収に関すること。
- (6) 職員の社会保険に関すること。

≫ ≫ ≫ ≫ 総務係

- (1) 上下水道事業管理者の秘書に関すること。
- (2) 文書事務の総括に関すること。
- (3) 企業管理規程の制定及び改廃に係る調整及び総括管理に関すること。
- (4) 情報公開及び個人情報保護に係る調整に関すること。
- (5) 公印の総括管理に関すること。
- (6) 局における内部管理マネジメントの総括に関すること。

(7) 局内及び部内の連絡調整に関すること。

(8) 他の部、部内の他の課及び課内の他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫人事労務係

(1) 職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。

(2) 人材育成に関すること。

(3) 職員研修に関すること。

(4) 職員の給与制度に関すること。

(5) 職員の福利厚生に関すること(社会保険に関するものを除く。)

(6) 労働安全衛生に関すること。

(7) 公務災害に関すること。

(8) 労働組合に関すること。

(9) 局の組織及び職務権限に関すること。

≫≫≫情報管理係

(1) 局本庁舎及び附帯施設の保全及び維持管理に関すること。

(2) 情報化施策の調整及び推進に関すること。

(3) ITの効率的運用及びセキュリティ管理に関すること。

≫≫≫経理課

≫≫≫経理係

(1) 基金に関すること。

(2) 出納に関すること。

(3) 資金計画に関すること。

(4) 予算(経営企画室の所管に属するものを除く。)及び決算に関すること。

(5) 企業債に関すること。

≫≫≫契約係

(1) 工事及び委託業務等の契約に関すること。

(2) 契約事務の総括指導及び調整に関すること。

(3) 物品の購入及び不用品の売却に関すること。

≫≫≫財産活用係

(1) 公有財産の取得、管理及び処分に係る事務の総括調整に関すること。

(2) 他の部課等の所管に属しない普通財産の管理及び処分にに関すること。

(3) 水道事業に係る土地の境界確認、不動産の登記手続、不動産の買入れ及び物件移転その他の補償に関すること。

(4) 車両の総括管理及び賠償事務に関すること。

(5) 上下水道施設に係る事故に伴う賠償事務に関すること。

(6) 車両及び上下水道施設の保険事務に関すること。

(7) 貯蔵品(水道メーターを除く。)に関すること。

(8) 財産の有効活用に関すること。

(9) 課内の他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫営業課

≫≫≫サービス推進係

(1) 水道及び公共下水道の使用、計量、徴収等に係る業務の総括に関すること。

(2) 水道料金及び下水道使用料の管理等に係る電算システムに関すること。

- (3) 水道料金及び下水道使用料の収納管理に関すること。
- (4) お客さまサービス向上の企画、推進及び調査に関すること。
- (5) 公共下水道、地域下水道、再生水の使用料等の徴収に係る経費負担の調整及び区域外給水の水量通知に係る契約に関すること。
- (6) 課内の他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫業務係

- (1) 水道及び公共下水道の使用の開始、休止等に関すること(給排水設備課の所管に属するものを除く。)
- (2) 料金算定の特例の適用(住居専用建物等に係る戸数認定を含む。)に関すること。
- (3) 水道メーターの検針及び使用水量の計量に関すること。
- (4) 水道料金及び下水道使用料の調定、更正及び減免に関すること(給排水設備課の所管に属するものを除く。)
- (5) 再生水に係る利用開始の届出の受付、利用水量の計量及び利用料の収納に関すること。
- (6) 水道及び公共下水道の使用証明及び納付証明に関すること。
- (7) 臨時給水に関すること。
- (8) 環境整備資金貸付金に関すること。
- (9) 水道の使用開始及び使用休止に伴う水道メーターの設置又は撤去に関すること。
- (10) 公共下水道の使用水量、水道料金等に係る官公署等への情報提供に関すること。
- (11) 区域外給水の水量通知に関すること。

≫≫≫債権管理係

- (1) 水道料金及び下水道使用料の徴収、滞納整理その他債権管理に関すること。
- (2) 水道料金及び下水道使用料の口座振替の処理及び過誤納金に関すること。
- (3) 水道料金の滞納に係る給水停止等に関すること。
- (4) 水道料金の法的措置及び下水道使用料の滞納処分に関すること。

≫≫≫量水器係

- (1) 水道メーターの総括管理(品質に係ることを含む。)に関すること。
- (2) 貯蔵品(水道メーターに限る。)に関すること。
- (3) 水道メーターの維持管理及び検定満期の取替えに関すること。
- (4) 住居専用建物等に係る各戸検針及び徴収並びに各戸メーターの取替えの契約に関すること。

≫≫≫給排水設備課

≫≫≫管理係

- (1) 給水装置の管理指導に関すること。
- (2) 貯水槽水道の衛生的管理に係る調査、指導、助言、勧告及び情報提供に関すること。
- (3) 指定工事業者に関すること。
- (4) 課内の他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫装置設計係

- (1) 給水装置工事の事前協議及び設計審査に関すること。
- (2) 給水装置の構造及び材質基準に関すること。
- (3) 給水装置工事に係る市納付金の調定に関すること。
- (4) 水道管等各種図面の閲覧等に関すること。

≫≫≫装置工事係

- (1) 給水装置工事の検査に関すること。
- (2) 給水装置工事に伴う材料費負担及び接合替保留の復元に関すること。

- (3) 鉛製給水管取替工事に係る補助に関する事。
- (4) 給排水設備工事管理システムに関する事。
- (5) 給水装置工事に係る市納付金の収入及び還付に関する事。

》》》》排水設備係

- (1) 排水設備の設置に関する事(下水道部の所管に属するものを除く。)
- (2) 再生水給水設備工事に係る申請の受付及び検査に関する事。
- (3) 生活保護世帯の水洗便所設置に係る補助に関する事。
- (4) 浄化槽の雨水貯留施設転用に係る補助に関する事。
- (5) 排水設備の接続開始又は下水道使用料を水道料金と別に徴収する場合における公共下水道の使用開始の受付及び処理に関する事。
- (6) 下水道使用料に係る汚水排出量の認定、調定、収納、更正等に関する事。
- (7) 排水設備の管理指導に関する事。
- (8) 公共下水道管等各種図面の閲覧等に関する事。

》》》》水洗化促進係

- (1) 水洗化促進に関する事。
- (2) 公共下水道の無届使用家屋等の調査及び啓発に関する事。
- (3) 公共下水道の使用の態様の調査に関する事。
- (4) 受益者負担金に関する事。

》》水道部

》》》水道建設管理課

- (1) 部の危機管理に関する事。

》》》》事業調整係

- (1) 部の整備改良事業予算に係る総括管理に関する事。
- (2) 水道の整備事業に係る進行管理及び調整に関する事。
- (3) 水道の整備事業に係る起債及び国庫補助金の申請に関する事。
- (4) 水安全計画の総合調整に関する事。
- (5) 部内の連絡調整に関する事。
- (6) 部内の他の課及び課内の他の係の所管に属しない事。

》》》》技術管理係

- (1) 水道の整備工事に係る基準及び単価の管理に関する事。
- (2) 水道の整備工事に係る設計審査に関する事。
- (3) 電算システムの保守点検に関する事。
- (4) 水道の機器材選定に関する事。

》》》》建設第一係・建設第二係・建設第三係

- (1) 基幹管路(導送配水管で配水管の口径が350mm以上のものをいう。以下同じ。)の整備に係る実施計画に関する事(建設第一係に限る。)
- (2) 基幹管路等の水道管の整備改良工事に係る設計及び施行に関する事。
- (3) 公共工事及び民間の開発工事に伴う水道工事及び給水管の整備改良工事に係る設計に関する事。

》》》水道サービスセンター

》》》》再整備第一係・再整備第二係・再整備第三係

- (1) 基幹管路以外の水道管の整備に係る実施計画に関する事(再整備第一係に限る。)
- (2) 基幹管路以外の水道管及び給水管の整備改良工事に係る設計及び施行に関する事。

(3) 公共工事及び民間の開発工事に伴う水道工事及び給水管の整備改良工事に係る設計及び施行に関するこ
と。

(4) 課内の他の係の所管に属しないこと(再整備第一係に限る。)

≫≫≫≫保全管理係

- (1) 計画的な漏水調査に関すること。
- (2) 水道管等に係る現地立会及び防護指導に関すること。
- (3) 事故復旧後の舗装本復旧に係る契約、許可申請及び施工に関すること。
- (4) 弁栓類及び水管橋、耐震性貯水槽及びあんしん給水栓の調査及び維持管理に関すること。
- (5) 水道管等の維持管理業務等に係る精算に関すること。

≫≫≫≫維持係

- (1) 給水異常の調査及び処理に関すること。
- (2) 水道管等の維持管理業務等に関すること。
- (3) 夜間及び休日における情報調整に関すること。
- (4) 休日指令室に関すること。

≫≫≫≫図面管理係

- (1) 水道管等各種図面に関すること。
- (2) 道路及び河川等の占用に係る継続許可申請に関すること。

≫≫≫水運用管理課

≫≫≫≫水運用係

- (1) 水運用に関すること。
- (2) 所管の水道施設(設備係の所管に属するものを除く。)の維持管理に関すること。
- (3) 受水契約に関すること。
- (4) 課内の他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫≫施設係

- (1) 所管の水道施設(設備係の所管に属するものを除く。)の整備に係る実施計画に関すること。
- (2) 所管の水道施設(設備係の所管に属するものを除く。)の整備改良工事に係る設計及び施行に関すること。

≫≫≫≫設備係

- (1) 所管の水道施設の機械、電気及び計装設備の整備に係る実施計画に関すること。
- (2) 所管の水道施設の機械、電気及び計装設備の整備改良工事に係る設計及び施行に関すること。
- (3) 所管の水道施設の機械、電気及び計装設備に係る維持管理に関すること。

≫≫≫≫水質係

- (1) 水質検査及び水質管理に関すること。
- (2) 水質に係る情報の収集、調査及び研究に関すること。

≫≫下水道部

≫≫≫下水道事業調整課

- (1) 部の危機管理に関すること。

≫≫≫≫事業係

- (1) 部の予算及び決算の総括及び調整に関すること。
- (2) 国、府、政令指定都市その他関係公共団体との連絡調整に関すること。
- (3) 関係公共団体との協定等の締結に関すること。
- (4) 部の業務に係る請負及び委託の契約事務に関すること(経理課の所管に属するものを除く。)
- (5) 公共下水道のサービス向上施策の企画及び推進に関すること。

- (6) 部内の連絡調整に関すること。
- (7) 部内の他の課及び課内の他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫調整係

- (1) 公共下水道等の築造予算に係る執行管理及び決算に関すること。
- (2) 下水道事業の予算執行上の調整に関すること。
- (3) 支障物件移設負担金に関すること。
- (4) 公共下水道事業に係る国の補助金の申請及び部内の総括に関すること。
- (5) 流域下水道事業に関すること。
- (6) 流域下水汚泥処理事業に関すること。
- (7) 堺市バイオソリッドコンポスト化事業に関すること。
- (8) 公共下水道事業実施に伴う庁内外の調整及び計画協議に関すること。
- (9) 雨水貯留タンク設置助成金交付制度に関すること。

≫≫≫技術管理係

- (1) 公共下水道の設置及び改築に係る実施設計及び工事(以下「公共下水道工事等」という。)の設計及び積算に係る基準並びに単価の管理に関すること。
- (2) 公共下水道工事等の共通仕様書に関すること。
- (3) 公共下水道工事等の設計審査に関すること。
- (4) 公共下水道工事等の入札参加資格の条件設定に関すること。
- (5) 下水道電算システムの保守点検に関すること。
- (6) 下水再生水及び下水熱利用に関すること。
- (7) 下水道事業に係る技術開発等の取組に関すること。

≫≫≫下水道管路課

≫≫≫情報係

- (1) 下水道台帳に関すること。
- (2) 公共下水道の供用開始の公示等に関すること。
- (3) 公共下水道(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)のアセットマネジメントの実施に関すること。
- (4) 課内の他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫管理係

- (1) 公共下水道(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)の占有に関すること。
- (2) 部の所管に係る管理用地(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)に関すること。
- (3) 法定外公共物等の調整に関すること。
- (4) 下水道サービスセンターとの連絡調整に関すること。

≫≫≫開発調整係

- (1) 開発及び開発に類する事業に伴う下水道関連事務に関すること。
- (2) 公共下水道に係るます設置の施工承認に関すること。

≫≫≫下水道建設課

≫≫≫建設第一係・建設第二係・建設第三係

- (1) 公共下水道(水再生センター及び下水ポンプ場を除く。)の設置及び改築に係る実施設計及び工事の監督管理に関すること(補助金等に関する連絡調整及び協定の締結を含む。)
- (2) 過年度未整備分の公共下水道に係るます設置に関すること。
- (3) 課内の他の係の所管に属しないこと(建設第一係に限る。)

≫≫≫普及促進係

- (1) 私道排水設備工事及び共同排水設備工事に係る補助金の交付に関する事。
- (2) 私道、里道及び水路敷への公共下水道布設に係る普及促進に関する事。
- (3) 私道への排水設備の設置に係る普及促進に関する事。

≫≫≫下水道施設課

≫≫≫≫施設第一係

- (1) 水再生センター、下水ポンプ場等の設置及び改築に係る実施設計及び工事の監督管理に関する事(補助金等に関する連絡調整及び協定の締結を含む。)
- (2) 水再生センター、下水ポンプ場等の設備のアセットマネジメントに関する事。
- (3) 課内の他の係の所管に属しない事。

≫≫≫≫施設第二係

- (1) 水再生センター、下水ポンプ場等の土木建築の設置及び改築に係る実施設計及び工事の監督管理に関する事(補助金等に関する連絡調整及び協定の締結を含む。)
- (2) 水再生センター、下水ポンプ場等の土木建築のアセットマネジメントに関する事。

≫≫≫下水道水質管理課

≫≫≫≫水質規制係

- (1) 事業場排水の水質監視及び規制に関する事。
- (2) 公共下水道の幹線の広域監視に関する事。
- (3) 除害施設の設置に係る指導に関する事。
- (4) 課内の他の係の所管に属しない事。

≫≫≫≫水質管理係

- (1) 公共下水道施設に係る水質調査に関する事。
- (2) 事業場排水及び公共下水道施設の水質検査に関する事。
- (3) 水質行政の企画立案に関する事。

≫≫≫各事業所共通

- (1) 事業所の庶務に関する事。
- (2) 事業所の施設の維持管理に関する事。
- (3) 諸報告及び統計に関する事。

≫≫≫下水道サービスセンター

≫≫≫≫管理係

- (1) 公共下水道(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)の予防保全に係るサービス向上施策の企画及び推進に関する事。
- (2) 他の係の所管に属しない事。

≫≫≫≫保全第一係

- (1) 堺区及び西区の区域の公共下水道等(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)の修繕及び改良工事に関する事。
- (2) 堺区及び西区の区域の公共下水道等(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)の清掃及び調査に関する事。

≫≫≫≫保全第二係

- (1) 中区、南区、北区、東区及び美原区の区域の公共下水道等(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)の業務委託に係る監督調整に関する事。

≫≫≫≫保全第三係

- (1) 中区、南区、北区、東区及び美原区の区域の公共下水道等(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)の

予防保全に向けた調査及び計画立案に関すること。

- (2) 中区、南区、北区、東区及び美原区の区域の公共下水道等(水再生センター、下水ポンプ場等を除く。)の管理区域内の管きよの修繕、改良工事及び改築更新工事の設計及び施行に関すること。

≫≫≫≫設備管理係

- (1) マンホールポンプの維持管理に関すること。
(2) 調整池の機械・電気設備の維持管理に関すること。

≫≫≫三寶水再生センター

≫≫≫≫維持第一係

- (1) 下水及びし尿の終末処理並びに雨水の排除に関すること(他の係の所管に属するものを除く。)
(2) 再生水施設の維持管理に関すること。
(3) 施設の安全衛生管理に関すること(維持第二係及び維持第三係の所管に属するものを除く。)
(4) 他の係の所管に属しないこと。

≫≫≫≫維持第二係

- (1) 下水ポンプ場、陵北樋門管理事務所及び幹線水位計に係る遠隔監視施設及び運転施設の維持管理に関すること。
(2) 下水ポンプ場の運転業務に係る委託に関すること。
(3) 下水ポンプ場の安全衛生管理に関すること。

≫≫≫≫維持第三係

- (1) 泉北水再生センター及び石津水再生センターに係る業務の委託に関すること。
(2) 泉北水再生センター及び石津水再生センターの維持管理に関すること(委託した業務を除く。)
(3) 泉北水再生センター及び石津水再生センターの安全衛生管理に関すること。

≫≫≫≫水質係

- (1) 水再生センターの水質検査及び水質管理に関すること。

≫≫≫≫水処理係

- (1) 下水処理施設及びし尿処理施設の運転及び管理に関すること。
(2) 再生水施設の運転及び管理に関すること。

≫≫≫≫竪川下水ポンプ場管理係

- (1) 竪川下水ポンプ場の運転及び管理に関すること。

≫≫≫≫古川下水ポンプ場管理係

- (1) 古川下水ポンプ場の運転及び管理に関すること。

≫≫≫≫浜寺下水ポンプ場管理係

- (1) 浜寺下水ポンプ場、湊石津下水ポンプ場、戎島下水ポンプ場及び出島下水ポンプ場の運転及び管理に関すること。

2 職員数

2-1 推移表

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
水道事業	事務職員	101	105	107	105	112
		(19)	(19)	(21)	(13)	(15)
	技術職員	156	158	159	155	164
		(16)	(17)	(18)	(17)	(24)
	計	257	263	266	260	276
		(35)	(36)	(39)	(30)	(39)
下水道事業	事務職員	50	44	52	58	55
		(5)	(4)	(7)	(5)	(6)
	技術職員	244	242	240	236	247
		(63)	(67)	(67)	(64)	(69)
	計	294	286	292	294	302
		(68)	(71)	(74)	(69)	(75)
上下水道局	事務職員	151	149	159	163	167
		(24)	(23)	(28)	(18)	(21)
	技術職員	400	400	399	391	411
		(79)	(84)	(85)	(81)	(93)
	計	551	549	558	554	578
		(103)	(107)	(113)	(99)	(114)

※管理者、非常勤職員を除く。ただし、再任用職員は含む。

※括弧内は、再任用職員及び任期付職員の内数。

※公益法人等への派遣職員を含む。

2-2 配置表

(平成31年3月31日現在)

部 課 名	職 名	事務職員(人)	技術職員(人)	合 計(人)
局			1	1
経営企画室		12	16	28
総務部		(1)	(3)	(4)
		1	4	5
	総務課	21	3	24
	経理課	(3)		(3)
		30	1	31
	営業課	(11)	(1)	(12)
		42	2	44
	給排水設備課	(6)	(7)	(13)
		27	36	63
	部計	(21)	(11)	(32)
		121	46	167
水道部			1	1
	水道建設管理課	3	32	35
	水道サービスセンター	1	(6)	(6)
			52	53
	水運用管理課	1	(2)	(2)
			30	31
	部計		(8)	(8)
		5	115	120
下水道部			6	6
	下水道事業調整課	4	(1)	(1)
			17	21
	下水道管路課	(1)	(5)	(6)
		2	24	26
	下水道サービスセンター	4	(13)	(13)
			45	49
	下水道建設課		(3)	(3)
			24	24
	下水道施設課	(1)	(1)	(2)
		1	13	14
	三宝水再生センター	(1)	(32)	(33)
		2	74	76
	下水道水質管理課		(5)	(5)
			19	19
	部計	(3)	(60)	(63)
		13	222	235
合計		(24)	(79)	(103)
		151	400	551

※管理者、非常勤職員を除く。ただし、再任用職員は含む。

※括弧内は、再任用職員及び任期付職員の内数。

※公益法人等への派遣職員（3人）を含む。

II 広報広聴

1 広報媒体

1-1 紙媒体

(1) 広報さかい

- 名 称 広報さかい
- 発行月 毎月
- 発行部数 4,461,747部（上下水道局に関する記事を掲載した月のみ集計）
- 発行形態 タブロイド版
- 配達方法 発行前月末日までにご家庭のポストに個別宅配
- 内 容 福祉・保健・年金・税金などの市民生活に密着したお知らせのほか、市政の解説、施策や行事のお知らせ、催し物の案内なども盛り込んだ内容であり、上下水道事業に関する記事を掲載しています。

年 度	発行部数
平成30年度	4,461,747部
平成29年度	4,941,864部
平成28年度	4,034,255部

(2) 局事業広報マンガ

- 名 称 局事業広報マンガ
- 発行部数 5,310部
- 発行方法 上下水道局が主催又は参加するイベントで配布
- 内 容 災害時におけるトイレの重要性、マンホールトイレや災害時給水設備（「すいちやんのビックリじゃぐち」）の整備などの上下水道局の取組、飲料水等の備蓄の必要性など、啓発事項を分かりやすく説明しています。

<年度別発行部数>

年 度	発行部数
平成30年度	5,310部
平成29年度	5,049部

※平成29年度から配布開始

<平成30年イベント別発行部数>

イベント	発行部数
上下水道出前教室	2,200部
区民まつり	1,300部
浅香山配水場見学会	700部
三宝あじさいまつり	600部
校区防災訓練	200部
サカイエンス	160部
消防出初式	100部
東区民まつり	50部
合計	5,310部

(3) その他

新聞（業界紙を含む）

年 度	掲載件数
平成30年度	37件
平成29年度	58件
平成28年度	38件

1-2 デジタル

(1) ホームページ

- 名 称 堺市上下水道局ホームページ
- アドレス <http://water.city.sakai.lg.jp/>
- ページアクセス 1,034,259 件

堺市上下水道局ホームページ携帯サイトにおいても情報を提供しています。

年 度	ページアクセス
平成30年度	1,034,259件
平成29年度	1,080,684件
平成28年度	911,857件



<携帯サイトQRコード>

(2) テレビ

年 度	番組名	内容
平成30年度	堺シティレポ 「安全で快適な暮らしを支える下水道」	堺市の下水処理、再生水の利活用、災害、浸水対策などの取組を紹介しています。
	NHK	浅香山つつじまつり(高架配水池見学会)
	テレビ朝日	三宝あじさいまつり
平成29年度	堺シティレポ 「いつでも安全・安心 堺の水」	堺市の水道の歴史及び、安全・安心な水を家庭まで届けるためにどのような取組がなされているかを紹介しています。
	読売テレビ	三宝あじさいまつり
	ABC、読売テレビ	今池水みらいセンターで発生した
	ABC 読売テレビ 関西テレビ	委託業者元従業員による水道料金等の着服に関する報道
	J-COMデイリーニュース	J-GREENとの協定
平成28年度	読売テレビ	災害対策センター完成記念式典
	J-COMデイリーニュース	<ul style="list-style-type: none"> ・三宝あじさいまつり ・みずからセミナー ・「鉄砲町地区の下水再生水の活用」 国土交通大臣賞グランプリ受賞 ・災害対策センター完成記念式典 ・近隣都市(松原市、高石市、大阪狭山市)との災害協定締結式

1-3 SNS

お客さまとの双方向（広報・広聴）コミュニケーションのツールとして、SNS を活用しています。

(1) ツイッター (Twitter)

- 名 称 堺市上下水道局「すいちゃん」[公式]
- ア ド レ ス https://twitter.com/sakai_suichan
- フォロワー数 3,008 人
- 主な発信情報 局事業の紹介、イベント情報等

年 度	フォロワー数
平成30年度	3,008人
平成29年度	2,899人
平成28年度	2,712人

(2) フェイスブック (facebook)

- 名 称 堺市上下水道局「すいちゃん」
- ア ド レ ス <https://www.facebook.com/suichan1132>
- いいね数 239 人
- 主な発信情報 局事業の紹介、イベント情報等

年 度	いいね数
平成30年度	239人
平成29年度	232人
平成28年度	212人

(3) ライン (LINE)

- 名 称 堺市上下水道局
- I D @kbr712d
- 友達登録者数 635 人
- 主な発信情報 大規模災害や漏水事故発生時、被害情報や応急給水情報等を発信しています。また、お客さまからの情報を受ける窓口としても活用しています。

年 度	友達登録者数
平成30年度	635人
平成29年度	107人

※平成 29 年よりサービス開始

2 双方向コミュニケーション

2-1 三宝あじさいまつり

- 開催場所 三宝水再生センター(堺区松屋大和川通4丁147-1)
- 開催期間 平成30年6月1日(土)~9日(日)
- 内容 三宝水再生センターでは下水処理水を有効活用し、約100種類、約1,600株のあじさいを栽培しています。このイベントは、期間限定であじさいを公開するほか、PRブースの設置や処理場見学、マスコットキャラクター「すいちゃん」とのグリーティングなど、多くの世代の方に親しんでいただけるイベント内容としています。

年度	開催日数	来場者数
平成30年度	9日間	9,596人
平成29年度	9日間	8,981人
平成28年度	9日間	7,031人



2-2 夏休み自由研究 上下水道まなび隊

- 開催場所 さかい利品の杜(堺区宿院町西2丁1-1)
- 開催日 平成30年8月4日(土)
- 内容 健全な水循環の重要性について、理解と関心を深めることを目的とした「水の週間」(8月1日(水)~7日(火))の関連事業として、上下水道局が市内小学生を対象に開催するイベントです。夏休みの宿題や自由研究に役立つ実験コーナーや工作コーナーなどを設け、楽しみながら上下水道への理解や知識を深めることができる内容となっています。

年度	参加人数
平成30年度	350人
平成29年度	476人
平成28年度	358人

※保護者除く



2-3 みずからセミナー

- 内 容 上下水道事業を取り巻く課題を認識し、局の事業取組を応援していただくため、

上下水道施設の見学を楽しんでいただくとともに、事業について基本的な知識をお伝えしています。

年 度	開催回数	参加人数
平成30年度	4回	45人
平成29年度	6回	35人
平成28年度	6回	35人

2-4 ステップアップ研修

- 内 容 当年度のみずからセミナー修了者を対象に、ワークショップを開催しています。

年 度	開催回数	参加人数
平成30年度	1回	12人
平成29年度	3回	21人

※平成 29 年度から実施

2-5 わくわく！ワークショップ

- 内 容 すいちゃんサポーター(みずからセミナーの修了者のうちサポーター登録をされた方)を対象にワークショップを開催しています。

年 度	開催回数	参加人数
平成30年度	2回	32人
平成29年度	2回	16人

※平成 29 年度から実施

2-6 出前講座

- 内 容 水道事業、下水道事業について、市民の皆さまの日常の疑問にお答えするために、どこでもセミナー「堺市生涯学習まちづくり出前講座」で下記の講座を実施しています。上下水道局の職員が講師として皆さまの地域に出向いてお話ししています。

講 座 名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
上下水道料金について	1回	0回	0回
安全でおいしい水道水	1回	0回	0回
ただしく使おう下水道 ～みんなが使った水はどこへ行くの？～	13回	22回	-

2-7 上下水道出前教室

- 内 容 市内の小学4年生を対象に、上下水道局から委託を受けた業者が直接学校に出向き、パネルを使った講義や実験等を通して上下水道への関心を高めるとともに、上下水道を使用した快適な生活及び自然・環境保護の重要性の啓発を行っています。

年 度	開催小学校数
平成30年度	28校
平成29年度	56校
平成28年度	53校

2-8 PR ブースの出展

- 内 容 災害用備蓄水、台所用水切りネット、入浴剤等を配布し、水道・下水道に関する情報を提供するために、年間行事として広報活動しています。

出展行事	出展場所	出展日
浅香山つつじまつり	浅香山配水場	4月28日(土) 5月6日(日)
楽しいんやさかい大和川～水辺の楽校まつり～	浅香山公園 大和川河川敷	5月6日(日)
東区民まつり	初芝体育館駐車場	5月13日(日)
おふる部	関西大学 浅香山キャンパス	6月3日(日)
Sakai Teppochō Bosai Fes!	イオンモール堺鉄砲町	10月27日(土)
北区域交流まつり	金岡公園 野球場	11月3日(土)
堺区ふれあいまつり	堺地方合同庁舎	11月18日(日)
消防出初式	金岡公園野球場周辺	1月7日(月)
堺で科学サカイエンス	ソフィア堺	1月27日(日)

Ⅲ 料金体系

1 水道

1-1 水道料金（平成22年10月1日改定）

（一般・浴場用共通）

基本料金(1ヶ月)	
メーター口径	単価
20mm以下	650 円
25mm	1,000 円
30mm	3,100 円
40mm	5,000 円
50mm	10,000 円
75mm	20,000 円
100mm	31,000 円
150mm	50,000 円
200mm	110,000 円

（一般用）

従量料金(1m ³ につき)		
使用区分		単価
1~10m ³	口径20mm以下	40 円
	口径25mm以上	125 円
11 ~ 20m ³		125 円
21 ~ 30m ³		185 円
31 ~ 50m ³		230 円
51 ~ 100m ³		275 円
101 ~ 500m ³		310 円
501 ~ 1,000m ³		325 円
1,001m ³ 以上		335 円

（浴場用）

従量料金(1m ³ につき)	
使用区分	単価
1~1,000m ³	105 円
1,001~2,000m ³	110 円
2,001m ³ 以上	200 円

1-2 加入金（平成6年4月1日改定）

メーター口径	金額
20mm以下	70,000 円
25mm	166,000 円
30mm	383,000 円
40mm	720,000 円
50mm	1,250,000 円
65mm	2,500,000 円
75mm	3,600,000 円
100mm	7,450,000 円
125mm	13,320,000 円
150mm	21,360,000 円
200mm以上	管理者が別に定める金額

（注）水道料金及び加入金は、上記料金表の表示額に100分の108を乗じて得た額

1-3 手数料（平成 14 年 6 月 1 日 改定）

種 類	種 別	金 額		
1 設計審査 手数料	専用給水装置、給水枝管 又は口径30mm以上の給水 主管(注)ごとの審査1回につ き	口径25mm以下	4,100円	
		口径30mm以上50mm以下	12,400円	
		口径75mm及び100mm	21,200円	
		口径150mm以上	36,500円	
2 工事検査 手数料	(1)装置検査手数料	口径25mm以下	4,200円	
		口径30mm以上50mm以下	12,900円	
		口径75mm及び100mm	22,100円	
		口径150mm以上	38,000円	
	(2)分岐工事検査手数料	口径25mm以下	6,200円	
		口径30mm以上50mm以下	18,900円	
		口径75mm及び100mm	21,600円	
		口径150mm以上	52,100円	
	(3)工事用給水検査手数料	専用給水装置ごとの工事 用給水の検査1回につき	口径13mm以上	2,600円

(注) 1申請につき2以上の給水主管がある場合にあつては、その最大口径のものに限る

2 下水道

2-1 下水道使用料（平成 29 年 10 月 1 日 改定）

基本料金 (1ヶ月)	従量料金(1m ³ につき)	
	使用区分	単価
665	1 ~ 10 m ³	50 円
	11 ~ 20 m ³	140 円
	21 ~ 30 m ³	200 円
	31 ~ 50 m ³	210 円
	51 ~ 100 m ³	270 円
	101 ~ 500 m ³	335 円
	501 ~ 1,000 m ³	360 円
	1,001 m ³ 以上	395 円
浴場用	22円(基本料金なし)	

(注) 下水道使用料は、上記料金表の表示額に 100 分の 108 を乗じて得た額

《水道事業》

I 事業概要

1 総括

1-1 概況

水道事業は、安全・安心で良質な水の安定供給を目的とし、施設の整備と適切な維持管理に積極的に取り組んでいます。

近年では、節水意識の向上などによる水需要の変化に伴い、水道料金収入の対象となる水量は減少傾向にあります。そのような中、本年度も水道事業の健全な経営を維持するため、堺市水道ビジョン（平成 28～令和 7 年度）などにに基づき事業運営を行いました。

収入確保の取組みとしては、給水停止解除時の債権回収の強化や未利用地の有効活動を積極的に進めました。一方、支出削減の取組みとしては、受水費削減に向け、配水池や配水管の漏水調査を継続的に実施しています。また、現有資金を活用し、企業債の借入額を計画的に抑制する取組みを実施しています。

1-2 建設改良工事の実施状況

平成 30 年度は、堺市水道ビジョンの 3 年目となります。本計画では「安全安心な水を将来にわたってお届けし、お客さまに信頼され、愛される堺の水道」を基本理念として、「いつでもあんしん堺の水道」「いのちを守る堺の水道」「しんらいを築く堺の水道」の 3 つの実現に向け挑戦し、災害に強く安全でおいしい水をお客様に供給するための施設整備に重点を置いた事業に取り組んでいます。

平成 30 年度は、以下の事業を実施しました。

○ 配水施設整備事業

- ① 配水管整備工事では、幹線管から分岐して避難所等への給水ルート of 優先的な耐震化や、経年劣化した高級铸铁管・塩化ビニル管等の更新によって管路耐震化を図っています。また、家原寺系 φ 1000mm 配水管や御池台系送配水管等の幹線管の整備を実施しました。

○ 配水施設改良事業

- ① 配水管改良工事では、下水道整備事業に伴う配水支管の更新などを実施し、管路耐震化を図っています。また、災害時の応急給水機能を確保するため、避難所となる小学校に災害時給水設備を設置しました。
- ② 配水場改良工事では、陶器配水場等の電気計装設備工事、桃山台配水場受水池目地耐震補強工事等を実施しました。

2 沿革

2-1 事業の歩み

明治 20 年	横浜でわが国最初の近代的水道が完成
明治 22 年	市制施行
	開口神社に市役所を開庁
明治 25 年	市役所庁舎車之町1丁に移転
明治 28 年	大阪市の水道が完成
明治 39 年	水道敷設の予算案が市議会で可決
明治 40 年	大和川沿岸8町村長が内務大臣に水道敷設反対を陳情
	水道敷設の更生予算案が市議会で可決
	水道敷設の認可を申請
明治 41 年	水道敷設が認可される
	水道課を開設
明治 43 年	水道創設工事が完成
	通水を開始(近代水道全国18番目)
明治 44 年	給水5,000戸祝賀式を行う
明治 45 年	阪堺電気軌道(阪堺線)浜寺駅前まで全線開通
大正 2 年	渇水のため58日間給水時間を制限する
大正 6 年	渇水のため49日間給水時間を制限する
大正 7 年	渇水のため29日間給水時間を制限する
	浅香山浄水場にさく井工事を行う
大正 9 年	泉北郡向井町・湊町を合併
	水道工事事務所を神明町東3丁に新築移転する
大正 10 年	放任水量制を訂正し全計量制を実施する
大正 11 年	渇水のため43日間給水時間を制限する
	抜本的な水源拡張調査のため市議会上に水源調査委員会を設置
大正 12 年	水道会計が特別会計に移行
	水源拡張調査結果が報告され新水源を大阪市上水道からの分水に求めることを決定
	大阪市から上水供給の承諾を受ける
大正 13 年	渇水のため34日間給水時間を制限する
	大阪市からの第1次受水用導水管敷設工事が完成
大正 14 年	泉北郡舳松村を合併
大正 15 年	泉北郡三宅村を合併
昭和 2 年	天王貯水池内に配水塔が完成
	渇水のため43日間給水時間を制限する
昭和 3 年	浅香山浄水場内の第2号さく井工事が完成
昭和 4 年	水道使用料の徴収事務が税務課から水道課に移管される
昭和 9 年	水道課が戎之町東2丁に移転
昭和 10 年	浅香山浄水場ポンプ室が完成
昭和 11 年	向陵西町に地上式調節池が完成
昭和 12 年	浅香山浄水場沈でん池堤防にツツジを植える
昭和 13 年	泉北郡神石村を合併
	泉北郡百舌鳥村、五箇荘村、南河内郡金岡村を合併
	浅香山浄水場に緩速ろ過池2池を増設
昭和 15 年	水源を淀川とする大拡張計画の認可申請を行う
	大阪府が用水供給事業に着手することを約し本市拡張計画の取り下げを求めた
昭和 16 年	大阪府営用水供給事業が認可される
	三条通6丁に水道課独自庁舎を新築する
	大阪市からの第2次受水用導水管敷設工事が完成
昭和 17 年	堺港に船舶給水所を設置
	泉北郡浜寺町、鳳町、踞尾村、深井村、八田荘村、東百舌鳥村を合併
昭和 19 年	南瓦町の現在地に市庁舎が完成する
昭和 20 年	空襲により旧市街の大半が焼失
	戦災復興事業に着手

昭和 21 年	水道料金が物価統制令の適用を受ける
昭和 26 年	府営水道から沈でん水の受水始める
昭和 27 年	地方公営企業法が公布される
昭和 28 年	家原寺配水場が完成
昭和 30 年	府営水道から浄水の受水始める
昭和 31 年	水道料金を改定 浅香山浄水場ツツジの一般公開始める
昭和 32 年	家原寺配水場配水塔が完成 南河内郡北八下村を合併
昭和 33 年	臨海工業地帯の造成を決定 南河内郡南八下村を合併 南河内郡日置荘町を合併
昭和 34 年	常磐町にさく井5本が完成 泉北郡泉ヶ丘町を合併 水道事業所が市役所新館に移転
昭和 35 年	水道料金を改定 香ヶ丘にさく井3本が完成
昭和 36 年	泉北郡福泉町を合併
昭和 37 年	南河内郡登美丘町を合併
昭和 38 年	泉北ニュータウン建設計画が発表される
昭和 39 年	検針、集金の隔月制を実施 浅香山浄水場本館が完成 陶器配水場が完成 陶器配水場からの配水を開始し福田簡易水道を廃止する 天王貯水池の供用を休止し浅香山浄水場からの直送に切り替える
昭和 40 年	水道料金を改定 料金の電子計算処理を開始する 浅香山取水場が完成し取水地点を西除川流入の上流に移転する
昭和 41 年	泉北ニュータウンの工事が始まる 地方公営企業法の抜本改正(管理者の権限の大幅な付与) 岩室配水場が完成
昭和 42 年	堺市の人口が50万人を超える
昭和 43 年	水道料金を改定 水道局と名称を変更する 向陵西町の調節池を撤去する 修繕工事事務所、量水器検査場を調節池跡地に移転し三条通の庁舎を廃止する
昭和 48 年	桃山台配水場が完成
昭和 50 年	使用者番号制を実施し営業区域の変更を行う 水道料金を改定 逓増制料金体系を採用
昭和 52 年	水道料金を改定 寒波のため水道管の凍結破裂が頻発する
昭和 53 年	大和川の水質悪化のため取水を休止する
昭和 54 年	4ヶ月検針を実施する 集金制を廃止する 各営業所に端末機を設置しオンラインシステムを採用する 堺市の人口80万人を超える
昭和 55 年	経理処理を帳簿式から伝票式に改めオフコンを導入する
昭和 56 年	異常寒波のため市内各所で1万件を超す水道管の凍結破裂事故がおこる
昭和 57 年	水道料金を改定 集中豪雨により浅香山浄水場など水道施設にも浸水被害
昭和 59 年	琵琶湖、淀川渇水のため第2次取水制限が行われる
昭和 60 年	泉北ニュータウン地域の水道事業が大阪府から移管される
昭和 61 年	渇水のため第2次取水制限を実施
昭和 63 年	晴美台配水場が完成する

平成 2 年	電話回線を利用したテレメーター検針方式を導入する
平成 4 年	敷地内の水漏れ修繕工事がすべて公認業者施工となる
平成 6 年	水道料金を改定
	(財)堺市水道サービス公社を設立
	渇水により琵琶湖水位が過去最低のマイナス123cmを記録 渇水により、第3次取水制限が実施される
平成 7 年	阪神・淡路大震災が起きる
	震災に伴う西宮市への運搬給水支援、復旧作業支援を行う
	水道局分館内に夜間センターを開設する
	浅香山浄水場内に配水池、ポンプ棟及び監視棟が完成
	大阪市からの上水供給が終了する
	アクアネット大阪が全面的な運用を開始する
	原山台営業所、原山台管理事務所が南支所内へ移転し名称を桃山台営業所、桃山台管理事務所に変更する
平成 9 年	家原寺配水場内に配水管理センターが完成
	営業所5ヶ所、管理事務所2ヶ所、給水装置課を統合し北部、南部それぞれの地域を担当する 2ヶ所のサービスセンターを設置
平成 10 年	高度浄水処理水の供給が始まる
平成 13 年	水質試験棟が完成
平成 14 年	水道料金を改定
	2ヵ月検針が始まる
	開閉栓現地業務を委託する
平成 15 年	三国ヶ丘に水道局新庁舎が完成
	南部サービスセンター、配水管理課を除く水道局8課が移転し業務を開始する
平成 16 年	水道局と建設局下水道部が統合され上下水道局となる
平成 17 年	お客さまセンターを開設する
	南河内郡美原町と合併
	岩室配水場の配水池補強工事として内面ステンレス張り工事が完成し緊急給水拠点となる
平成 18 年	配水監視業務を委託する
	政令指定都市に移行する
平成 19 年	桃山台配水場で小水力発電を開始する
	美原区の給水区域を再編する
	水道GLPの認定を受ける
平成 21 年	上下水道局本庁舎耐震性貯水槽が完成
	水道料金を改定
	日本水道協会第78回総会堺大会実施
平成 22 年	堺市水道給水開始100周年を迎える
	堺市長を企業長とした大阪広域水道企業団が発足する
	つつじの通り抜きの主権が上下水道局から建設局公園緑地部となる
	水道料金を改定
平成 23 年	東日本大震災が起きる
	震災に伴う茨城県河内町並びに岩手県大船渡市及び陸前高田市への応急給水支援を行う 大阪広域水道企業団による用水供給事業が開始される
平成 24 年	浅香山配水場に高架配水池が完成
	南区若松台3丁付近で、配水管(φ800mm)が破損し、断水及び濁水が発生し、約33,000戸(約74,000人)に影響を与えた
	御池台配水池にステンレス製配水池が完成
平成 26 年	堺市大阪市大和川連絡管が完成
平成 28 年	熊本地震が起きる
	震災に伴う熊本市への応急給水支援、漏水調査支援を行う 菅生配水池(低池)更新が完成
平成 29 年	4市合同水道防災訓練(岡山市、仙台市、浜松市、堺市)を実施
	市立小学校へ災害時給水設備(すいちゃんのビックリじゃぐち)の設置開始
平成 30 年	大阪北部地震が起きる
	震災に伴う大阪北部への応急給水支援を行う
	平成30年7月豪雨が起きる
	豪雨に伴う被災地への応急給水支援を行う 陶器配水場で小水力発電を開始する

2-2 拡張事業の変遷

創 設 認 可 明治41年2月12日
 給 水 開 始 明治43年4月 1日
 地 方 公 営 企 業 法 適 用 昭和28年1月 1日

事業名	認可年月日	起工年月日	竣工年月日	事業費 (千円)	基本計画			編入
					給水人口 (千人)	1日1人 最大給水量 ($\frac{リットル}{人}$)	1日最大 給水量 (m^3)	
創 設	明41.2.12	明41.3.16	明43.1.12	686	60	84	5,000	
第1回 拡張事業	大4.12.-	大5.4.-	大7.3.-	63	60	84	5,000	大9.4.1 向井町
第2回 拡張事業	大9.8.7	大9.5.25	大10.11.30	327	60	84	5,000	湊町
第3回 拡張事業	大11.8.2	大11.9.3	大12.3.31	82	60	84	5,000	
第4回 拡張事業	大13.3.31	大13.3.13	大13.11.30	298	100	120	12,000	大14.10.1 舳松村
第5回 拡張事業	大15.3.31	大15.12.15	昭2.11.5	189	100	120	12,000	大15.10.1 三宝村
第6回 拡張事業	昭3.7.3	昭3.7.-	昭3.9.30	107	100	120	12,000	
第7回 拡張事業	昭3.7.-	昭3.4.20	昭3.7.19	33	100	120	12,000	昭13.2.11
第8回 拡張事業	昭6.8.19	昭6.10.8	昭7.3.25	59	110	120	13,200	神石村
第9回 拡張事業	昭9.7.16	昭9.10.15	-	492	120	140	16,800	昭13.9.1 五箇荘村 百舌鳥村
第9回 変更	昭13.3.10	-	昭13.10.14	486	120	180	21,600	金岡村
第10回 拡張事業	昭17.11.11	昭18.2.-	-	2,200	220	180	39,600	昭17.7.1 浜寺町 鳳町
第10回 変更	昭24.5.31	-	昭29.3.31	141,474	170	180	30,600	踞尾村
第11回 拡張事業	昭29.12.14	昭30.1.5	昭35.3.31	259,429	200	260	52,000	八田荘村 深井村
日置荘町 水道事業の統合	昭30.9.30	昭32.2.28	昭34.3.30	53,000	10	180	1,800	東百舌鳥村
第12回 拡張事業	昭34.12.28	昭35.4.1	-	780,000	320	260	83,200	昭32.10.15 北八下村
第12回 変更	昭35.11.28	-	昭43.3.31	2,780,293	450	300	135,000	昭33.7.1 南八下村
第13回 拡張事業	昭41.12.28	昭42.4.1	昭49.3.31	2,615,583	600	400	240,000	昭33.10.20 日置荘町
第14回 拡張事業	昭47.3.31	昭47.4.1	昭55.3.31	8,618,717	655	550	360,000	昭34.5.3 泉ヶ丘町
第15回 拡張事業	昭58.3.29	昭58.4.1	-	9,800,000	752	524	393,800	昭36.3.1 福泉町
第15回 変更	昭60.3.29	-	平3.3.31	9,800,000	922	493	455,000	昭37.4.1 登美丘町
美原町合併による 水道事業の統合	平17.2.1	-	-	-	969	497	482,000	平17.2.1 美原町
第15回 給水区域の拡張	平20.4.1	-	-	-	969	497	482,000	平20.4.1 築港八幡町

2-3 整備改良事業の変遷

事業名	起工年月日	竣工年月日	事業費 (千円)	整備延長 (m)	ライニング 延長 (m)	備考
第1期 配水管整備事業	昭47.4.1	昭58.3.31	7,810,000	275,456	49,800	
第2期 配水管整備事業	昭58.4.1	昭61.5.31	3,270,000	78,337	—	
第3期 配水施設整備事業	昭61.4.1	平元.3.31	4,311,000	86,153	—	
第4期(第1次) 配水施設整備事業	平元.4.1	平4.3.31	5,826,000	79,260	—	事業費は税込
第4期(第2次) 配水施設整備事業	平4.4.1	平8.3.31	7,728,000	85,091	—	事業費は税込
浅香山浄水場改良事業	平4.4.1	平7.11.15	3,540,916	—	—	事業費は税込
水運用管理センター 建設事業	平6.4.1	平9.5.23	3,296,551	—	—	事業費は税込
第4期(第3次) 配水施設整備事業	平8.4.1	平12.3.31	5,960,781	64,729	—	事業費は税込
新世紀第一次(第一期) 配水施設整備事業	平12.4.1	平17.3.31	5,264,773	59,591	—	事業費は税込
新世紀第一次(第二期) 配水施設整備事業	平17.4.1	平20.7.11	4,739,724	62,407	—	事業費は税込
新世紀第二次(第一期) 配水施設整備事業	平20.4.1	平25.10.30	13,584,286	108,705	—	事業費は税込
新世紀第二次(第二期) 配水施設整備事業	平25.4.1	平28.10.31	8,829,133	59,714	—	事業費は税込
堺市水道ビジョン	平28.4.1	令和8.3.31(予定)	—	—	—	

3 施設

3-1 施設一覧

区分	名称	所在地	敷地面積(m ²)	配水池(m ³)	備考
配水場	家原寺配水場	西区家原寺町2丁21番1号	31,475	29,000 (3池分)	
	浅香山配水場	堺区香ヶ丘町5丁1番80号	101,318	24,000 (3池分)	H23.12 土地交換 H24.3 高架配水池(2池)の運用開始 H24.4 配水場の設置
	陶器配水場	中区陶器北416番地1	22,252	28,000 (3池分)	H24.10 水道用地の一部用途廃止
	岩室配水場	南区晴美台1丁2番1号	10,265	10,500 (3池分)	
	桃山台配水場	南区桃山台1丁4番2号	21,617	62,000 (3池分)	一部借地
				(受水池) 6,500 (2池分)	
	晴美台配水場	南区晴美台1丁1番4号	27,088	(35池) 35,700 (2池分)	
(15池) 15,000 (2池分)					
小平尾配水場	美原区小平尾385番地4	2,475	5,000 (1池分)	一部借地	
配水池	岩室高地配水池	南区晴美台1丁36番10号	5,174	(高池) 2,500 (2池分)	
				(超高池) 600 (1池分)	
	鴨谷台配水池	南区鴨谷台1丁49番2号	4,329	200 (2池分)	
	御池台配水池	南区御池台5丁2番4号	6,551	6,400 (2池分)	H23.3 土地交換 H24.6 No.2配水池の運用開始
	さつき野配水池	美原区さつき野東1丁目2番地14	1,064	5,000 (1池分)	H20.4 容量見直し
菅生配水池	美原区菅生658番地	6,911	9,500 (2池分)	H.27.1(低池)更新工事のため運用停止。 H28.7 No.1配水池の運用開始	
制御所	東山制御所	中区東山47番地1	452	(減圧弁) φ500-2台	
				(減圧弁) φ250-1台	

(注1) 浅香山配水場は、浅香山浄水場内に設置しているため、浅香山浄水場の敷地面積を記載している。

区 分	名 称	所在地	備 考
減 圧 弁 室	豊田減圧弁室	南区豊田818番地地先	(減圧弁) φ200-1台
	野々井減圧弁室	南区野々井116番地4地先	(減圧弁) φ200-1台
	北余部西減圧弁室	美原区北余部西4丁目82番地1地先	(減圧弁) φ300-2台
	桃山台減圧弁室	南区桃山台1丁13番1号地先	(減圧弁) φ200-2台

区 分	名 称	所在地
水質モニター	少林寺町水質モニター	堺区少林寺町東4丁2番(土居川公園内)
	宿屋町水質モニター	堺区宿屋町西2丁1番(宿屋町公園内)
	百舌鳥梅北町水質モニター	北区百舌鳥梅北町1丁39番地2(上下水道局本庁舎敷地内)
	大仙中町水質モニター	堺区大仙中町18番(大仙公園内)
	槇塚台水質モニター	南区槇塚台4丁6番(泉北緑地内)
	さつき野東水質モニター	美原区さつき野東2丁目11番地(つばき公園内)
	桃山台水質モニター	南区桃山台3丁3番(桃山公園内)
	城山台水質モニター	南区城山台1丁19番(城山公園内)
	大保水質モニター	美原区大保27番地(美原ふる里公園内)
	丈六水質モニター	東区丈六445番3号(岸面池公園)
	槇塚台岩室高池系水質モニター	南区槇塚台1丁9番(槇塚公園内)
圧力モニター	豊田減圧系圧力モニター	南区宮山台2丁3番(荒山公園内)
	野々井減圧系圧力モニター	南区稲葉1丁3142番地
圧力・水質モニター	北余部西減圧系圧力・水質モニター	美原区北余部西4丁目82番地1地先
圧力・流量モニター	桃山台減圧系圧力・流量モニター	南区桃山台1丁3番(西原公園内)

区 分	名 称	所在地	備 考
耐震性貯水槽	上下水道局本庁舎耐震性貯水槽	北区百舌鳥梅北町1丁39番地2 (上下水道局本庁舎敷地内)	100m ³ 1基

3-2 管路延長

(単位：m、台)

口 径	管 種	平成29年度末 累 計	平成30年度		
			増加分	廃用分	延長累計数
φ 20mm	塩化ビニール管	148.00	0.00	0.00	148.00
	ポリエチレン管	99.50	0.00	0.00	99.50
φ 25mm	塩化ビニール管	887.00	0.00	30.20	856.80
	ポリエチレン管	2,522.80	0.00	0.00	2,522.80
φ 30mm	塩化ビニール管	2,174.20	0.00	0.00	2,174.20
	ポリエチレン管	11,354.90	30.60	32.40	11,353.10
φ 40mm	塩化ビニール管	5,519.80	0.00	18.00	5,501.80
	ポリエチレン管	27,204.85	366.70	13.50	27,558.05
φ 50mm	塩化ビニール管	15,386.63	36.00	413.00	15,009.63
	耐震ポリエチレン管	367.92	491.65	0.00	859.57
	ポリエチレン管	119,969.86	1,485.95	55.70	121,400.11
φ 75mm	塩化ビニール管	39,953.30	1.00	232.66	39,721.64
	耐震ポリエチレン管	163.00	0.00	0.00	163.00
	鋼管	4.00	0.00	0.00	4.00
	石綿セメント管	3.00	0.00	3.00	0.00
	鋳鉄管	1,978.98	0.00	0.00	1,978.98
	ダクタイル鋳鉄管	102,269.31	12.83	299.89	101,982.25
	耐震継手ダクタイル鋳鉄管	77,693.92	3,399.46	0.00	81,093.38
φ 100mm	塩化ビニール管	149,972.46	0.00	3,987.15	145,985.31
	耐震ポリエチレン管	576.00	0.00	0.00	576.00
	鋼管	205.00	0.00	0.00	205.00
	鋳鉄管	6,862.26	0.00	123.62	6,738.64
	ダクタイル鋳鉄管	563,156.55	141.52	5,991.09	557,306.98
	耐震継手ダクタイル鋳鉄管	195,810.35	7,172.05	0.00	202,982.40
φ 125mm	鋳鉄管	38.00	0.00	0.00	38.00
φ 150mm	塩化ビニール管	36,919.97	0.00	1,766.39	35,153.58
	鋼管	540.70	0.00	0.00	540.70
	鋳鉄管	7,859.32	0.00	219.61	7,639.71
	ダクタイル鋳鉄管	312,333.63	66.18	4,228.79	308,171.02
	耐震継手ダクタイル鋳鉄管	137,942.50	5,831.55	0.00	143,774.05
φ 200mm	塩化ビニール管	175.53	0.00	0.00	175.53
	鋼管	991.85	0.00	40.00	951.85
	鋳鉄管	5,751.09	0.00	318.82	5,432.27
	ダクタイル鋳鉄管	136,441.13	84.48	3,181.20	133,344.41
	耐震継手ダクタイル鋳鉄管	69,487.63	3,795.62	0.00	73,283.25
φ 250mm	鋼管	13.00	0.00	0.00	13.00
	鋳鉄管	322.29	0.00	0.00	322.29
	ダクタイル鋳鉄管	15,880.60	2.68	2,099.85	13,783.43
	耐震継手ダクタイル鋳鉄管	25.00	0.00	0.00	25.00
φ 300mm	塩化ビニール管	167.00	0.00	0.00	167.00
	耐震ポリエチレン管	484.00	0.00	0.00	484.00
	鋼管	814.96	5.74	0.00	820.70
	鋳鉄管	12,138.30	0.00	896.36	11,241.94
	ダクタイル鋳鉄管	79,673.31	37.12	1,629.25	78,081.18
	耐震継手ダクタイル鋳鉄管	76,173.15	3,306.17	0.00	79,479.32
φ 350mm	鋼管	113.70	0.00	0.00	113.70
	鋳鉄管	1,491.38	0.00	0.00	1,491.38
	ダクタイル鋳鉄管	4,400.40	0.00	38.99	4,361.41
	耐震継手ダクタイル鋳鉄管	22.30	0.00	0.00	22.30

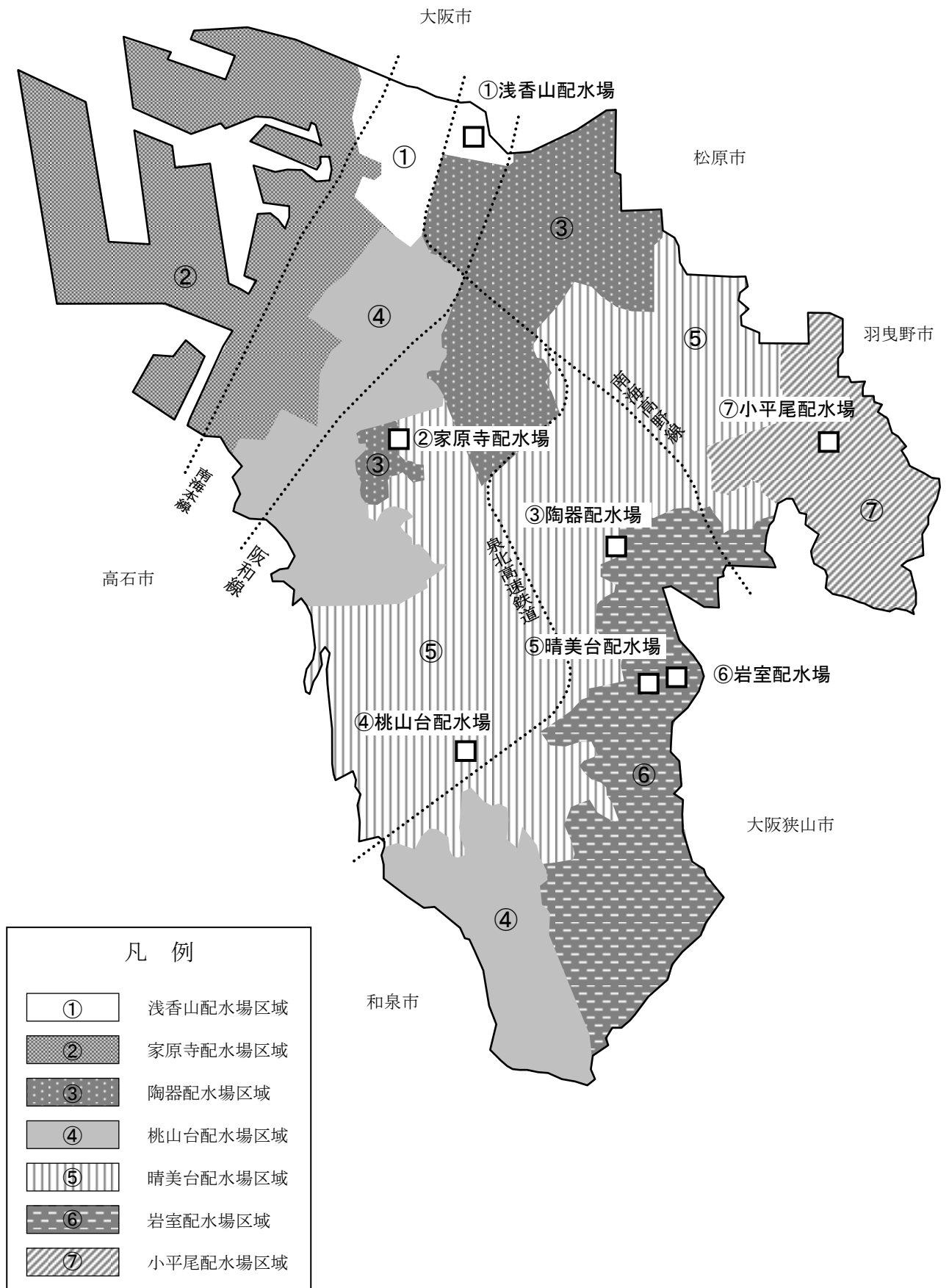
(単位：m、台)

口 径	管 種	平成29年度末 累 計	平 成 30年 度		
			増加分	廃用分	延長累計数
φ 400mm	塩化ビニール管	37.00	0.00	0.00	37.00
	鋼管	394.00	0.00	0.00	394.00
	铸铁管	7,307.51	0.00	86.70	7,220.81
	ダクタイル铸铁管	26,546.60	3.92	300.30	26,250.22
	耐震継手ダクタイル铸铁管	14,657.79	1,149.42	0.00	15,807.21
φ 450mm	鋼管	21.00	0.00	0.00	21.00
	铸铁管	4,417.80	0.00	426.00	3,991.80
	ダクタイル铸铁管	715.20	0.00	35.28	679.92
	耐震継手ダクタイル铸铁管	1.00	0.00	0.00	1.00
φ 500mm	鋼管	271.00	2.40	2.40	271.00
	铸铁管	5,875.36	0.00	0.00	5,875.36
	ダクタイル铸铁管	26,764.76	0.00	445.36	26,319.40
	耐震継手ダクタイル铸铁管	6,065.33	339.81	0.00	6,405.14
φ 600mm	鋼管	134.26	2.48	0.00	136.74
	铸铁管	4,458.00	0.00	0.00	4,458.00
	ダクタイル铸铁管	18,034.16	0.00	0.00	18,034.16
	耐震継手ダクタイル铸铁管	3,615.66	2,574.41	0.00	6,190.07
φ 700mm	鋼管	134.51	0.00	0.00	134.51
	ダクタイル铸铁管	16,259.30	0.00	255.53	16,003.77
	耐震継手ダクタイル铸铁管	4,879.79	1,762.71	0.00	6,642.50
φ 760mm	鋼管	423.00	0.00	0.00	423.00
φ 800mm	鋼管	162.64	0.00	0.00	162.64
	ダクタイル铸铁管	3,651.09	0.00	0.00	3,651.09
	耐震継手ダクタイル铸铁管	5,081.21	0.00	0.00	5,081.21
φ 900mm	ダクタイル铸铁管	540.00	0.00	0.00	540.00
	耐震継手ダクタイル铸铁管	1,718.00	0.00	0.00	1,718.00
φ 1000mm	鋼管	547.22	7.51	0.00	554.73
	ダクタイル铸铁管	17,392.82	0.00	0.00	17,392.82
	耐震継手ダクタイル铸铁管	7,445.05	1,204.87	0.00	8,649.92
φ 1100mm	ダクタイル铸铁管	3,287.00	0.00	0.00	3,287.00
	耐震継手ダクタイル铸铁管	2,282.00	0.00	0.00	2,282.00
φ 1200mm	鋼管	130.00	0.00	0.00	130.00
	ダクタイル铸铁管	8,568.00	0.00	0.00	8,568.00
	耐震継手ダクタイル铸铁管	150.00	0.00	0.00	150.00
φ 1350mm	鋼管	688.00	0.00	0.00	688.00
	ダクタイル铸铁管	4,348.00	0.00	0.00	4,348.00
塩化ビニール管 計		251,340.89	37.00	6,447.40	244,930.49
ポリエチレン管 計		161,151.91	1,883.25	101.60	162,933.56
耐震ポリエチレン管 計		1,590.92	491.65	0.00	2,082.57
鋼管 計		5,588.84	18.13	42.40	5,564.57
石綿セメント管 計		3.00	0.00	3.00	0.00
铸铁管 計		58,500.29	0.00	2,071.11	56,429.18
ダクタイル铸铁管 計		1,340,261.86	348.73	18,505.53	1,322,105.06
耐震継手ダクタイル铸铁管 計		603,050.68	30,536.07	0.00	633,586.75
合 計		2,421,488.39	33,314.83	27,171.04	2,427,632.18
仕 切 弁		30,144	362	358	30,148
空 気 弁	単 口	1,028	38	22	1,044
	双 口	131	0	0	131
消 火 栓	単 口	17,042	195	160	17,077
	双 口	52	0	1	51
減 圧 弁		15	0	0	15
合 計		48,412	595	541	48,466

※平成24年度事業年報作成時に、平成23年度末累計の数値を堺市上下水道地理情報システム(GIS)に基づき精査した数値に置き換えました。

※数値には休止管延長を含みます。

3-3 配水施設位置と給水区域図



4 工事

4-1 配水管整備事業

(税込)

工 事 名	施 行 内 容	執行額(円)	備 考
御池台外送配水管布設工事	鑄鉄管 φ 700 mm 外 L = 2,181.48 m	751,880,740	未竣工
御池台5丁外送配水管布設工事	鑄鉄管 φ 700 mm 外 L = 1,641.38 m	603,026,640	
家原寺系1000mm外配水管布設工事(第三工区)	鑄鉄管 φ 1000 mm 外 L = 1,561.54 m	470,989,534	
家原寺系配水管布設工事(第五工区)	配水管布設工事	244,664,920	
桃山台送水管外布設工事	鑄鉄管 φ 600 mm 外 L = 1,342.46 m	197,681,371	
熊野町東外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 400 mm 外 L = 273.82 m	133,034,400	
新檜尾台外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 400 mm 外 L = 1,307.94 m	126,833,040	
少林寺町西4丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 708.72 m	126,289,800	
野々井外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 500 mm 外 L = 582.61 m	117,466,200	
庭代台1丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 400 mm 外 L = 940.61 m	102,022,200	
鳳西町2丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 223.12 m	92,134,800	
辻之外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 1,053.80 m	91,874,520	
船堂町1丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 545.13 m	87,445,440	
宿屋町西1丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 1,048.10 m	83,838,240	
丈六外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 1,000.76 m	82,777,680	
鴨谷台3丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 588.24 m	82,452,600	
鴨谷台2丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 547.69 m	81,433,209	
平岡町外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 537.70 m	80,455,680	
桃山台2丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 1,158.41 m	79,036,560	
新檜尾台1丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 923.49 m	74,464,920	
三原台2丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 250 mm 外 L = 817.82 m	73,828,800	
三原台1丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 694.40 m	73,418,400	
晴美台配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 342.38 m	71,883,720	
白鷺町ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 345.85 m	62,569,800	
畑ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 660.10 m	58,409,640	
原山台4丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 570.77 m	57,984,120	
日置荘西町7丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 341.17 m	55,288,440	
松屋大和川通1丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 100 mm 外 L = 527.88 m	54,618,840	
赤坂台4丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 528.50 m	47,834,280	
八田西町2丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 400.43 m	46,207,800	
菩提町5丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 265.52 m	45,623,520	
菅生配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 438.22 m	43,324,200	
浜寺諏訪森町東2丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 374.95 m	40,920,120	
大仙中町配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 420.96 m	40,326,120	
深井沢町外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 477.75 m	40,158,720	
室堂町配水管布設工事	鑄鉄管 φ 250 mm 外 L = 322.92 m	40,100,400	
高松外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 475.90 m	39,197,520	
東山配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 255.34 m	38,946,960	

工 事 名	施 行 内 容	執行額(円)	備 考
野尻町配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 453.50 m	36,582,840	
深井沢町配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 445.58 m	35,737,200	
八田北町外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 273.68 m	34,567,560	
御池台1丁ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 375.04 m	33,853,680	
城山台2丁ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 305.97 m	32,674,320	
槇塚台2丁配水管布設工事(その2)	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 332.27 m	31,745,520	
菩提町2丁ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 150 mm 外 L = 244.00 m	29,377,080	
鳳中町9丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 205.42 m	27,980,640	
深井北町ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 186.76 m	26,781,840	
日置荘西町4丁外配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 188.11 m	23,224,320	
浜寺石津町東2丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 100 mm 外 L = 278.13 m	21,908,880	
若松台配水管布設ほか工事	鑄鉄管 φ 100 mm 外 L = 149.63 m	17,948,520	
日置荘西町4丁配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 223.82 m	14,713,920	
高須町ほか配水管布設工事実施設計業務	配水管布設工事実施設計業務	14,062,680	
北野田配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 111.83 m	11,703,960	
八田橋水管橋架設ほか実施設計業務	水管橋架設ほか実施設計業務	9,431,640	
堀上町ほか配水管布設工事実施設計業務	配水管布設工事実施設計業務	9,281,520	
その他工事等		1,645,957	3件
合 計	L = 30,201.60 m	5,053,665,971	

4-2 配水管改良事業

(税込)

工 事 名	施 行 内 容	執行額(円)	備 考
住吉橋町1丁ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 300 mm 外 L = 146.97 m	29,122,200	
災害時給水設備設置工事(30-2)	災害時給水栓設置工事	20,603,160	
災害時給水設備設置工事(30-1)	災害時給水栓設置工事	15,874,920	
深井中町外送水管更生工事に伴うガス管復元工事負担金	送水管更生工事に伴うガス管復元	14,164,000	
一条通配水管布設工事	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 16.49 m	8,312,760	
浜寺公園町3丁ほか配水管仮布設工事	配水管仮布設工事	7,482,240	
草部721フェンス設置ほか工事	フェンス設置ほか工事	5,915,160	
八田橋水管橋架設ほか実施設計業務に伴う土質調査業務	水管橋架設ほか実施設計業務に伴う土質調査業務	5,644,080	
檜尾ほか配水管布設工事	鑄鉄管 φ 75 mm 外 L = 47.51 m	4,665,600	
住吉橋町ほか配水管布設工事実施設計業務	配水管布設工事実施設計業務	3,649,320	
その他工事等	鑄鉄管 φ 200 mm 外 L = 5.00 m	18,487,540	16件
舗装道路本復旧工事		762,310,645	52件
合 計	L = 215.97 m	896,231,625	

4-3 配水場整備事業

当年度該当なし

4-4 配水場改良事業

(税込)

工 事 名	施 行 内 容	執行額(円)	備 考
陶器配水場ほか電気設備設置工事	配水場ほか電気設備設置工事	276,878,520	
水運用管理システムソフトウェア変更業務	水運用管理システムソフトウェア変更業務	104,760,000	
陶器配水場コントローラ盤改造外工事	配水場コントローラ盤改造外工事	73,440,000	
岩室配水場直流電源設備更新工事	配水場直流電源設備更新工事	11,247,120	
家原寺配水場新流出管流量計設置工事	配水場新流出管流量計設置工事	8,636,760	
晴美台配水場応急給水基地整備工事実施設計業務	配水場応急給水基地整備工事実施設計業務	5,335,200	
その他工事等		2,133,518	4件
合 計		482,431,118	

4-5 その他施設整備工事

(税込)

工 事 名	施 行 内 容	執行額(円)	備 考
上下水道局本庁舎昇降機改修工事	上下水道局本庁舎昇降機改修工事	26,892,000	
堺市上下水道局本庁舎照明制御装置取替工事	上下水道局本庁舎照明制御装置取替工事	7,776,000	
その他工事等		1,367,882	3件
合 計		36,035,882	

II 業務統計

1 普及状況

1-1 業務量の概要

(金額は税抜)

	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	業務量	対前年度 伸率(%)	業務量	対前年度 伸率(%)	業務量	対前年度 伸率(%)
計画給水人口 (人)	969,000	0.0	969,000	0.0	969,000	0.0
行政区域内人口 (人)	836,166	△ 0.3	838,936	△ 0.4	842,545	△ 0.3
給水区域内人口 (人)	837,377	△ 0.3	839,937	△ 0.4	843,607	△ 0.3
給水人口 (人)	837,312	△ 0.3	839,878	△ 0.4	843,535	△ 0.3
普及率 (%)	99.9	0.0 ^対	99.9	0.0 ^対	99.9	0.0 ^対
給水戸数 (戸)	399,098	0.4	397,322	0.3	396,049	0.7
給水栓数 (栓)	342,931	0.7	340,693	0.5	339,049	0.9
管路延長 (m)	2,427,632	0.3	2,421,488	0.3	2,413,970	0.4
1日給水能力 (m ³)	405,800	0.0	405,800	0.0	405,800	△ 1.2
1日最大給水量 (m ³)	289,940	2.4	283,260	△ 2.4	290,310	0.8
1日平均給水量 (m ³)	264,799	0.6	263,092	△ 0.0	263,188	1.0
1人1日最大給水量 (ℓ)	346	2.7	337	△ 2.0	344	0.9
1人1日平均給水量 (ℓ)	316	1.0	313	0.3	312	1.3
受水量 (m ³)	96,639,753	0.6	96,021,429	△ 0.0	96,066,994	0.7
給水量 (m ³)	96,651,773	0.6	96,028,669	△ 0.0	96,063,604	0.7
有収水量 (m ³)	87,644,984	△ 0.4	87,957,401	△ 0.9	88,733,633	1.1
有収率 (%)	90.7	△ 0.9 ^対	91.6	△ 0.9 ^対	92.4	0.3 ^対
水道事業収益 (千円)	16,578,879	△ 0.0	16,585,228	△ 0.5	16,660,520	1.0
水道事業費用 (千円)	15,038,240	△ 2.1	15,356,533	2.8	14,932,581	△ 0.6
純利益 (千円)	1,540,639	25.4	1,228,695	△ 28.9	1,727,939	17.2
資本的収入 (千円)	4,131,255	39.0	2,972,800	△ 26.8	4,062,406	12.6
資本的支出 (千円)	8,135,131	7.9	7,540,434	△ 12.2	8,584,105	5.9
資本的収支差引 (千円)	△ 4,003,876	12.3	△ 4,567,634	△ 1.0	△ 4,521,699	△ 0.5
当年度未処分利益剰余金 (千円)	3,540,638	△ 68.4	11,190,358	42.4	7,855,774	28.2
給水原価 (円/m ³)	156.20	△ 0.3	156.74	1.9	153.79	△ 1.5
供給単価 (円/m ³)	164.95	0.0	164.93	△ 0.1	165.12	0.6
料金回収率 (%)	105.6	0.4 ^対	105.2	△ 2.0 ^対	107.4	2.2 ^対
職員数 (人)	257	△ 2.3	263	△ 1.1	266	2.3

(注1) 率を表す指標の対前年度伸率は、前年度からの増減ポイントとしている。

(注2) 職員数は、管理者・非常勤職員を除き、再任用職員・公益法人等への派遣職員を含む。

1-2 普及の推移

年 度	行政区域内 人口(人)	給水区域内 人口(人)	給水人口 (人)	普及率(%)	給水戸数 (戸)	給水栓数 (栓)
H元	803,189	810,979	808,413	99.68	299,939	262,252
2	800,331	806,409	804,643	99.78	303,061	263,238
3	800,596	807,266	806,056	99.85	306,377	264,781
4	799,479	806,300	805,252	99.87	308,827	265,728
5	806,848	803,731	802,927	99.90	311,892	266,394
6	804,863	801,749	801,108	99.92	315,646	268,448
7	804,229	801,069	800,588	99.94	320,288	270,925
8	801,252	798,183	797,704	99.94	323,557	273,797
9	798,796	795,720	795,243	99.94	327,754	275,907
10	798,632	795,520	795,043	99.94	331,397	277,286
11	798,198	798,955	798,478	99.94	334,537	278,951
12	798,383	799,149	798,674	99.94	337,555	280,389
13	799,417	800,187	800,000	99.98	341,339	283,298
14	798,928	799,726	799,538	99.98	345,189	286,315
15	799,757	800,864	800,677	99.98	348,652	289,455
16	840,647	841,748	841,524	99.97	366,718	307,194
17	841,446	842,605	842,374	99.97	370,427	310,435
18	844,061	845,174	844,997	99.98	374,048	313,424
19	846,042	847,194	847,013	99.98	377,431	316,449
20	847,775	848,991	848,831	99.98	380,929	319,688
21	849,834	850,869	850,725	99.98	381,295	321,833
22	849,940	850,984	850,863	99.99	383,233	324,665
23	850,737	851,765	851,644	99.99	385,861	327,678
24	849,348	850,371	850,244	99.99	388,214	329,719
25	848,154	849,171	849,078	99.99	389,812	332,013
26	846,778	847,783	847,686	99.99	392,327	334,922
27	844,899	845,910	845,879	99.99	393,113	335,976
28	842,545	843,607	843,535	99.99	396,049	339,049
29	838,936	839,937	839,878	99.99	397,322	340,693
30	836,166	837,377	837,312	99.99	399,098	342,931

1-3 給水量の推移

年度	給水量 (m ³)	対前年 伸び率 (%)	一日平均 給水量 (m ³)	一日最大 給水量 (m ³)	取水量 (m ³)	取水内訳	
						受水 (m ³)	自己水 (m ³)
H元	109,820,193	1.7	300,877	355,614	109,813,589	109,777,769	35,820
2	111,469,156	1.5	305,395	366,266	111,497,282	111,484,041	13,241
3	112,571,760	1.0	307,573	369,331	112,628,826	112,626,826	2,000
4	113,018,970	0.4	309,641	371,140	113,015,289	113,011,550	3,739
5	111,517,219	△ 1.3	305,527	353,670	111,531,220	111,531,220	0
6	110,819,007	△ 0.6	303,614	369,100	110,885,621	110,885,621	0
7	108,837,633	△ 1.8	297,371	352,490	108,855,450	108,855,450	0
8	109,446,456	0.6	299,853	349,370	109,420,630	109,420,630	0
9	108,512,400	△ 0.9	297,294	345,550	108,517,870	108,517,870	0
10	107,578,570	△ 0.9	294,736	345,630	107,612,780	107,612,780	0
11	106,891,470	△ 0.6	292,053	355,410	106,860,740	106,860,740	0
12	107,128,420	0.2	293,503	332,910	107,165,960	107,165,960	0
13	106,622,630	△ 0.5	292,117	338,580	106,606,230	106,606,230	0
14	104,407,750	△ 2.1	286,049	327,360	104,417,440	104,417,440	0
15	101,591,823	△ 2.7	277,573	312,790	101,588,443	101,588,443	0
16	101,648,310	0.1	291,966	317,970	101,653,930	101,507,940	145,990
17	106,308,540	4.6	291,256	329,630	106,305,130	105,728,920	576,210
18	104,243,057	△ 1.9	285,597	319,980	104,237,717	103,743,547	494,170
19	103,735,590	△ 0.5	283,431	311,310	103,740,450	103,158,950	581,500
20	101,825,762	△ 1.8	278,975	312,940	101,825,222	101,825,222	0
21	100,491,382	△ 1.3	275,319	310,300	100,481,192	100,481,192	0
22	100,063,810	△ 0.4	274,147	305,820	100,063,010	100,063,010	0
23	98,739,390	△ 1.3	269,780	302,830	98,756,140	98,756,140	0
24	97,588,825	△ 1.2	267,367	299,140	97,583,105	97,583,105	0
25	97,532,730	△ 0.1	267,213	297,170	97,532,790	97,532,790	0
26	95,904,650	△ 1.7	262,752	291,350	95,891,600	95,891,600	0
27	95,357,570	△ 0.6	260,540	288,110	95,371,150	95,371,150	0
28	96,063,604	0.7	263,188	290,310	96,066,994	96,066,994	0
29	96,028,669	△ 0.0	263,092	283,260	96,021,429	96,021,429	0
30	96,651,773	0.6	264,799	289,940	96,639,753	96,639,753	0

1-4 給水量の内訳

項目	年度	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
		水量 (m ³)	比率 (%)	水量 (m ³)	比率 (%)	水量 (m ³)	比率 (%)
給水量		96,651,773	100.00	96,028,669	100.00	96,063,604	100.00
有効水量		89,531,145	92.63	89,909,643	93.62	90,750,153	94.47
有収水量		87,644,984	90.68	87,957,401	91.59	88,733,633	92.37
料金水量		87,638,670	90.67	87,954,169	91.59	88,727,399	92.36
その他		6,314	0.01	3,232	0.00	6,234	0.01
消防用水量		1,659	0.002	2,047	0.002	1,678	0.002
有収損失水量		4,216	0.004	663	0.001	2,054	0.002
負担金工事に係る損失水量		439	0.000	522	0.001	2,502	0.003
無収水量		1,886,161	1.95	1,952,242	2.03	2,016,520	2.10
メータ不感水量(推定)		1,752,773	1.81	1,759,083	1.83	1,774,547	1.85
局事業用水量		88,167	0.09	93,024	0.10	100,600	0.10
その他		45,221	0.05	100,135	0.10	141,373	0.15
無効水量		7,120,628	7.37	6,119,026	6.38	5,313,451	5.53
調定減額水量		100,043	0.10	104,251	0.11	101,043	0.11
不明水量		7,020,585	7.27	6,014,775	6.27	5,212,408	5.42

1-5 給水工事件数

項目	年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
新設	(件)	4,544	4,543	5,644
改造	(件)	2,140	1,970	1,052
撤去	(件)	3,300	3,875	3,763
合計	(件)	9,984	10,388	10,459

1-6 開閉栓等の受付件数

項目	年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
開栓	(件)	39,399	37,250	32,365
閉栓	(件)	42,795	40,514	34,081
その他変更※	(件)	21,691	21,293	15,573
合計	(件)	103,885	99,057	82,019

※「その他変更」は、請求先や支払方法の変更などの問い合わせ件数です。

2 料金徴収

2-1 使用区分別調定表

(税込)

使用区分	区分	平成30年度	平成29年度	平成28年度	
基本料金 (福祉用・浴場用分を含む)	件数 (件)	4,814,704	4,792,806	4,761,640	
	金額 (円)	3,715,764,020	3,695,355,162	3,671,049,932	
従 量 料	1 ~ 10m ³ φ 20mm以下 (40円/m ³)	件数 (件)	4,526,212	4,509,776	4,488,986
		水量 (m ³)	39,119,961	39,059,869	39,038,058
		金額 (円)	1,689,715,424	1,687,124,373	1,686,190,162
	1 ~ 10m ³ φ 25mm以上 (125円/m ³)	件数 (件)	98,216	97,017	96,069
		水量 (m ³)	827,168	819,625	813,617
		金額 (円)	111,527,132	110,511,582	109,695,453
	11 ~ 20m ³ (125円/m ³)	件数 (件)	3,061,423	3,069,536	3,086,458
		水量 (m ³)	22,482,672	22,632,043	22,858,285
		金額 (円)	3,035,160,720	3,055,325,805	3,085,868,475
21 ~ 30m ³ (185円/m ³)	件数 (件)	1,245,879	1,256,185	1,283,599	
	水量 (m ³)	7,818,270	7,915,729	8,120,501	
	金額 (円)	1,561,914,915	1,581,386,548	1,622,299,610	
31 ~ 50m ³ (230円/m ³)	件数 (件)	391,939	399,546	413,980	
	水量 (m ³)	3,459,425	3,535,680	3,679,392	
	金額 (円)	859,253,554	878,193,993	913,889,879	
51 ~ 100m ³ (275円/m ³)	件数 (件)	70,505	72,197	74,232	
	水量 (m ³)	2,010,148	2,027,606	2,050,617	
	金額 (円)	597,013,956	602,198,982	609,033,249	
101 ~ 500m ³ (310円/m ³)	件数 (件)	29,214	29,488	29,405	
	水量 (m ³)	5,286,131	5,316,213	5,344,485	
	金額 (円)	1,769,790,758	1,779,862,232	1,789,327,708	
501 ~ 1,000m ³ (325円/m ³)	件数 (件)	6,989	6,997	7,079	
	水量 (m ³)	2,267,838	2,298,411	2,346,069	
	金額 (円)	796,011,138	806,742,261	823,470,219	
1,001m ³ 以上 (335円/m ³)	件数 (件)	2,924	2,942	3,028	
	水量 (m ³)	3,922,603	3,904,478	4,015,633	
	金額 (円)	1,419,196,665	1,412,639,033	1,452,854,883	
福祉用 (125円/m ³)	件数 (件)	736	732	732	
	水量 (m ³)	328,666	325,656	328,283	
	金額 (円)	44,369,910	43,963,560	44,318,205	
浴場用 1 ~ 1,000m ³ (105円/m ³)	件数 (件)	272	283	311	
	水量 (m ³)	93,589	94,635	104,165	
	金額 (円)	10,612,916	10,731,532	11,812,222	
浴場用 1,001 ~ 2,000m ³ (110円/m ³)	件数 (件)	38	39	44	
	水量 (m ³)	15,945	15,885	21,217	
	金額 (円)	1,894,258	1,887,127	2,520,570	
浴場用 2,001m ³ 以上 (200円/m ³)	件数 (件)	12	12	13	
	水量 (m ³)	6,254	8,339	7,077	
	金額 (円)	1,350,864	1,801,224	1,528,632	
合 計	件数 (件)	4,814,704	4,792,806	4,761,640	
	水量 (m ³)	87,638,670	87,954,169	88,727,399	
	金額 (円)	15,613,576,230	15,667,723,414	15,823,859,199	

※使用区分欄金額は従量料金単価(税抜)です。

2-2 用途別・口径別調定表

(税込)

口径	区分	一 般 用			公衆浴場用	合 計
		家事用	業務用	計		
φ 20mm 以下	件数 (件)	4,515,726	196,815	4,712,541	0	4,712,541
	水量 (m ³)	69,091,220	2,642,821	71,734,041	0	71,734,041
	金額 (円)	9,788,875,548	514,069,127	10,302,944,675	0	10,302,944,675
φ 25mm	件数 (件)	0	56,673	56,673	42	56,715
	水量 (m ³)	0	2,039,342	2,039,342	1,322	2,040,664
	金額 (円)	0	536,065,320	536,065,320	195,266	536,260,586
φ 30mm	件数 (件)	0	11,610	11,610	24	11,634
	水量 (m ³)	0	1,033,328	1,033,328	2,980	1,036,308
	金額 (円)	0	321,480,610	321,480,610	418,278	321,898,888
φ 40mm	件数 (件)	0	18,821	18,821	24	18,845
	水量 (m ³)	0	3,391,462	3,391,462	15,971	3,407,433
	金額 (円)	0	1,094,736,751	1,094,736,751	1,942,274	1,096,679,025
φ 50mm	件数 (件)	0	10,138	10,138	134	10,272
	水量 (m ³)	0	3,725,373	3,725,373	51,251	3,776,624
	金額 (円)	0	1,291,346,816	1,291,346,816	7,255,360	1,298,602,176
φ 75mm	件数 (件)	0	3,529	3,529	36	3,565
	水量 (m ³)	0	3,090,681	3,090,681	14,010	3,104,691
	金額 (円)	0	1,120,284,648	1,120,284,648	2,367,757	1,122,652,405
φ 100mm	件数 (件)	0	796	796	12	808
	水量 (m ³)	0	1,221,682	1,221,682	30,254	1,251,936
	金額 (円)	0	451,772,750	451,772,750	4,539,024	456,311,774
φ 150mm	件数 (件)	0	276	276	0	276
	水量 (m ³)	0	1,032,352	1,032,352	0	1,032,352
	金額 (円)	0	381,471,241	381,471,241	0	381,471,241
φ 200mm	件数 (件)	0	48	48	0	48
	水量 (m ³)	0	254,621	254,621	0	254,621
	金額 (円)	0	96,755,460	96,755,460	0	96,755,460
合 計	件数 (件)	4,515,726	298,706	4,814,432	272	4,814,704
	水量 (m ³)	69,091,220	18,431,662	87,522,882	115,788	87,638,670
	金額 (円)	9,788,875,548	5,807,982,723	15,596,858,271	16,717,959	15,613,576,230

2-3 月別徴収率 (H31. 3. 31 時点)

(税込)

区分 月別	調定額		徴収額		徴収率	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (%)	金額 (%)
平成30年 4月	181,565	1,294,316,801	181,134	1,292,164,341	99.76	99.83
5月	166,042	1,219,539,506	165,699	1,217,714,716	99.79	99.85
6月	181,193	1,398,876,232	180,752	1,397,125,749	99.76	99.87
7月	166,249	1,314,007,252	165,886	1,312,326,223	99.78	99.87
8月	181,592	1,426,105,214	181,133	1,424,169,896	99.75	99.86
9月	166,225	1,301,235,317	165,763	1,297,426,262	99.72	99.71
10月	181,984	1,354,032,812	181,380	1,348,832,568	99.67	99.62
11月	166,507	1,242,610,007	165,408	1,235,781,523	99.34	99.45
12月	182,330	1,295,432,874	177,982	1,271,754,917	97.62	98.17
平成31年1月	166,225	1,234,722,839	157,352	1,183,471,808	94.66	95.85
2月	181,903	1,371,558,226	155,972	※ 1,233,596,376	85.74	※ 89.94
3月	168,023	1,161,139,150	1,602	※ 7,149,494	0.95	※ 0.62
計	2,089,838	15,613,576,230	1,880,063	14,221,513,873	89.96	91.08
平成29年度	2,074,803	15,667,723,414	1,861,483	14,266,564,292	89.72	91.06
平成28年度	2,055,431	15,823,859,199	1,839,729	14,366,929,209	89.51	90.79

※2月・3月調定額の一部は、翌年度以降に徴収されるため、徴収額及び徴収率が低くなっている。

【参考】翌年度の5月末時点の徴収率

(税込)

区分 年度別	調定額		徴収額		徴収率	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (%)	金額 (%)
平成30年度	2,089,793	15,611,231,296	2,071,846	15,511,542,632	99.14	99.36
平成29年度	2,074,821	15,664,714,324	2,053,953	15,542,476,421	98.99	99.22
平成28年度	2,055,495	15,822,117,753	2,026,280	15,648,973,964	98.58	98.91

2-4 納入方法別件数の比較

収納方法	年度	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	区分	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
銀行 (口座制)		1,248,871	59.32	1,239,646	59.45	1,236,217	59.48
銀行 (納付制)		95,404	4.53	98,204	4.71	113,011	5.44
郵便局 (口座制)		280,629	13.33	277,635	13.31	276,268	13.29
郵便局 (納付制)		48,341	2.30	40,923	1.96	34,894	1.68
コンビニエンスストア (納付制)		431,953	20.52	429,007	20.57	417,844	20.11
合計		2,105,198	100.00	2,085,415	100.00	2,078,234	100.00

2-5 検針

(件)

区分	年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
総点検数		2,329,220	2,308,436	2,297,618
検針数		2,325,324	2,302,925	2,288,788
(うち、休止中)		265,618	260,038	270,250
検針できなかったもの		928	2,358	5,954
不在		596	1,198	1,633
障害		267	957	3,395
埋没		65	203	926
メータ撤去数		2,968	3,153	2,876

2-6 加入金収入の推移

(税抜)

	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
φ 20mm以下 (70,000円/件)	1,184	82,880,000	1,619	113,330,000	1,792	125,440,000
φ 25mm (166,000円/件)	25	4,150,000	17	2,822,000	38	6,308,000
φ 30mm (383,000円/件)	3	1,149,000	3	1,149,000	5	1,915,000
φ 40mm (720,000円/件)	12	8,640,000	15	10,800,000	13	9,360,000
φ 50mm (1,250,000円/件)	17	21,250,000	10	12,500,000	5	6,250,000
φ 65mm (2,500,000円/件)	0	0	0	0	2	5,000,000
φ 75mm (3,600,000円/件)	3	10,800,000	4	14,400,000	1	3,600,000
φ 100mm (7,450,000円/件)	-1	-7,450,000	2	14,900,000	3	22,350,000
φ 125mm (13,320,000円/件)	0	0	1	13,320,000	0	0
φ 150mm (21,360,000円/件)	0	0	0	0	0	0
新設工事	1,243	121,419,000	1,671	183,221,000	1,859	180,223,000
改造工事	251	173,281,000	245	145,282,000	243	139,921,000
合 計	1,494	294,700,000	1,916	328,503,000	2,102	320,144,000

3 維持管理

3-1 月別薬品使用量等

	薬品使用量	電力使用量 (kWh)	取水量(受水量)	給水量 (m ³)
	次亜塩素酸 ソーダ (kg)		(大阪広域水道 企業団浄水) (m ³)	
平成30年 4月	0	224,044	7,824,963	7,818,313
5月	538	258,036	8,066,700	8,067,260
6月	1,746	261,324	8,022,610	8,022,200
7月	2,300	264,511	8,566,660	8,570,510
8月	2,962	294,027	8,509,020	8,507,260
9月	2,773	292,562	7,917,410	7,910,830
10月	2,045	259,157	8,217,720	8,225,340
11月	1,636	258,874	7,945,040	7,942,110
12月	1,327	249,284	8,205,080	8,215,840
平成31年 1月	269	267,881	8,070,170	8,060,770
2月	0	263,013	7,300,050	7,320,210
3月	0	237,733	7,994,330	7,991,130
平成30年度	15,596	3,130,446	96,639,753	96,651,773
平成29年度	13,423	3,316,807	96,021,429	96,028,669
平成28年度	16,250	3,346,727	96,066,994	96,063,604

3-2 道路上維持修繕工事

		平成30年度	平成29年度	平成28年度
送配水管	維持 (件)	43	53	43
	受託 (件)	1	1	6
	計 (件)	44	54	49
給水管	維持 (件)	547	517	568
	受託 (件)	56	62	56
	計 (件)	603	579	624
消火栓	維持 (件)	32	18	20
	受託 (件)	0	0	0
	計 (件)	32	18	20
小計	維持 (件)	622	588	631
	受託 (件)	57	63	62
	計 (件)	679	651	693
その他	維持 (件)	61	40	55
	受託 (件)	1	0	10
	計 (件)	62	40	65
合計	維持 (件)	683	628	686
	受託 (件)	58	63	72
	計 (件)	741	691	758

3-3 水質試験

	項目	水質基準値等	最小表示値	岩室配水場		晴美台配水場(15池)		晴美台配水場(35池)		陶器配水場		
				平均値	回数	平均値	回数	平均値	回数	平均値	回数	
水	気温	℃		17.0	12	17.0	12	17.0	12	15.9	12	
	一般細菌集落		100以下	0	0	0	12	0	12	0	12	
	大腸菌	(+、-)	検出されないこと		検出なし	12	検出なし	12	検出なし	12	検出なし	12
	カドミウム	mg/l	0.003以下	0.0003	0.0003未満	1	0.0003未満	1	0.0003未満	1	0.0003未満	1
	水銀	mg/l	0.0005以下	0.00005	0.00005未満	1	0.00005未満	1	0.00005未満	1	0.00005未満	1
	セレン	mg/l	0.01以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	鉛	mg/l	0.01以下	0.001	0.001未満	4	0.001未満	4	0.001未満	4	0.001未満	4
	ヒ素	mg/l	0.01以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	六価クロム	mg/l	0.05以下	0.0005	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1
	亜硝酸態窒素	mg/l	0.04以下	0.004	0.004未満	4	0.004未満	4	0.004未満	4	0.004未満	4
	シアン化物及び塩化シアン	mg/l	0.01以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	10以下	0.50	0.79	4	0.80	4	0.81	4	0.80	4
	フッ素	mg/l	0.8以下	0.05	0.09	1	0.09	1	0.09	1	0.09	1
	ホウ素	mg/l	1.0以下	0.01	0.02	1	0.02	1	0.02	1	0.02	1
	四塩化炭素	mg/l	0.002以下	0.0002	0.0002未満	1	0.0002未満	1	0.0002未満	1	0.0002未満	1
	1,4-ジオキサン	mg/l	0.05以下	0.005	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1
	c,t-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	ジクロロメタン	mg/l	0.02以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	テトラクロロエチレン	mg/l	0.01以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	トリクロロエチレン	mg/l	0.01以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	ベンゼン	mg/l	0.01以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	塩素酸	mg/l	0.6以下	0.06	0.06未満	6	0.06未満	6	0.06未満	6	0.06未満	6
	クロロ酢酸	mg/l	0.02以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
	クロロホルム	mg/l	0.06以下	0.001	0.003	6	0.003	6	0.003	6	0.003	6
	ジクロロ酢酸	mg/l	0.03以下	0.001	0.002	1	0.002	1	0.002	1	0.002	1
	ジブロモクロロメタン	mg/l	0.1以下	0.001	0.006	6	0.006	6	0.005	6	0.006	6
臭素酸	mg/l	0.01以下	0.001	0.002	6	0.002	6	0.002	6	0.002	6	
総トリハロメタン	mg/l	0.1以下	0.001	0.016	6	0.016	6	0.014	6	0.015	6	
トリクロロ酢酸	mg/l	0.03以下	0.001	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	
ブロモジクロロメタン	mg/l	0.03以下	0.001	0.005	6	0.005	6	0.004	6	0.005	6	
ブロモホルム	mg/l	0.09以下	0.001	0.002	6	0.002	6	0.002	6	0.002	6	
ホルムアルデヒド	mg/l	0.08以下	0.005	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	
亜鉛	mg/l	1.0以下	0.01	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	
アルミニウム	mg/l	0.2以下	0.01	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01	4	
鉄	mg/l	0.3以下	0.03	0.03未満	4	0.03未満	4	0.03未満	4	0.03未満	4	
銅	mg/l	1.0以下	0.01	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	
ナトリウム	mg/l	200以下	7.5	15.1	4	14.9	4	14.7	4	14.9	4	
マンガン	mg/l	0.05以下	0.005	0.005未満	4	0.005未満	4	0.005未満	4	0.005未満	4	
塩化物イオン	mg/l	200以下	6.0	14.9	12	14.9	12	14.8	12	14.8	12	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	300以下	5.0	39.7	4	39.5	4	39.2	4	39.5	4	
蒸発残留物	mg/l	500以下	1	95	4	92	4	95	4	95	4	
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.2以下	0.02	0.02未満	1	0.02未満	1.00	0.02未満	1.00	0.02未満	1.00	
ジェオスミン	mg/l	0.00001以下	0.000001	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	
2-メチルイソボルネオール	mg/l	0.00001以下	0.000001	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	
非イオン界面活性剤	mg/l	0.02以下	0.005	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	
フェノール類	mg/l	0.005以下	0.0005	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1	
有機物(TOC)	mg/l	3以下	0.2	0.7	12	0.7	12	0.7	12	0.7	12	
pH値		5.8以上8.6以下		7.6	12	7.6	12	7.6	12	7.6	12	
味		異常でないこと		異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	
臭	気	異常でないこと		異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	
色度	度	5以下	1	1未満	12	1未満	12	1未満	12	1未満	12	
濁度	度	2以下	0.5	0.5未満	12	0.5未満	12	0.5未満	12	0.5未満	12	
22条	遊離残留塩素	mg/l	0.1以上	0.1	0.7	12	0.7	12	0.7	12	0.7	12
	残留塩素	mg/l		0.1	0.8	12	0.8	12	0.8	12	0.8	12
他参考	電気伝導率	μS/cm		1	164	12	163	12	162	12	162	12
	水温	℃			18.6	12	18.6	12	18.6	12	19.2	12

項目	桃山台配水場 (受水池)		桃山台配水場 (配水池)		家原寺配水場		浅香山配水場		小平尾配水場	
	平均値	回数	平均値	回数	平均値	回数	平均値	回数	平均値	回数
水温	18.1	12	18.1	12	18.1	12	17.6	12	17.6	12
一般細菌集落	0	12	0	12	0	12	0	12	0	12
大腸菌(+-)	検出なし	12	検出なし	12	検出なし	12	検出なし	12	検出なし	12
カドミウム	0.0003未満	1	0.0003未満	1	0.0003未満	1	0.0003未満	1	0.0003未満	1
水銀	0.00005未満	1	0.00005未満	1	0.00005未満	1	0.00005未満	1	0.00005未満	1
セレン	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
鉛	0.001未満	4	0.001未満	4	0.001未満	4	0.001未満	4	0.001未満	4
ヒ素	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
六価クロム	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1
亜硝酸態窒素	0.004未満	4	0.004未満	4	0.004未満	4	0.004未満	3	0.004未満	4
シアン化物及び塩化シアン	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.87	4	0.89	4	0.90	4	0.79	3	0.83	4
フッ素	0.09	1	0.09	1	0.09	1	0.08	1	0.08	4
ホウ素	0.02	1	0.02	1	0.02	1	0.02	1	0.02	1
四塩化炭素	0.0002未満	1	0.0002未満	1	0.0002未満	1	0.0002未満	1	0.0002未満	4
1,4-ジオキサン	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	4
o,t-1,2-ジクロロエチレン	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	4
ジクロロメタン	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	4
テトラクロロエチレン	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	4
トリクロロエチレン	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	4
ベンゼン	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	4
塩素酸	0.06未満	6	0.06未満	6	0.06未満	6	0.066	5	0.068	4
クロロ酢酸	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	1	0.001未満	4
クロロホルム	0.003	6	0.003	6	0.004	6	0.004	6	0.002	4
ジクロロ酢酸	0.002	1	0.003	1	0.003	1	0.002	1	0.002	4
ジブロモクロロメタン	0.005	6	0.006	6	0.007	6	0.006	6	0.005	4
臭素酸	0.002	6	0.002	6	0.002	6	0.002	5	0.002	4
総トリハロメタン	0.014	6	0.016	6	0.018	6	0.018	6	0.013	4
トリクロロ酢酸	0.001未満	1	0.001	1	0.001	1	0.001	1	0.001未満	4
ブロモジクロロメタン	0.005	6	0.005	6	0.006	6	0.006	6	0.004	4
ブromoホルム	0.002	6	0.002	6	0.002	6	0.002	6	0.002	4
ホルムアルデヒド	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1
亜鉛	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4
アルミニウム	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01	4	0.01未満	4	0.01未満	4
鉄	0.03未満	4	0.03未満	4	0.03未満	4	0.03未満	4	0.03未満	4
銅	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4	0.01未満	4
ナトリウム	16.3	4	16.6	4	16.5	4	15.6	4	15.6	4
マンガン	0.005未満	4	0.005未満	4	0.005未満	4	0.005未満	4	0.005未満	4
塩化物イオン	15.6	12	15.7	12	15.7	12	15.6	11	15.5	12
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	40.4	4	40.6	4	40.5	4	39.3	4	39.6	4
蒸発残留物	102	4	104	4	98	4	102	4	104	4
陰イオン界面活性剤	0.02未満	1.00	0.02未満	1.00	0.02未満	1.00	0.02未満	1.00	0.02未満	1.00
ジェオスミン	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1	0.000001未満	1
非イオン界面活性剤	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1	0.005未満	1
フェノール類	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1	0.0005未満	1
有機物(TOC)	0.7	12	0.7	12	0.7	12	0.7	12	0.7	12
pH値	7.6	12	7.6	12	7.6	12	7.7	12	7.6	12
味	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12
臭	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12	異常なし	12
色度	1未満	12	1未満	12	1未満	12	1未満	12	1未満	12
濁度	0.5未満	12	0.5未満	12	0.5未満	12	0.5未満	12	0.5未満	12
遊離残留塩素	0.7	12	0.6	12	0.7	12	0.6	12	0.7	12
残留塩素	0.8	12	0.7	12	0.7	12	0.7	12	0.8	12
電気伝導率	165	12	166	12	165	12	169	12	168	12
水温	18.3	12	18.4	12	18.5	12	18.5	12	18.2	12

4 経営状況

4-1 比較損益計算書

(税抜)

科 目	平成 30 年度			平成 29 年度			平成 28 年度		
	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %
1. 営業収益	15,215,407,163	91.8	0.1	15,193,372,218	91.6	△ 1.0	15,339,612,242	92.1	1.7
(1) 給水収益	14,457,015,037	87.2	△ 0.3	14,507,151,317	87.5	△ 1.0	14,651,721,490	87.9	1.6
(2) 受託工事収益	111,801,652	0.7	△ 3.2	115,552,190	0.7	△ 8.2	125,906,130	0.8	△ 3.3
(3) その他営業収益	646,590,474	3.9	13.3	570,668,711	3.4	1.5	561,984,622	3.4	4.3
2. 営業費用	14,527,827,741	96.6	0.1	14,515,552,674	94.6	1.0	14,370,446,864	96.3	△ 0.4
(1) 原水及び浄水費	7,020,411,868	46.7	△ 3.3	7,261,093,799	47.3	△ 0.2	7,273,813,920	48.7	0.7
(2) 配水及び給水費	1,561,391,330	10.4	2.8	1,519,084,177	9.9	△ 1.9	1,547,770,361	10.4	3.4
(3) 受託工事費	109,186,020	0.7	△ 1.6	110,909,448	0.7	△ 11.8	125,747,429	0.8	△ 4.8
(4) 業務費	1,006,022,892	6.7	1.9	987,662,153	6.5	6.1	930,913,898	6.3	△ 1.4
(5) 総係費	859,532,922	5.7	6.9	803,874,494	5.2	△ 8.8	881,211,920	5.9	11.0
(6) 減価償却費	3,628,896,182	24.1	2.5	3,541,854,958	23.1	2.0	3,472,850,703	23.3	0.3
(7) 資産減耗費	342,386,527	2.3	17.6	291,073,645	1.9	110.7	138,138,633	0.9	△ 63.3
営業利益(△営業損失)	687,579,422	-	1.4	677,819,544	-	△ 30.1	969,165,378	-	46.6
3. 営業外収益	1,362,788,576	8.2	8.0	1,262,339,820	7.6	△ 3.2	1,304,474,095	7.8	0.2
(1) 受取利息及び配当金	6,009,846	0.0	△ 44.2	10,776,246	0.1	△ 38.3	17,462,441	0.1	△ 16.5
(2) 他会計補助金	11,716,340	0.1	△ 14.3	13,663,900	0.1	5.5	12,951,334	0.1	12.7
(3) 長期前受金戻入	1,233,916,394	7.4	7.1	1,152,322,725	6.9	△ 0.4	1,156,433,265	6.9	△ 1.3
(4) 雑収益	111,145,996	0.7	29.9	85,576,949	0.5	△ 27.2	117,627,055	0.7	20.4
4. 営業外費用	504,987,554	3.4	△ 5.5	534,309,789	3.4	△ 4.2	557,686,003	3.7	△ 6.0
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	501,384,686	3.4	△ 4.7	525,975,402	3.4	△ 4.7	551,627,157	3.7	△ 6.3
(2) 補償補填及び賠償金	920,481	0.0	△ 84.6	5,974,848	0.0	62.8	3,670,704	0.0	473.2
(3) 雑支出	2,682,387	0.0	13.7	2,359,539	0.0	△ 1.2	2,388,142	0.0	△ 37.2
営業外利益(△営業外損失)	857,801,022	-	17.8	728,030,031	-	△ 2.5	746,788,092	-	5.4
経常利益(△経常損失)	1,545,380,444	-	9.9	1,405,849,575	-	△ 18.1	1,715,953,470	-	25.3
5. 特別利益	682,705	0.0	△ 99.5	129,516,352	0.8	688.1	16,434,002	0.1	△ 85.1
(1) 固定資産売却益	0	0.0	-	0	0.0	皆減	15,828,324	0.1	15,789.5
(2) 過年度損益修正益	682,705	0.0	2.9	663,255	0.0	9.5	605,678	0.0	△ 83.6
(3) 長期前受金戻入益	0	0.0	皆減	67,782,097	0.4	皆増	0	0.0	-
(4) その他特別利益	0	0.0	皆減	61,071,000	0.4	皆増	0	0.0	皆減
6. 特別損失	5,424,428	0.0	△ 98.2	306,670,949	2.0	6,793.3	4,448,839	0.0	△ 26.2
(1) 過年度損益修正損	5,424,428	0.0	16.7	4,646,409	0.0	4.5	4,448,407	0.0	△ 1.0
(2) 固定資産譲渡損	0	-	-	0	0.0	皆減	432	0.0	△ 100.0
(3) 減損損失	0	-	皆減	302,024,540	2.0	皆増	0	0.0	-
特別損益	△ 4,741,723	-	97.3	△ 177,154,597	-	△ 1,578.1	11,985,163	-	△ 88.5
当年度純利益(△純損失)	1,540,638,721	-	25.4	1,228,694,978	-	△ 28.9	1,727,938,633	-	17.2
前年度繰越利益剰余金(△繰越欠損金)	0	-	△ 100.0	7,355,773,761	-	20.0	6,127,835,128	-	31.7
その他未処分利益剰余金変動額	2,000,000,000	-	△ 23.3	2,605,889,000	-	皆増	0	-	-
当年度未処分利益剰余金(△未処理欠損金)	3,540,638,721	-	△ 68.4	11,190,357,739	-	42.4	7,855,773,761	-	28.2
総 収 益	16,578,878,444	100.0	0.0	16,585,228,390	100.0	△ 0.5	16,660,520,339	100.0	1.0
総 費 用	15,038,239,723	100.0	△ 2.1	15,356,533,412	100.0	2.8	14,932,581,706	100.0	△ 0.6

4-2 比較貸借対照表

(税抜)

科 目	平成 30 年度			平成 29 年度			平成 28 年度		
	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %
1. 固定資産	112,126,889,969	90.2	2.6	109,297,130,052	89.7	2.0	107,172,435,711	89.3	3.4
(1)有形固定資産	108,711,655,939	87.4	2.7	105,819,081,186	86.8	2.1	103,600,698,581	86.3	2.9
(2)無形固定資産	130,234,030	0.1	△ 11.4	147,048,866	0.1	△ 25.3	196,737,130	0.2	0.9
(3)投資その他の資産	3,285,000,000	2.7	△ 1.4	3,331,000,000	2.8	△ 1.3	3,375,000,000	2.8	19.3
2. 流動資産	12,206,419,222	9.8	△ 3.1	12,600,832,350	10.3	△ 2.2	12,890,194,358	10.7	△ 13.0
(1)現金・預金	8,921,665,725	7.1	△ 2.9	9,186,698,483	7.5	△ 0.5	9,228,723,195	7.7	△ 15.9
(2)未収金	2,096,758,680	1.7	△ 3.9	2,180,858,862	1.8	△ 2.6	2,238,595,341	1.8	△ 10.6
(3)貸倒引当金	△ 26,735,000	0.0	0.0	△ 32,140,000	0.0	0.0	△ 30,446,000	0.0	0.0
(4)貯蔵品	93,396,895	0.1	△ 32.7	138,865,453	0.1	71.4	81,026,644	0.1	△ 29.9
(5)短期貸付金	46,000,000	0.0	4.5	44,000,000	0.0	2.3	43,000,000	0.0	皆増
(6)前払金	1,075,332,922	0.9	△ 0.7	1,082,549,552	0.9	△ 18.6	1,329,295,178	1.1	5.7
資産合計	124,333,309,191	100.0	2.0	121,897,962,402	100.0	1.5	120,062,630,069	100.0	1.3
3. 固定負債	33,784,482,816	27.2	7.3	31,493,848,877	25.8	2.4	30,755,215,162	25.6	6.4
(1)建設改良費等の財源に充てる ための企業債	31,424,586,360	25.3	7.8	29,144,572,474	23.9	3.4	28,186,632,324	23.5	7.5
(2)リース債務	145,825,456	0.1	151.9	57,879,403	0.0	69.3	34,192,838	0.0	123.8
(3)退職給付引当金	1,740,791,000	1.4	△ 0.3	1,746,869,000	1.4	△ 9.0	1,920,286,000	1.6	△ 0.3
(4)修繕引当金	473,280,000	0.4	△ 13.1	544,528,000	0.5	△ 11.3	614,104,000	0.5	△ 16.0
4. 流動負債	4,863,548,820	3.9	△ 11.1	5,470,491,629	4.5	8.6	5,035,192,088	4.2	△ 24.1
(1)建設改良費等の財源に充てる ための企業債	1,379,986,114	1.1	△ 4.3	1,442,059,850	1.2	2.9	1,400,878,483	1.2	△ 7.0
(2)リース債務	44,379,447	0.0	91.5	23,171,935	0.0	71.4	13,522,658	0.0	95.3
(3)未払金	1,574,561,588	1.3	△ 29.2	2,224,178,006	1.8	44.0	1,544,371,481	1.3	△ 48.7
(4)前受金	17,654,162	0.0	88.9	9,344,708	0.0	17.8	7,932,373	0.0	△ 43.2
(5)預り金	131,535,772	0.1	△ 1.1	132,969,609	0.1	23.6	107,574,907	0.1	△ 42.7
(6)下水道使用料預り金	1,554,091,737	1.3	4.8	1,483,086,521	1.3	△ 17.9	1,805,416,186	1.5	2.8
(7)賞与引当金	135,057,000	0.1	3.5	130,485,000	0.1	0.1	130,392,000	0.1	2.5
(8)法定福利費引当金	26,283,000	0.0	4.3	25,196,000	0.0	0.4	25,104,000	0.0	2.1
5. 繰延収益	31,316,068,079	25.2	△ 2.8	32,207,466,141	26.4	△ 2.1	32,885,438,042	27.4	△ 1.6
(1)長期前受金	50,623,622,005	0.0	0.1	50,569,365,699	0.0	0.9	50,141,700,107	0.0	0.6
(2)長期前受金収益化累計額	△ 19,307,553,926	0.0	0.0	△ 18,361,899,558	0.0	0.0	△ 17,256,262,065	0.0	0.0
負債合計	69,964,099,715	56.3	1.1	69,171,806,647	56.7	0.7	68,675,845,292	57.2	△ 0.4
6. 資本金	37,763,616,326	30.4	24.2	30,395,350,411	25.0	0.0	30,395,350,411	25.3	0.0
(1)自己資本金	37,763,616,326	30.4	24.2	30,395,350,411	25.0	0.0	30,395,350,411	25.3	0.0
7. 剰余金	16,605,593,150	13.3	△ 25.6	22,330,805,344	18.3	6.4	20,991,434,366	17.5	9.6
(1)資本剰余金	11,242,862,605	9.0	0.9	11,140,447,605	9.1	1.0	11,029,771,605	9.2	1.0
(2)利益剰余金(△欠損金)	5,362,730,545	4.3	△ 52.1	11,190,357,739	9.2	12.3	9,961,662,761	8.3	21.0
資本合計	54,369,209,476	43.7	3.1	52,726,155,755	43.3	2.6	51,386,784,777	42.8	3.7
負債・資本合計	124,333,309,191	100.0	2.0	121,897,962,402	100.0	1.5	120,062,630,069	100.0	1.3

4-3 目的別原価

(税抜)

区分 項目	平成 30 年度				平成 29 年度				平成 28 年度			
	原価費用 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	1㎡当りの 原価 円	原価費用 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	1㎡当りの 原価 円	原価費用 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	1㎡当りの 原価 円
人件費	1,532,539,295	11.2	△ 0.8	17.49	1,544,770,968	11.2	△ 8.5	17.56	1,688,210,003	12.4	4.3	19.03
受水費	6,958,062,216	50.8	△ 3.4	79.39	7,201,607,175	52.2	0.0	81.88	7,205,024,550	52.8	0.7	81.20
動力費	52,885,676	0.4	△ 19.0	0.60	65,304,571	0.5	4.7	0.74	62,379,367	0.5	△ 7.8	0.70
薬品費	808,829	0.0	△ 14.3	0.01	944,200	0.0	6.0	0.01	890,498	0.0	△ 6.2	0.01
減価償却費	3,628,896,182	26.5	2.5	41.41	3,541,854,958	25.8	2.0	40.27	3,472,850,703	25.5	0.3	39.14
長期前受金戻入益	△ 1,233,916,394	△ 9.0	7.1	△ 14.08	△ 1,152,322,725	△ 8.4	△ 0.4	△ 13.10	△ 1,156,433,265	△ 8.5	△ 1.3	△ 13.03
支払利息	501,384,686	3.7	△ 4.7	5.72	525,975,402	3.8	△ 4.7	5.98	551,627,157	4.0	△ 6.3	6.22
施設維持修繕費	524,794,657	3.8	0.3	5.99	523,031,123	3.8	△ 0.1	5.95	523,692,602	3.8	1.0	5.90
その他の費用	1,724,257,734	12.6	12.3	19.67	1,535,464,618	11.1	18.3	17.46	1,297,710,558	9.5	△ 12.1	14.62
合 計	13,689,712,881	100.0	△ 0.7	156.20	13,786,630,290	100.0	1.0	156.74	13,645,952,173	100.0	△ 0.5	153.79

4-4 経営指標

項目	単位	算出基礎	平成30年度	平成29年度	平成28年度
自己資本構成比率	(%)	(自己資本金+剰余金+繰延収益)/負債資本合計×100	68.9	69.7	70.2
固定資産対長期資本比率	(%)	固定資産/(固定負債+資本金+剰余金+繰延収益)×100	93.9	93.9	93.2
流動比率	(%)	(流動資産/流動負債)×100	251.0	230.3	256.0
現金比率	(%)	(現金・預金/流動負債)×100	183.4	167.9	183.3
未収金回転率	(回)	(営業収益-受託収益)/((期首未収金+期末未収金)/2)×100	7.1	6.8	6.4
総資本利益率	(%)	経常利益/((期首負債資本合計+期末負債資本合計)/2)×100	1.3	1.2	1.4
経常収支比率	(%)	(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)×100	110.3	109.3	111.5
営業収支比率	(%)	(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費用)×100	104.8	104.7	106.8
利子負担率	(%)	支払利息/(企業債+リース債務)×100	1.5	1.7	1.9
企業債償還元金対減価償却費比率	(%)	企業債償還元金/(当年度減価償却費-長期前受金戻入)×100	60.2	58.6	65.1
企業債利息対料金収入比率	(%)	企業債利息/給水収益×100	3.5	3.6	3.8
企業債償還元金対料金収入比率	(%)	建設改良のための企業債償還元金/給水収益×100	10.0	9.7	10.3
経常利益率	(%)	(営業収益-営業費用+営業外収益-営業外費用)/営業収益×100	10.2	9.3	11.2
施設利用率	(%)	一日平均配水量/配水能力×100	65.3	64.8	64.9
施設最大稼働率	(%)	一日最大配水量/配水能力×100	71.4	69.8	71.5
供給単価	(円/m ³)	給水収益/年間総有収水量	164.95	164.93	165.12
給水原価	(円/m ³)	(経常費用-受託工事費-長期前受金戻入)/年間総有収水量	156.20	156.74	153.79
経費回収率	(%)	供給単価/給水原価×100	105.6	105.2	107.4
有収率	(%)	年間総有収水量/年間総配水量×100	90.7	91.6	92.4
管路経年化率	(%)	法定耐用年数を経過した管路延長/水道管路総延長×100	18.5	18.4	16.5
総水道管路耐震化率	(%)	耐震化路線延長/水道管路総延長×100	26.5	25.2	24.2
負荷率	(%)	一日平均配水量/一日最大配水量×100	91.3	92.9	90.7
職員一人当たり給水量	(m ³ /人)	年間総有収水量/損益勘定所属職員数	541,018	523,556	528,176
1ヶ月当たり家庭用料金(20m ³)【税込額】	(円)	1ヶ月当たりの一般家庭用(口径20mm以下)の基本料金+20m ³ 使用時の従量料金	2,484	2,484	2,484

《下水道事業》

I 事業概要

1 総括

1-1 概況

下水道事業では、生活環境の快適性の確保や河川等の水質保全、浸水被害の解消など市民の安全・安心の確保に向けた施設の整備や適切な維持管理に積極的に取り組んでいます。

公道部分の汚水整備については、平成 26 年度末に概成しました。一方で、局地的な集中豪雨による都市部での浸水被害や地震・津波への対応に加え、下水道施設の老朽化に向けた対策など、市民の安全・安心に関するニーズが高まっています。こうしたニーズに応えるためにも、堺市下水道ビジョン(改訂版 平成 28～令和 2 年度)に基づく着実な事業運営を行ってまいります。

特に、平成 28 年度からは堺市下水道ビジョンの進捗管理を目的とした PDCA サイクルを導入しました。計画に対する事業の進捗状況を評価する計画評価と経営状況を評価する経営評価を通じて、計画と実績の乖離を補正し、ビジョンの目標達成をめざしています。

1-2 建設改良工事の実施状況

下水道に関連する防災対策等を目的として、雨に強いまちの実現をめざした浸水対策事業及び震災に強いまちの実現をめざした下水道施設の耐震化事業などを実施しました。

汚水整備については、今池処理区等で開発工事に伴う整備区域の拡大などにより、30 年度に 13ha の公示を行いました。30 年度末の下水道処理区域内人口は 821,896 人となり、行政区域内人口 836,166 人に対する普及率は 98.3%となりました。

○ 管きよ布設事業

雨水幹線整備等の浸水対策事業、震災に強いまちづくりをめざした管きよの耐震化に向けた調査・診断業務・耐震化工事を実施しました。

○ ポンプ場築造事業

浸水対策事業として古川下水ポンプ場建設工事を、湊石津下水ポンプ場において施設の改築更新工事を実施しました。

○ 処理場築造事業

三宝水再生センター、泉北水再生センター、石津水再生センターにおいて施設の改築更新工事を実施しました。

○ その他

流域下水道や広域汚泥処理事業の建設に伴う建設負担金、隣接市町の下水道建設に伴う建設負担金等を執行しました。

なお、堺市下水道ビジョン(平成 23～令和 2 年度)は、本市における人口減少局面の到来、東日本大震災など大規模災害発生リスクの増大等の、下水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、中間年次である平成 27 年度に見直しを行い、下水道ビジョン(改定版)として取りまとめを行いました。平成 28 年度からは同ビジョンに基づき、事業の軸足を「拡張」から「持続・進化」へ移し、「選択と集中」による事業のさらなる効率化かつ効果的な推進に取り組むとともに、市民や民間企業などの多様な主体との「協働」による一層の成長に取り組んでいます。

2 沿革

2-1 事業の歩み

明治 22 年	市制施行 開口神社に市役所を開庁
明治 35 年	初めて下水道に関する調査を行う
明治 45 年	阪堺電気軌道(阪堺線)浜寺駅前まで全線開通
大正 9 年	泉北郡向井町・湊町を合併
大正 12 年	土地の高低測量を終える
大正 14 年	泉北郡袖松村を合併
大正 15 年	泉北郡三宝村を合併
昭和 13 年	泉北郡神石村を合併
	泉北郡百舌鳥村、五箇荘村、南河内郡金岡村を合併 水路系統、汚水の水質等の調査に着手
昭和 14 年	改良下水道の調査設計完了
昭和 15 年	下水処理の設計調査を行う
昭和 17 年	泉北郡浜寺町、鳳町、踞尾村、深井村、八田荘村、東百舌鳥村を合併
昭和 19 年	南瓦町の現在地に市庁舎が完成する
昭和 20 年	空襲により旧市街の大半が焼失
	戦災復興事業に着手
昭和 22 年	戦災地を主地域とする下水道計画を立てる
昭和 27 年	地方公営企業法が公布される
	旧下水道法による第1期事業認可を受け第一歩を踏み出す(土居川周辺553ha)
昭和 28 年	下水道事業に初めて国庫補助金が交付される
昭和 32 年	南河内郡北八下村を合併
昭和 33 年	南河内郡南八下村を合併
	南河内郡日置荘町を合併
	第1期事業認可変更(南島・堅川・湊石津下水ポンプ場の認可及び陵西・湊石津排水区の追加により1,098ha)
昭和 34 年	泉北郡泉ヶ丘町を合併
	三宝下水処理場築造の認可取得し建設を開始(処理能力26,000m ³ /日)
昭和 35 年	湊石津下水ポンプ場運転開始
	第1期事業認可変更(向ヶ丘地区70.99ha)
	津久野下水処理場築造の認可取得し建設を開始(処理能力1,478m ³ /日) 津久野下水処理場で高速散水ろ床法による運転開始
昭和 36 年	泉北郡福泉町を合併
昭和 37 年	南河内郡登美丘町を合併
	堺市下水道条例制定
	第1回供用開始告示(向ヶ丘地区70.99ha) 下水道使用料の徴収開始
昭和 38 年	泉北ニュータウン建設計画が発表される
	第1次下水道5カ年計画発足 三宝下水処理場で活性汚泥法による運転を開始
昭和 39 年	石津下水処理場築造の認可取得(処理能力32,840m ³ /日)
	堺市環境整備資金貸付基金条例制定(水洗便所貸付金制度)
	南島下水ポンプ場運転開始 狭間都市下水路事業着手
昭和 40 年	第1期事業認可変更(古川・戎橋下水ポンプ場の認可及び陵北・古川、大和川排水区の追加により1,621ha)
	金岡下水ポンプ場運転開始 堺市都市計画下水道事業受益者負担に関する省令の告示
昭和 41 年	石津下水処理場建設を開始
	地方公営企業法の抜本改革(管理者の権限の大幅な付与) 泉北ニュータウンの工事が始まる
昭和 42 年	泉北下水処理場築造の認可取得(処理能力88,530m ³ /日)
	西除下水処理場築造の認可取得
	第2次下水道5カ年計画発足
	戎橋下水ポンプ場運転開始
	泉北ニュータウンの供用開始告示(大阪府による) 堺市の人口が50万人を超える
昭和 43 年	下水道使用料を改定
	堅川下水ポンプ場運転開始 第2期事業認可取得(五箇荘排水区137.9ha)

昭和 44 年	第1期事業認可変更(浜寺・金岡下水ポンプ場の認可及び浜寺・金岡排水区の追加により2,414ha) 泉北下水道処理場で活性汚泥法による運転を開始
昭和 45 年	大和川下流西部流域下水道の都市計画決定(大阪府) 盆田都市下水道事業着手
昭和 46 年	第3次下水道5カ年計画発足 西除下水処理場の運転休止(今池処理場に編入) 西除処理場にてし尿処理運転開始
昭和 47 年	石津下水処理場で活性汚泥法による運転開始
昭和 48 年	下水道使用料を改定
昭和 49 年	南大阪湾岸北部流域下水道の都市計画決定(大阪府) 三宝下水処理場の増設(処理能力110,000m ³ /日) 第1号下水道から三宝処理地区公共下水道と石津処理地区公共下水道を分離 雨水流出量の見直し(実験式から合理式に変更) 陵西・鳳浜寺を分流化の都市計画変更
昭和 50 年	下水道使用料を改定 古川下水ポンプ場運転開始 単独公共下水道事業認可変更(出島下水ポンプ場の認可及び三宝・石津処理区域の拡大2,711ha)
昭和 51 年	第4次下水道5カ年計画発足
昭和 53 年	単独公共下水道事業認可変更(三宝・石津下水処理場汚泥処理施設)
昭和 54 年	堺市の人口80万人を超える 堺市・松原市し尿処理協議会設立 単独公共下水道事業認可変更(津久野下水処理場を活性汚泥法に変更(処理能力6,000m ³ /日)、 津久野処理区域の拡大2,721ha)
昭和 55 年	下水道使用料を改定 大和川下流流域下水道組合設立
昭和 56 年	第5次下水道5カ年計画発足 都市計画変更(第1号下水道を大和川下流西部流域関連公共下水道(今池処理区)と津久野処理区に分割)
昭和 57 年	第2期事業認可を廃止 大和川下流西部流域関連公共下水道今池処理区認可取得(760ha) 津久野下水処理場で活性汚泥法による運転開始(処理能力6,000m ³ /日) 台風10号及び集中豪雨による災害(床上浸水1,579戸、床下浸水6,300戸)
昭和 59 年	単独公共下水道事業認可変更(津久野処理区域の拡大110ha) 出島下水ポンプ場遠隔制御運転開始
昭和 60 年	下水道使用料を改定 単独公共下水道事業認可変更(泉北処理区域の拡大4,377ha) 泉北ニュータウンの下水道施設を大阪府企業局より引き継ぐ 大和川下流西部流域下水道今池処理場第1期施設供用開始(処理能力40,000m ³ /日)(大阪府) 南向陽調整池工事着手(9,900m ³)
昭和 61 年	第6次下水道5カ年計画発足 南大阪湾岸北部流域下水道組合設立
昭和 62 年	大阪南下水汚泥広域処理事業(エースプラン)の都市計画決定 南大阪湾岸流域下水道北部処理場第1期施設供用開始 (処理能力22,500m ³ /日)(大阪府)
昭和 63 年	大阪南下水汚泥広域処理事業の事業認可取得(三宝・石津・泉北下水処理場) 浜寺下水ポンプ場第1期施設運転開始 雨水調整池の都市計画決定(全処理区人口フレーム、汚水量原単位等の見直し)
平成 元 年	下水道使用料を改定 流域関連公共下水道事業認可変更(全処理区人口フレーム、汚水量原単位等の見直し) 単独公共下水道事業認可変更(和泉市との市域境界の変更、全処理区人口フレーム、 汚水量原単位等の見直し、石津・泉北処理区の拡大により5,373ha) 南大阪湾岸北部流域関連公共下水道(北部処理区)の都市計画決定(90ha)
平成 2 年	南向陽調整池供用開始(9,900m ³) 三宝下水処理場拡張工事着手(処理能力43,150m ³ /日) 大阪南エースセンター供用開始
平成 3 年	流域関連公共下水道事業認可変更(今池処理区域の拡大978ha、北部処理区域の新規認可30ha) 第7次下水道整備5カ年計画発足
平成 4 年	泉北下水処理場から生汚泥をエースセンターへ圧送開始
平成 5 年	単独公共下水道事業認可変更(エースプランに伴う汚泥処理施設の変更) 石津下水処理場から生汚泥をエースセンターへ圧送開始 流域関連公共下水道事業認可変更(今池・北部処理区域の拡大1,442ha) 芦ヶ池調整池供用開始(5,000m ³)

平成 6 年	下水道使用料を改定 三宝下水処理場から生汚泥をエースセンターへ圧送開始
平成 7 年	阪神・淡路大震災が起きる 震災に伴う西宮市への復旧作業支援を行う 単独公共下水道事業認可変更(泉北下水処理場拡張(処理能力145,900m ³ /日)及び一部高度処理(74,400m ³ /日、嫌気-無酸素-好気法+砂ろ過)の導入、石津・泉北処理区域の拡大により6,239ha) 阪神高速大和川線に伴う三宝下水処理場の都市計画変更
平成 8 年	第8次下水道整備5カ年計画発足 単独公共下水道事業認可変更(市街化区域全域認可取得 石津処理区域の拡大2,250ha)
平成 9 年	下水道会計を特別会計から企業会計へ移行 三宝下水処理場拡張工事竣工(処理能力43,150m ³ /日)
平成 10 年	雨水ポンプ駆動用立型ガスタービン認可取得 流域関連公共下水道(今池処理区)の市街化区域全域認可取得 三宝・石津・泉北各下水処理場の汚泥処理施設の変更
平成 12 年	新池(長曾根)調整池供用開始(2,200m ³) 下水道使用料を改定 津久野下水処理場の運転休止 都市計画決定。市街化調整区域の排水区域拡大。 流域関連公共下水道事業認可変更(北部処理区の市街化区域全域拡大) 単独公共下水道事業認可変更(市街化調整区域の拡大 三宝1,564ha、石津2,528ha、泉北3,300ha、今池1,883ha、北部71ha 計9,346ha)
平成 13 年	泉北下水処理場高度処理施設(嫌気-無酸素-好気法)完成(処理能力18,600m ³ /日)
平成 15 年	下水道使用料を改定 浜寺下水ポンプ場第一期増設(10m ³ /秒)
平成 16 年	下水汚泥広域処理事業(エースプラン)から南大阪湾岸流域下水汚泥処理事業へ移行 水道局と建設局下水道部が統合され上下水道局となる
平成 17 年	都市計画決定(堺2区、出島漁港、石津漁港、市街化調整区域の一部を排水区域に追加、石津処理区の一部を泉北処理区に変更、石津下水処理場の計画敷地を縮小、出島調整池の廃止、加古里池調整池の追加) 南河内郡美原町と合併 流域関連公共下水道事業認可変更(今池処理区2,634ha、北部処理区72ha) 流域関連公共下水道都市計画法事業認可(加古里池調整地の追加) 都市計画決定(今池処理区2,875ha)
平成 18 年	下水道使用料を改定 石津コンポストの試運転開始 単独公共下水道事業認可変更(堺2区、出島漁港、石津漁港、市街化調整区域の一部の区域拡大、石津処理区の一部を泉北処理区に変更、出島バイパス線、ネットワーク管の決定、三宝処理場、石津処理場の処理能力の変更) 都市計画法事業認可変更(三宝処理区1,716ha、石津処理区1,756ha、泉北処理区4,170ha) 都市計画決定(今池処理区2,877ha) 浜寺下水ポンプ場第二期増設(6m ³ /秒)完成(排水能力34m ³ /秒)
平成 19 年	単独公共下水道事業認可変更(三宝下水処理場の処理方式を標準活性汚泥法からステップ流入式多段硝化脱窒法及び急速ろ過法へ変更、三宝下水処理場の処理能力を43,150(m ³ /日)から40,200(m ³ /日)へ変更) 単独公共下水道事業認可変更(三宝下水処理場の水処理施設の移転、南島下水ポンプ場の廃止、大和川ポンプ場の能力増強、松屋線の新規認可取得、三宝下水処理場(新2系)の処理方式を標準活性汚泥法からステップ流入式多段硝化脱窒法(凝集剤添加)及び急速ろ過法へ変更)
平成 20 年	都市計画決定(今池処理区3,457ha、木材団地中継ポンプ場の廃止) 流域関連公共下水道(北部処理区)事業認可変更(認可区域拡大83ha) 流域関連公共下水道(今池処理区)事業認可変更(認可区域拡大2,876ha、木材団地幹線ルートの変更) 単独公共下水道事業認可変更(三宝処理区 堺浜地区認可区域拡大1,906ha、再生水送水に伴う施設・吐口の追加、三宝下水処理場施設の見直し) 窪田池調整池供用開始(16,500m ³)
平成 21 年	単独公共下水道事業認可変更(三宝処理区認可区域拡大1,906ha) 流域関連公共下水道(北部処理区)都市計画法事業認可変更(認可区域拡大83ha) 流域関連公共下水道(今池処理区)都市計画法事業認可変更(認可区域拡大2,876ha) 泉北下水処理場高度処理施設(嫌気-無酸素-好気法)増設(処理能力37,200m ³ /日) 三宝下水処理場高度処理改造(ステップ流入式多段硝化脱窒法及び急速ろ過法(凝集剤添加)完成(処理能力20,100m ³ /日) 堺浜再生水送水事業開始
平成 22 年	三宝下水処理場高度処理改造(ステップ流入式多段硝化脱窒法及び急速ろ過法(凝集剤添加)完成(処理能力40,200m ³ /日) 単独公共下水道事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,242ha、三宝処理区 雨水幹線・吐口の追加、合流改善計画見直しに伴う三宝・古川・石津雨水滞水池の追加)

平成 23 年	東日本大震災が起きる
	震災に伴う仙台市への復旧作業支援を行う
	流域関連公共下水道(今池処理区)事業認可変更(認可区域拡大3,039ha、西除川左岸雨水B排水区の排水計画区域の変更、主要な管渠(汚水・雨水)の変更)
	流域関連公共下水道(今池処理区)都市計画法事業認可変更(認可区域拡大3,039ha)
	単独公共下水道都市計画法事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,242ha、計画期間の延伸) 三宝下水処理場 旧1系にて膜分離活性汚泥法による処理を開始(処理能力 60,000m ³ /日) →平成26年3月5日まで稼働後、膜施設の一部は泉北下水処理場へ移設
平成 24 年	流域関連公共下水道(北部処理区)事業認可変更(工事完成の予定年月日の変更)
	流域関連公共下水道(北部処理区)都市計画法事業認可変更(工事完成の予定年月日の変更)
	単独公共下水道事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,252ha、石津処理区汚泥処理計画の変更、石津処理区合流改善計画に伴う下水処理場施設計画の変更、石津下水処理場の第2施設の送風量の変更) 単独公共下水道都市計画法事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,252ha)
平成 25 年	南島下水ポンプ場の廃止(H25.3.31)
	大和川ポンプ場供用開始 単独公共下水道事業計画変更(泉北下水処理場の処理方式を一部、標準活性汚泥法から循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法へ変更)
平成 26 年	単独公共下水道事業計画変更(泉北処理区事業計画区域拡大4,262ha、三宝下水処理場における敷地面積及び下水道防災センターの追加)
	単独公共下水道都市計画法事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,262ha、三宝下水処理場における敷地面積拡大)
	新池(菩提)調整池供用開始(15,100m ²)
平成 27 年	流域関連公共下水道(北部処理区)事業計画変更(計画期間の延伸)
	流域関連公共下水道(今池処理区)事業計画変更(今池処理区事業計画区域拡大3,051ha、計画期間の延伸)
	流域関連公共下水道(北部処理区)都市計画法事業認可変更(計画期間の延伸)
	流域関連公共下水道(今池処理区)都市計画法事業認可変更(今池処理区認可区域拡大3,051ha、計画期間の延伸)
	単独公共下水道事業計画変更(泉北処理区事業計画区域拡大4.8ha、古川下水ポンプ場及び戎橋下水ポンプ場における主要な施設の変更、石津下水処理場における汚泥処理計画の変更、計画期間の延伸) 単独公共下水道都市計画法事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,267ha、計画期間の延伸)
平成 28 年	金岡下水ポンプ場の廃止(H28.3.31)
	震災に伴う熊本市への復旧作業支援を行う
	都市計画決定(金岡下水ポンプ場の廃止、津久野下水ポンプ場の区域縮小(約19,600m ²)) 下水再生水複合利用事業開始
	泉北下水処理場1系にて膜分離活性汚泥法(MBR)による処理を開始(処理能力 20,000m ³ /日) 膜については、平成26年まで三宝下水処理場で使用していたものを再利用
平成 29 年	単独公共下水道事業計画変更(泉北処理区事業計画区域拡大4,279ha、大阪湾流域別下水道整備総合計画への適合、金岡下水ポンプ場の廃止及び津久野下水ポンプ場の面積縮小、下水道法改正に伴う点検方法及び頻度の記載)
	単独公共下水道都市計画法事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,279ha)
	流域関連公共下水道(今池処理区)事業計画変更(事業計画区域拡大3,062ha、下水道法改正に伴う点検方法及び頻度の記載)
	流域関連公共下水道(今池処理区)都市計画法事業認可変更(今池処理区認可区域拡大3,062ha)
	流域関連公共下水道(北部処理区)事業計画変更(下水道法改正に伴う点検方法及び頻度の記載)
	市内3箇所(下)の下水処理場の名称を「水再生センター」へ変更 下水道使用料を改定
平成 30 年	今池水みらいセンターで堺市公共下水道管破損事故が発生。常磐町3丁目(下)で下水が溢水。約28,000戸へ下水道使用自粛を依頼。 単独公共下水道事業計画変更(泉北処理区事業計画区域拡大4,281ha、石津下水処理場及び泉北下水処理場における主要な施設の変更、計画期間の延伸)
	単独公共下水道都市計画法事業認可変更(泉北処理区認可区域拡大4,281ha、計画期間の延伸)
	流域関連公共下水道(今池処理区)事業計画変更(事業計画区域拡大3,065ha、雨水管渠計画の変更、計画期間の延伸)
	流域関連公共下水道(今池処理区)都市計画法事業認可変更(認可区域拡大3,065ha、計画期間の延伸)
	流域関連公共下水道(北部処理区)事業計画変更(計画期間の延伸)
	流域関連公共下水道(北部処理区)都市計画法事業認可変更(計画期間の延伸)

2-2 事業の変遷

区分	変更年月日	市域面積 (ha)	総人口 (人)	事業の概要			
				計画面積 (ha)	計画人口 (人)	事業費 (百万円)	
公共 下水道	当 初	昭和 27. 8. 6	5,248	229,290	553	97,240	500
	1 次変更	33. 2. 5	5,642	272,751	1,098	219,720	2,270
	2 "	34. 3. 13	6,178	292,944	1,098	219,720	2,305
	3 "	35. 10. 11	9,761	339,863	1,169	232,520	2,369
	4 "	40. 3. 1	12,815	439,612	1,621	301,930	7,642
	5 "	44. 2. 14	13,137	545,059	2,414	421,053	21,500
	6 "	50. 3. 5	13,290	726,088	2,711	365,800	108,800
	7 "	53. 3. 8	13,293	778,309	2,711	365,800	148,000
	8 "	54. 8. 7	13,328	793,482	2,721	365,800	152,300
	9 "	59. 2. 9	13,414	810,482	2,750	368,500	153,810
	10 "	60. 3. 22	13,414	810,104	4,377	548,500	176,414
	11 "	61. 1. 23	13,414	809,734	4,377	548,500	176,414
	12 "	63. 2. 23	13,414	807,680	4,377	548,500	165,983
	13 "	平成 元. 5. 11	13,677	806,212	5,373	587,000	283,877
	14 "	元. 7. 4	13,677	806,212	5,373	587,000	283,877
	15 "	4. 6. 5	13,677	800,596	5,373	587,000	298,785
	16 "	5. 3. 17	13,677	800,596	5,373	587,000	298,785
	17 "	7. 6. 5	13,678	794,379	6,239	678,500	392,715
	18 "	8. 4. 24	13,679	793,711	6,244	687,900	413,309
	19 "	10. 6. 13	13,679	798,796	6,244	687,900	415,204
	20 "	10. 12. 24	13,679	798,796	6,244	687,900	420,670
	21 "	12. 4. 10	13,679	798,796	6,244	687,900	428,049
	22 "	12. 12. 1	13,679	798,383	7,392	728,400	469,854
	23 "	18. 3. 30	14,999	841,446	7,642	638,900	528,519
	24 "	19. 1. 17	14,999	844,061	7,642	638,900	532,819
	25 "	19. 12. 21	14,999	846,042	7,642	638,900	593,219
	26 "	20. 5. 27	14,999	847,775	7,832	638,900	599,882
	27 "	22. 4. 6	14,999	849,940	7,904	639,500	614,245
	28 "	24. 3. 15	14,999	850,737	7,914	639,500	584,138
	29 "	25. 11. 26	14,999	848,154	7,914	639,500	577,771
	30 "	26. 2. 26	14,999	848,154	7,924	639,500	585,592
	31 "	27. 6. 12	14,982	844,899	7,928	639,800	616,797
	32 "	29. 3. 30	14,982	842,545	7,940	571,750	612,306
33 "	30. 3. 29	14,982	838,936	7,943	570,570	620,196	
流域 関連 公共 下水道	当 初	昭和 42. 3. 27	13,029	486,030	-	-	2,900
	1 次変更	43. 9. 19	13,029	541,405	138	37,500	1,175
	2 "	57. 2. 5	13,414	805,452	760	86,200	26,000
	3 "	63. 2. 12	13,414	807,680	760	86,200	26,000
	4 "	平成 元. 3. 6	13,677	806,212	760	71,800	34,721
	5 "	3. 3. 28	13,677	800,331	1,008	99,800	41,905
	6 "	5. 3. 31	13,677	799,479	1,442	156,200	68,207
	7 "	10. 9. 14	13,679	798,796	1,664	177,900	78,602
	8 "	12. 10. 6	13,679	798,383	1,954	199,530	93,675
	9 "	17. 3. 31	14,999	840,647	2,706	237,515	140,281
	10 "	(北部) 20. 3. 18	14,999	846,042	2,717	237,594	140,340
		(今池) 20. 3. 28	14,999	846,042	2,959	238,810	145,726
	11 "	(今池) 23. 2. 18	14,999	849,940	3,122	239,450	147,151
	12 "	(北部) 24. 2. 1	14,999	850,737	3,122	239,450	147,153
	13 "	27. 3. 20	14,981	846,778	3,134	219,726	151,618
14 "	(北部) 29. 7. 25	14,982	841,920	3,145	220,727	153,963	
	(今池) 29. 7. 25						
15 "	(北部) 30. 10. 23	14,982	838,166	3,148	198,790	156,344	
	(今池) 30. 10. 23						

2-3 計画概要

○公共下水道事業

		事業計画			都市計画決定		
		処理区域面積 (ha)	計画人口 (人)	排水区名	処理区域面積 (ha)	計画人口 (人)	排水区名
単 独 公 共 下 水 道	三宝処理区 (合流式一部分流式)	1,906	151,700	臨海、大和川 古川、陵西、陵北 土居川、金岡	1,924	175,500	臨海、大和川 古川、陵西、陵北 土居川、金岡
	石津処理区 (分流式一部合流式)	1,756	170,800	湊石津、鳳 浜寺、上野芝 家原、百舌鳥	1,756	163,600	湊石津、鳳 浜寺、上野芝 家原、百舌鳥
	泉北処理区 (分流式)	4,281	248,070	和田川、石津川 陶器川、百舌鳥 深井	5,454	314,900	和田川、石津川 陶器川、百舌鳥 深井
流 域 関 連 公 共 下 水 道	今池処理区 (分流式) 大和川下流西部	3,065	193,971	(処理分区名) 今井戸東除川 堺狭山 西除川左岸 西除川右岸	3,457	236,000	(処理分区名) 今井戸東除川 堺狭山 西除川左岸 西除川右岸
	北部 (分流式) 南大阪湾岸北部	83	4,683	(処理分区名) —	99	5,100	(処理分区名) —
計		11,091	769,224		12,690	895,100	

○流域下水道事業

名 称	全体計画 処理区域面積 (ha)	全体計画 処理人口 (人)	関係市町村
大和川下流西部 流域下水道	6,251	381,300	大阪市、堺市、富田林市、松原市 羽曳野市、八尾市、藤井寺市、大阪狭山市
大和川下流東部 流域下水道	6,816	237,500	富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市 八尾市、堺市、河南町、太子町、千早赤阪村
大和川下流南部 流域下水道	5,139	211,200	富田林市、河内長野市、大阪狭山市
計	18,206	830,000	
南大阪湾岸北部 流域下水道	12,625	542,400	堺市、泉大津市、和泉市、高石市 岸和田市、貝塚市、忠岡町
南大阪湾岸中部 流域下水道	6,744	247,200	岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市 熊取町、田尻町
南大阪湾岸南部 流域下水道	4,292	137,600	泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町
計	23,661	927,200	

○流域下水汚泥処理事業

名 称	全体計画生汚泥量 (汚泥濃度1%換算)	処分方法	要請地方公共団体
南大阪湾岸流域下水道 北部水みらいセンター	14,658 m ³ /日	焼却埋立 (一部溶融スラグ化)	大阪府、堺市、岸和田市

3 施設

3-1 施設一覧

○ 水再生センター

名称	所在地	敷地面積 (m ²)	供用開始	処理能力 (m ³ /日)	処理方式
①	三宝 堺区松屋大和川通4丁147-1	133,370	S38.8	120,200	ステップ流入式多段硝化脱窒法及び急速ろ過法 (凝集剤添加)
②	石津 西区石津西町22	52,380	S47.2	76,400	標準活性汚泥法
③	泉北 中区八田西町1丁2-1	168,000	S44.3	50,100	標準活性汚泥法
				20,000	循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法(凝集剤添加)
				37,200	嫌気無酸素好気法(凝集剤添加)

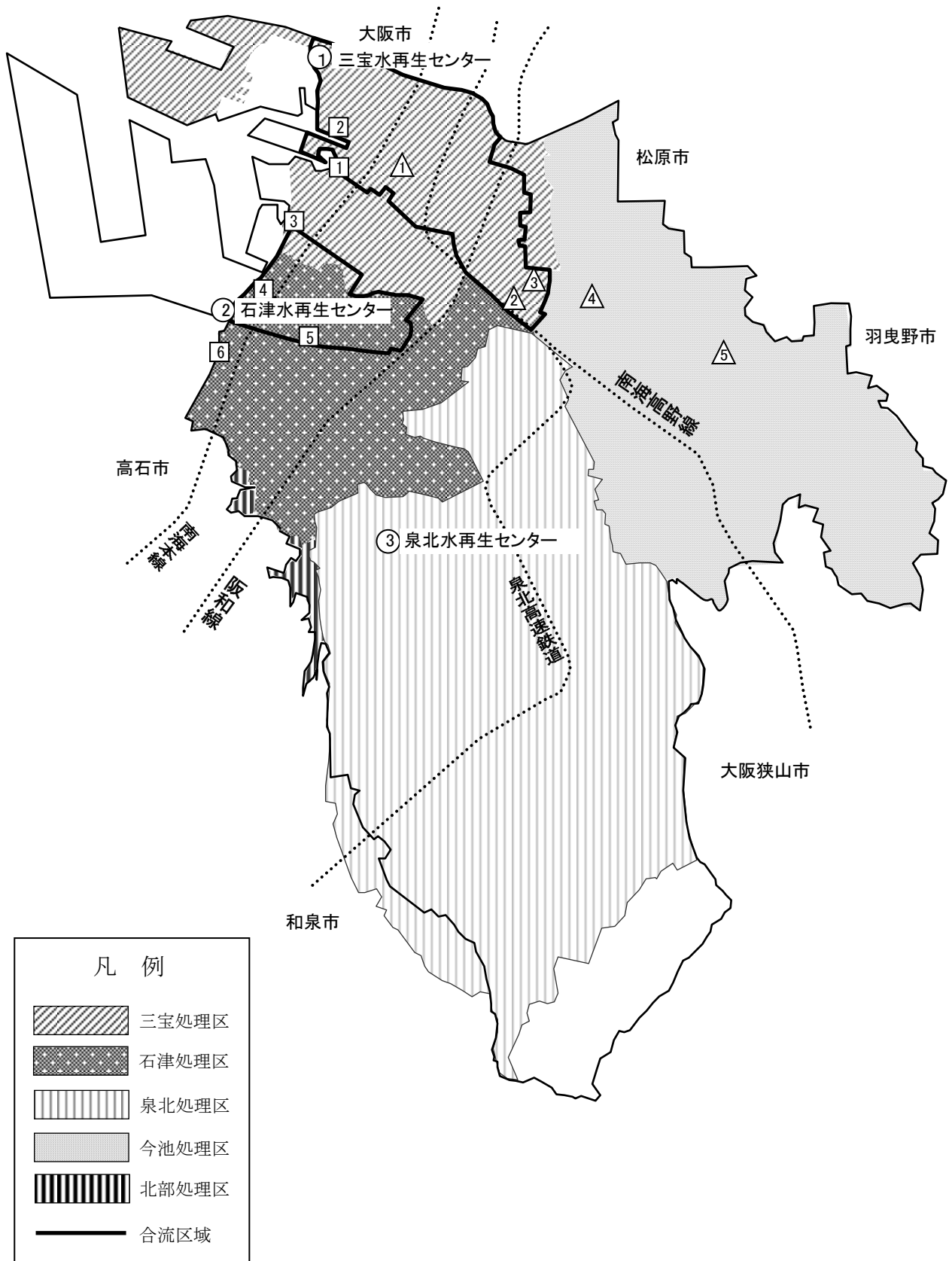
○ 下水ポンプ場

名称	所在地	敷地面積 (m ²)	供用開始	排水区分	晴天時最大揚水量 (m ³ /分)	雨天時最大揚水量 (m ³ /分)
①	堅川 堺区戎島町5丁8	1,730	S43.7	古川	66	836
②	古川 堺区神南辺町5丁140	11,380	S50.6	古川・陵西	198	498
③	出島 堺区出島浜通1-1	7,000	S59.4	陵西	75	-
④	湊石津 西区浜寺石津町西2丁9-13	3,000	S35.10	湊石津	-	777
⑤	戎橋 堺区石津町4丁7-25	580	S42.7	湊石津	11	114
⑥	浜寺 西区浜寺諏訪森町西3丁303-1	7,220	S63.4	鳳浜寺	-	2,050

○ 雨水調整池

名称	所在地	供用開始	貯留能力 (m ³)
①	南向陽 堺区材木町東4丁他	平成 2年3月	15,000
②	芦ヶ池 堺区向陵東町3丁	平成 5年3月	5,000
③	新池(長曾根) 北区長曾根町	平成12年3月	2,200
④	窪田池 北区金岡町	平成20年5月	16,500
⑤	新池(菩提) 東区菩提町5丁	平成26年8月	15,100

○ 下水道施設位置と全体計画区域図



○ 水再生センター設備一覧

名称	主要施設	構造・仕様	現況能力	個数	
三宝水再生センター	高段ポンプ場	雨水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷1,800 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$ (汚水) 3,600 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$ (雨水)	6池
		汚水ポンプ	立軸斜流ポンプ	$\phi 500 \times 30\text{m}^3/\text{分}$	2台
				$\phi 700 \times 55\text{m}^3/\text{分}$	2台
				$\phi 800 \times 80\text{m}^3/\text{分}$	1台
		雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ	$\phi 1000 \times 125\text{m}^3/\text{分}$	2台
	$\phi 1000 \times 150\text{m}^3/\text{分}$			1台	
	大和川ポンプ場	汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 1,800 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	3池
		汚水ポンプ	立軸斜流ポンプ	$\phi 600 \times 39\text{m}^3/\text{分}$	2台
				$\phi 800 \times 78\text{m}^3/\text{分}$	3台
		雨水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷3,600 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	5池
	雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ	$\phi 1650 \times 472\text{m}^3/\text{分}$	5台	
	新第一施設系	最初沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 50 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	8池
		反応タンク	鉄筋コンクリート造	反応時間 6時間以上	8池
		送風機設備	単段ブロワ	$\phi 250/200 \times 70\text{m}^3/\text{分}$	2台
				$\phi 350/300 \times 140\text{m}^3/\text{分}$	1台
		最終沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 25 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	8池
		急速ろ過池	鉄筋コンクリート造		4池
		塩素混和池	鉄筋コンクリート造	接触時間 15分	1式
	放流渠	鉄筋コンクリート造		1式	
	新第二施設系	最初沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 70 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	8池
		反応タンク	鉄筋コンクリート造	反応時間 6時間以上	8池
送風機設備		多段ターボブロワ	$\phi 400/350 \times 177\text{m}^3/\text{分}$	4台	
最終沈殿池		鉄筋コンクリート造	水面積負荷 25 $\text{m}^3/\text{m}^2\cdot\text{日}$	8池	
急速ろ過池		鉄筋コンクリート造		8池	
塩素混和池		鉄筋コンクリート造	接触時間 15分	1池	
放流渠		鉄筋コンクリート造		1式	
放流渠	処理水送水管		$\phi 150 \sim 600 \times 11,100\text{m}$	1式	
再生水施設	送水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ	$\phi 350 \times 14.6\text{m}^3/\text{分}$	3台	
	オゾン処理施設		計画処理水量0.347 $\text{m}^3/\text{分}$	2棟	
	親水施設	給水ユニット	計画処理水量1.05 $\text{m}^3/\text{分}$	1基	

名称	主要施設	構造・仕様	現況能力	個数		
石津水再生センター	ポンプ第一場	汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造 水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日	6池		
		主ポンプ	立軸斜流ポンプ	φ400×21m ³ /分	1台	
				φ700×90m ³ /分	2台	
				φ600×47m ³ /分	2台	
	第一水処理系	最初沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 35m ³ /m ² ・日	3池	
		反応タンク	鉄筋コンクリート造	反応時間 6~8時間	3池	
		送風機設備	多段ターボブロワ	φ300/250×115m ³ /分	3台	
		最終沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 35m ³ /m ² ・日	3池	
		塩素混和池	鉄筋コンクリート造	接触時間15分	1池	
	第二水処理系	最初沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 35m ³ /m ² ・日	8池	
		反応タンク	鉄筋コンクリート造	反応時間 6~8時間	2池	
		送風機設備	単段ブロワ	φ350×122m ³ /分	3台	
		最終沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 25m ³ /m ² ・日	8池	
		塩素混和池	鉄筋コンクリート造	接触時間15分	1池	
	理汚施泥設処	発酵槽	鉄筋コンクリート造	240m ³ /槽	20槽	
	泉北水再生センター	第一水処理系	汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造 水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日	2池	
			主ポンプ	横軸斜流渦巻ポンプ	φ350×18m ³ /分	2台
					φ500×40m ³ /分	3台
			最初沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 35m ³ /m ² ・日	6池
調整池			鉄筋コンクリート造	容量3150m ³ /池	4池	
反応タンク			鉄筋コンクリート造	反応時間 6時間以上	6池	
送風機設備			多段ターボブロワ	φ200×50m ³ /分	2台	
				φ300/350×160m ³ /分	2台	
				φ400/450×280m ³ /分	2台	
最終沈殿池		鉄筋コンクリート造	水面積負荷 25m ³ /m ² ・日	12池		
塩素混和池		鉄筋コンクリート造	接触時間15分	1池		
第二水処理系		汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造 水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日	2池		
		主ポンプ	立軸斜流渦巻ポンプ	φ300×10.2m ³ /分	3台	
				φ500×34.0m ³ /分	1台	
		最初沈殿池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 50m ³ /m ² ・日	4池	
	反応タンク	鉄筋コンクリート造	反応時間 6時間以上	4池		
	送風機設備	歯車増速式単段ブロワ	φ400/350×154m ³ /分	2台		
最終沈殿池	鉄筋コンクリート造	2階槽式 水面積負荷 15m ³ /m ² ・日	4池			
塩素混和池	鉄筋コンクリート造	接触時間15分	1池			

○ 下水ポンプ場設備一覧

名称	主要施設	構造・仕様	現況能力	個数
堅川	汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日 水面積負荷 4,500m ³ /m ² ・日	2池 2池
	ポンプ棟	鉄筋コンクリート造		1棟
	汚水ポンプ	横軸斜流ポンプ	φ400mm×21m ³ /分	2台
		立軸斜流ポンプ	φ300mm×12m ³ /分	2台
	雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ	φ1200mm×210m ³ /分 φ1000mm×140m ³ /分	1台 4台
古川 (第1施設)	汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日	2池
	雨水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 4,500m ³ /m ² ・日	2池
	ポンプ棟	鉄筋コンクリート造		1棟
	汚水ポンプ	立軸斜流ポンプ	φ500mm×30m ³ /分	2台
			φ800mm×69m ³ /分	2台
雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ	φ700mm×50m ³ /分 φ1000mm×125m ³ /分	1台 2台	
出島	汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日	2池
	ポンプ棟	鉄筋コンクリート造		1棟
	汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	φ500mm×25m ³ /分	3台
浜寺	雨水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 4,500m ³ /m ² ・日	6池
	ポンプ棟	鉄筋コンクリート造		1棟
	雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ	φ500mm×30m ³ /分	1台
			φ1200mm×190m ³ /分	2台
φ1800mm×410m ³ /分			4台	
湊石津	雨水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 4,500m ³ /m ² ・日	4池
	ポンプ棟	鉄筋コンクリート造		1棟
	雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ	φ700mm×70m ³ /分	3台
			φ1000mm×156m ³ /分	2台
			φ1000mm×115m ³ /分	1台
φ1000mm×140m ³ /分			1台	
戎橋	汚水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 1,800m ³ /m ² ・日	1池
	雨水沈砂池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 4,500m ³ /m ² ・日	2池
	ポンプ棟	鉄筋コンクリート造		1棟
	汚水ポンプ	水中ポンプ	φ200mm×3.6m ³ /分	3台
	雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ	φ500mm×34m ³ /分 φ700mm×69m ³ /分	1台 1台

3-2 下水管きょ延長

処理区		管種	平成30年度	平成29年度	平成28年度
単独公共下水道	三 宝	全 体 (m)	472,215.83	469,175.06	468,751.14
		合流管 (m)	255,729.41	256,401.52	255,812.95
		污水管 (m)	129,959.68	126,246.80	126,391.45
		雨水管 (m)	86,526.74	86,526.74	86,546.74
	石 津	全 体 (m)	828,285.64	827,084.09	825,706.36
		合流管 (m)	84,785.51	84,785.51	84,749.96
		污水管 (m)	506,806.95	506,153.81	505,690.66
		雨水管 (m)	236,693.18	236,144.77	235,265.74
	泉 北	全 体 (m)	991,973.29	990,261.77	985,255.28
		合流管 (m)	0.00	0.00	0.00
		污水管 (m)	541,631.94	540,814.83	537,909.21
		雨水管 (m)	450,341.35	449,446.94	447,346.07
	計	全 体 (m)	2,292,474.76	2,286,520.92	2,279,712.78
		合流管 (m)	340,514.92	341,187.03	340,562.91
		污水管 (m)	1,178,398.57	1,173,215.44	1,169,991.32
		雨水管 (m)	773,561.27	772,118.45	769,158.55
流域関連 公共下水道	今 池	全 体 (m)	786,012.29	784,223.95	782,753.28
		合流管 (m)	0.00	0.00	0.00
		污水管 (m)	534,215.05	533,327.40	532,302.17
		雨水管 (m)	251,797.24	250,896.55	250,451.11
	北 部	全 体 (m)	18,698.19	18,698.19	18,636.17
		合流管 (m)	0.00	0.00	0.00
		污水管 (m)	12,745.17	12,745.17	12,715.02
		雨水管 (m)	5,953.02	5,953.02	5,921.15
計	全 体 (m)	804,710.48	802,922.14	801,389.45	
	合流管 (m)	0.00	0.00	0.00	
	污水管 (m)	546,960.22	546,072.57	545,017.19	
	雨水管 (m)	257,750.26	256,849.57	256,372.26	
合 計	全 体 (m)	3,097,185.24	3,089,443.06	3,081,102.23	
	合流管 (m)	340,514.92	341,187.03	340,562.91	
	污水管 (m)	1,725,358.79	1,719,288.01	1,715,008.51	
	雨水管 (m)	1,031,311.53	1,028,968.02	1,025,530.81	

4 工事

4-1 管きよ布設事業

(税込)

工 事 名	施 工 内 容	執行額 (円)	備 考
平成29年度堺市公共下水道根幹的施設復旧工事 その2	管渠施設 一式	428,540,000	竣工
出島線下水管布設工事 (29-1)	φ 700 ~ 3000 mm L = 324.00 m	413,692,267	未竣工
平成30年度堺市公共下水道出島バイパス線内挿 管建設工事	管渠施設 一式	235,000,000	未竣工
高須町外下水管耐震化工事 (29-1)	□ 3300 × 2640 mm L = 178.94 m	233,394,480	竣工
菅池幹線下水管布設工事 (29-1)	φ 200 ~ 2400 mm L = 1499.36 m	121,516,213	未竣工
七道西町外下水管耐震化工事 (29-1)	□ 3600 × 2880 mm L = 72.70 m	115,903,440	竣工
浅香山町外下水管布設工事 (29-1)	φ 200 ~ 900 mm L = 271.05 m	87,118,209	未竣工
(仮称)堺市総合防災センター敷地造成外工事に 伴う下水管布設工事	φ 1100 mm L = 131.00 m	73,428,000	未竣工
平成29年度堺市公共下水道百舌鳥深井汚水線建 設工事	人孔施設 一式	56,000,000	竣工
真福寺ほかマンホールポンプ設備更新工事	マンホールポンプ機械設備更新工事 一式 マンホールポンプ電気設備更新工事 一式	53,298,000	竣工
平成30年度堺市公共下水道出島バイパス線建設 工事	人孔施設 一式	49,280,000	竣工
百舌鳥本町2丁ほかマンホールポンプ設備更新工 事	マンホールポンプ機械設備更新工事 一式 マンホールポンプ電気設備更新工事 一式	21,350,000	未竣工
泉北処理区外下水管布設工事	φ 75 ~ 1500 mm L = 5508.54 m	515,604,675	9件
設計・調査業務		202,407,597	29件
道路舗装復旧工事		16,719,534	8件
地下埋設物等支障物件移設負担金		64,949,311	22件
用地補償費		9,989,872	8件
工事監理業務		54,993,600	3件
その他工事		89,977,730	107件
合 計		2,843,162,928	

4-2 ポンプ場築造事業

(税込)

工 事 名	施 行 内 容	執行額 (円)	備 考
平成29年度堺市公共下水道古川下水ポンプ場建 設工事	管理施設 一式 沈砂池施設 一式 雨水ポンプ施設 一式 汚水ポンプ施設 一式	2,191,262,800	未竣工
平成26年度堺市公共下水道古川下水ポンプ場建 設工事	管理施設 一式 沈砂池施設 一式 雨水ポンプ施設 一式 汚水ポンプ施設 一式	500,000,000	竣工
湊石津下水ポンプ場7号雨水ポンプ用原動機ほか 更新工事	雨水ポンプ用原動機更新工事 一式	315,135,360	竣工
設計・調査業務		34,479,600	3件
その他工事		1,868,400	1件
合 計		3,042,746,160	

4-3 処理場築造事業

(税込)

工 事 名	施 工 内 容	執行額 (円)	備考
泉北水再生センター1系最終沈殿池設備更新工事	最終沈殿池設備更新工事 一式 電気設備工事 一式	503,180,000	未竣工
泉北水再生センター1系最初沈殿池設備更新工事	最初沈殿池設備更新工事 一式 電気設備工事 一式	409,439,720	竣工
平成29年度堺市公共下水道三宝水再生センター建設工事	場内整備 一式	243,290,000	未竣工
泉北水再生センター1系反応槽設備更新工事	反応槽設備更新工事 一式	202,506,640	竣工
三宝水再生センター直流電源設備更新工事	直流電源設備更新工事 一式	192,456,000	竣工
三宝水再生センター1系最初沈殿池防食ほか工事 (平成30年度)	劣化部除去工 一式 断面修復工 一式 防食被覆工 一式 附帯工 一式	85,404,016	未竣工
平成30年度堺市公共下水道三宝水再生センター建設工事	管理施設 一式	65,560,000	未竣工
泉北水再生センター1系機械棟耐震補強工事	建築改修工事 一式 建築機械設備工事 一式 建築電気設備工事 一式 機械設備移設復旧工事 一式 電気設備移設復旧工事 一式	47,957,400	竣工
三宝水再生センター総合管理棟屋上防水工事	屋上防水工事 一式	31,712,040	竣工
三宝水再生センター1系最初沈殿池防食外工事 (平成29年度)	劣化部除去工 一式 断面修復工 一式 防食被覆工 一式 附帯工 一式	30,535,640	竣工
泉北水再生センターほか自動採水器設置工事	自動採水器設置工事 一式 自動採水器電気工事 一式	19,487,520	竣工
設計・調査業務		100,090,240	9件
工事監理業務		3,078,000	1件
その他工事		13,584,408	6件
合 計		1,948,281,624	

II 業務統計

1 普及状況

1-1 業務量の概要

(金額は税抜)

	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	業務量	対前年度 伸率(%)	業務量	対前年度 伸率(%)	業務量	対前年度 伸率(%)
全体計画人口 (人)	799,953	0.0	799,953	0.1	799,100	△ 7.3
行政区域内人口 (人)	836,166	△ 0.3	838,936	△ 0.4	842,545	△ 0.3
処理区域内人口 (人)	821,896	△ 0.1	822,815	△ 0.3	825,575	△ 0.3
水洗化人口 (人)	781,774	0.4	778,641	△ 0.0	778,776	0.1
普及率 (%)	98.3	0.2ポイント	98.1	0.1ポイント	98.0	0.0ポイント
水洗化率 (%)	95.1	0.5ポイント	94.6	0.3ポイント	94.3	0.3ポイント
下水管延長(全体) (km)	3,097	0.3	3,089	0.3	3,081	0.3
汚水管 (km)	1,725	0.3	1,719	0.2	1,715	0.4
雨水管 (km)	1,031	0.2	1,029	0.4	1,025	0.3
合流管 (km)	341	0.0	341	0.0	341	0.3
1日汚水処理能力 (m ³)	303,900	0.0	303,900	0.0	303,900	△ 0.5
1日最大汚水処理水量 (m ³)	299,433	△ 16.1	356,864	8.7	328,194	△ 5.1
1日平均汚水処理水量 (m ³)	210,764	△ 18.8	259,449	△ 0.6	261,027	△ 1.6
総処理水量 (m ³)	105,982,087	2.8	103,117,538	0.8	102,253,348	△ 3.4
汚水処理水量 (m ³)	99,732,053	2.1	97,639,450	△ 1.0	98,639,704	△ 2.3
雨水処理水量 (m ³)	6,250,034	14.1	5,478,088	51.6	3,613,644	△ 26.4
有収水量 (m ³)	82,462,752	△ 0.1	82,567,615	△ 0.5	82,998,692	0.9
下水道事業収益 (千円)	29,085,854	△ 1.1	29,405,877	△ 1.0	29,701,146	0.5
下水道事業費用 (千円)	27,174,935	△ 3.5	28,155,377	0.6	27,997,530	△ 4.2
純利益 (千円)	1,910,919	52.8	1,250,500	△ 26.6	1,703,616	405.6
資本的収入 (千円)	14,759,809	△ 13.1	16,981,626	△ 3.5	17,597,885	△ 4.2
資本的支出 (千円)	24,965,711	△ 9.5	27,577,538	△ 1.4	27,962,804	1.0
資本的収支差引 (千円)	△ 10,205,902	3.7	△ 10,595,912	△ 2.2	△ 10,364,919	△ 11.3
年度末累積欠損金 (千円)	443,829	△ 81.2	2,354,748	△ 34.7	3,605,248	△ 32.1
汚水処理原価 (円/m ³)	158.7	△ 1.4	160.9	△ 0.2	161.3	△ 5.9
使用料単価 (円/m ³)	176.7	△ 1.1	178.8	△ 0.9	180.5	0.0
経費回収率 (%)	111.4	0.3ポイント	111.1	△ 0.8ポイント	111.9	6.6ポイント
職員数 (人)	294	2.8	286	△ 2.1	292	△ 0.7

(注1) 率を表す指標の対前年度伸率は、前年度からの増減ポイントとしている。

(注2) 職員数は、管理者・非常勤職員を除き、再任用職員・公益法人等への派遣職員を含む。

1-2 普及の推移

年 度	行政区域内 人口(人)	処理区域内 人口(人)	水洗化人口 (人)	普及率 (%)	水洗化率 (%)
H元	803,189	361,045	337,758	45.0	93.6
2	800,331	378,756	345,551	47.3	91.2
3	800,596	391,760	356,979	48.9	91.1
4	799,479	408,140	369,150	51.1	90.4
5	806,848	424,797	383,591	52.7	90.3
6	804,863	451,928	394,311	56.2	87.3
7	804,229	490,969	408,342	61.1	83.2
8	801,252	513,199	423,290	64.1	82.5
9	798,796	541,184	445,415	67.8	82.3
10	798,632	570,615	460,926	71.5	80.8
11	798,198	594,771	475,525	74.5	80.0
12	798,383	625,764	494,984	78.4	79.1
13	799,417	650,117	517,124	81.3	79.5
14	798,928	672,763	558,583	84.2	83.0
15	799,757	692,212	595,763	86.6	86.1
16	840,647	740,227	658,874	88.1	89.0
17	841,446	748,123	681,977	88.9	91.2
18	844,061	780,166	718,956	92.4	92.2
19	846,042	787,801	737,036	93.1	93.6
20	847,775	796,133	748,685	93.9	94.0
21	849,834	811,363	758,201	95.5	93.4
22	849,940	816,464	763,463	96.1	93.5
23	850,737	823,824	770,809	96.8	93.6
24	849,348	826,376	775,864	97.3	93.9
25	848,154	826,580	778,314	97.5	94.2
26	846,778	827,578	779,701	97.7	94.2
27	844,899	827,648	778,167	98.0	94.0
28	842,545	825,575	778,776	98.0	94.3
29	838,936	822,815	778,641	98.1	94.6
30	836,166	821,896	781,774	98.3	95.1

1-3 処理水量の推移

年度	総処理水量 (m^3)	対前年 伸び率 (%)	総処理水量内訳		一日平均 汚水処理水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大処理水量	
			汚水処理水量 (%)	雨水処理水量 (m^3)		晴天時 ($\text{m}^3/\text{日}$)	雨天時 ($\text{m}^3/\text{分}$)
H9	66,995,659	4.8	64,558,304	2,437,355	173,769	218,324	201
10	68,828,045	2.7	66,450,555	2,377,490	178,171	228,280	187
11	67,935,188	△ 1.3	65,705,273	2,229,915	170,904	241,205	208
12	69,482,504	2.3	67,548,357	1,934,147	183,291	233,888	220
13	70,768,945	1.9	68,267,576	2,501,369	185,477	237,055	284
14	71,769,980	1.4	69,433,694	2,336,286	187,876	234,609	221
15	75,031,950	4.5	71,874,204	3,157,746	186,370	242,700	277
16	77,069,908	2.7	73,934,904	3,135,004	197,831	286,222	250
17	73,359,480	△ 4.8	71,516,021	1,843,459	191,692	236,571	195
18	75,684,321	3.2	73,534,940	2,149,381	193,066	254,498	261
19	74,941,070	△ 1.0	72,259,628	2,681,442	192,608	251,016	222
20	77,387,779	3.3	74,036,385	3,351,394	196,980	239,444	248
21	76,199,684	△ 1.5	73,182,248	3,017,436	196,053	269,747	226
22	77,763,897	2.1	74,574,060	3,189,837	198,312	251,153	294
23	79,754,381	2.6	74,612,038	5,142,343	197,833	265,355	309
24	100,031,996	25.4	95,485,893	4,546,103	196,344	249,168	255
25	97,231,472	△ 2.8	93,766,424	3,465,048	194,851	247,699	374
26	101,746,251	4.6	98,487,201	3,259,050	203,592	339,056	1,026
27	105,902,939	4.1	100,995,297	4,907,642	265,284	345,709	1,082
28	102,253,348	△ 3.4	98,639,704	3,613,644	261,027	328,194	968
29	103,117,538	0.8	97,639,450	5,478,088	259,449	356,864	1,519
30	105,982,087	3.6	99,732,053	6,250,034	210,764	299,433	830

(注1) 平成24年度から、汚水処理水量には、流域関連公共下水道で処理した水量を含む。

1-4 排水設備工事件数

項目	年度	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
		(件数)	(戸数)	(件数)	(戸数)	(件数)	(戸数)
申請	新設	2,663	5,959	2,771	5,899	2,658	5,612
	改造	709	1,024	573	1,198	616	921
	計	3,372	6,983	3,344	7,097	3,274	6,533
検査	新設	2,644	6,065	2,635	5,150	2,664	5,540
	改造	726	1,204	539	1,021	614	870
	計	3,370	7,269	3,174	6,171	3,278	6,410

2 料金

2-1 使用区分別調定表（使用規模別）

(税込)

使用区分	区分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
基本使用料	件数(件)	110,116	109,119	101,558
	金額(円)	77,503,516	80,035,742	77,583,903
1~10m ³ (50円/m ³)	件数(件)	1,413,037	1,381,648	1,342,184
	水量(m ³)	8,242,470	8,078,427	7,887,801
	金額(円)	1,442,872,287	1,448,343,184	1,447,220,901
11~20m ³ (140円/m ³)	件数(件)	1,731,775	1,713,779	1,697,575
	水量(m ³)	26,482,717	26,228,707	26,010,967
	金額(円)	3,561,376,543	3,573,644,910	3,590,210,760
21~30m ³ (200円/m ³)	件数(件)	831,394	839,373	846,593
	水量(m ³)	20,168,955	20,332,669	20,520,115
	金額(円)	3,069,006,651	3,114,811,513	3,166,887,284
31~50m ³ (210円/m ³)	件数(件)	297,915	301,845	311,519
	水量(m ³)	10,728,332	10,873,318	11,242,669
	金額(円)	1,877,285,618	1,911,069,719	1,985,293,683
51~100m ³ (270円/m ³)	件数(件)	34,518	35,367	36,616
	水量(m ³)	2,107,371	2,150,133	2,228,491
	金額(円)	445,228,646	454,346,568	471,514,275
101~200m ³ (335円/m ³)	件数(件)	10,752	10,501	10,415
	水量(m ³)	1,483,221	1,453,358	1,429,000
	金額(円)	410,153,879	401,675,887	394,872,870
201~500m ³ (335円/m ³)	件数(件)	8,229	8,317	8,228
	水量(m ³)	2,476,370	2,479,855	2,450,676
	金額(円)	797,482,486	798,908,419	789,093,861
501~1,000m ³ (360円/m ³)	件数(件)	3,391	3,307	3,343
	水量(m ³)	2,345,342	2,315,582	2,336,218
	金額(円)	825,137,840	815,790,123	822,935,889
1,001~5,000m ³ (395円/m ³)	件数(件)	2,480	2,463	2,459
	水量(m ³)	4,581,213	4,544,629	4,576,859
	金額(円)	1,797,128,402	1,782,703,284	1,796,756,930
5,001m ³ ~ (395円/m ³)	件数(件)	369	399	424
	水量(m ³)	3,399,902	3,683,721	3,867,263
	金額(円)	1,427,207,249	1,548,584,269	1,625,312,411
一般用 小計	件数(件)	4,443,976	4,406,118	4,360,914
	水量(m ³)	82,015,893	82,140,399	82,550,059
	金額(円)	15,730,383,117	15,929,913,618	16,167,682,767
浴場用	件数(件)	258	271	299
	水量(m ³)	446,859	427,216	448,633
	金額(円)	10,617,271	10,150,546	10,659,405
合計	件数(件)	4,444,234	4,406,389	4,361,213
	水量(m ³)	82,462,752	82,567,615	82,998,692
	金額(円)	15,741,000,388	15,940,064,164	16,178,342,172

2-2 用途別・月別調定表

(税込)

月	用途区分	一 般 用			公衆浴場用	計
		隔月	毎月	計		
4月	件数(件)	376,775	1,687	378,462	15	378,477
	水量(m ³)	6,004,785	838,700	6,843,485	24,818	6,868,303
	金額(円)	975,181,474	317,269,702	1,292,451,176	589,670	1,293,040,846
5月	件数(件)	357,048	1,685	358,733	27	358,760
	水量(m ³)	5,664,798	876,296	6,541,094	48,799	6,589,893
	金額(円)	926,556,360	332,135,750	1,258,692,110	1,159,456	1,259,851,566
6月	件数(件)	377,577	1,684	379,261	17	379,278
	水量(m ³)	6,188,279	998,026	7,186,305	25,097	7,211,402
	金額(円)	1,008,105,881	378,924,903	1,387,030,784	596,297	1,387,627,081
7月	件数(件)	357,586	1,696	359,282	27	359,309
	水量(m ³)	5,670,795	1,035,881	6,706,676	49,004	6,755,680
	金額(円)	929,789,298	396,286,720	1,326,076,018	1,164,325	1,327,240,343
8月	件数(件)	378,982	1,695	380,677	19	380,696
	水量(m ³)	6,337,268	923,200	7,260,468	23,837	7,284,305
	金額(円)	1,036,999,105	351,768,431	1,388,767,536	566,360	1,389,333,896
9月	件数(件)	357,973	1,696	359,669	25	359,694
	水量(m ³)	5,763,976	959,540	6,723,516	49,430	6,772,946
	金額(円)	948,146,552	365,495,906	1,313,642,458	1,174,446	1,314,816,904
上半期計	件数(件)	2,205,941	10,143	2,216,084	130	2,216,214
	水量(m ³)	35,629,901	5,631,643	41,261,544	220,985	41,482,529
	金額(円)	5,824,778,670	2,141,881,412	7,966,660,082	5,250,554	7,971,910,636
10月	件数(件)	379,640	1,706	381,346	19	381,365
	水量(m ³)	6,242,201	870,063	7,112,264	25,362	7,137,626
	金額(円)	1,019,104,956	329,592,561	1,348,697,517	602,593	1,349,300,110
11月	件数(件)	358,425	1,689	360,114	27	360,141
	水量(m ³)	5,661,121	901,436	6,562,557	48,396	6,610,953
	金額(円)	929,821,085	341,933,469	1,271,754,554	1,149,879	1,272,904,433
12月	件数(件)	379,986	1,691	381,677	15	381,692
	水量(m ³)	6,046,728	844,250	6,890,978	23,782	6,914,760
	金額(円)	982,726,730	319,284,774	1,302,011,504	565,054	1,302,576,558
1月	件数(件)	358,673	1,692	360,365	27	360,392
	水量(m ³)	5,854,381	817,312	6,671,693	54,683	6,726,376
	金額(円)	964,309,895	308,559,547	1,272,869,442	1,299,257	1,274,168,699
2月	件数(件)	380,341	1,695	382,036	15	382,051
	水量(m ³)	6,384,605	856,356	7,240,961	26,714	7,267,675
	金額(円)	1,044,749,676	323,506,406	1,368,256,082	634,720	1,368,890,802
3月	件数(件)	360,643	1,711	362,354	25	362,379
	水量(m ³)	5,466,444	809,452	6,275,896	46,937	6,322,833
	金額(円)	894,986,235	305,147,701	1,200,133,936	1,115,214	1,201,249,150
下半期計	件数(件)	2,217,708	10,184	2,227,892	128	2,228,020
	水量(m ³)	35,655,480	5,098,869	40,754,349	225,874	40,980,223
	金額(円)	5,835,698,577	1,928,024,458	7,763,723,035	5,366,717	7,769,089,752
合計	件数(件)	4,423,649	20,327	4,443,976	258	4,444,234
	水量(m ³)	71,285,381	10,730,512	82,015,893	446,859	82,462,752
	金額(円)	11,660,477,247	4,069,905,870	15,730,383,117	10,617,271	15,741,000,388

2-3 月別徴収率 (H31.3.31 時点)

(税込)

区分 月別	調定額		徴収額		徴収率	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (%)	金額 (%)
平成30年 4月	163,549	1,293,040,846	163,129	1,290,400,759	99.74	99.80
5月	155,909	1,259,851,566	155,549	1,257,728,129	99.77	99.83
6月	163,289	1,387,627,081	162,848	1,385,238,367	99.73	99.83
7月	156,217	1,327,240,343	155,827	1,325,050,007	99.75	99.83
8月	163,870	1,389,333,896	163,369	1,386,450,834	99.69	99.79
9月	156,284	1,314,816,904	155,738	1,311,603,235	99.65	99.76
10月	164,401	1,349,300,110	163,305	1,343,103,244	99.33	99.54
11月	156,659	1,272,904,433	153,015	1,251,417,325	97.67	98.31
12月	164,831	1,302,576,558	157,423	1,261,372,416	95.51	96.84
平成31年1月	156,499	1,274,168,699	116,476	※ 916,598,159	74.43	※ 71.94
2月	164,643	1,368,890,802	1,061	※ 18,859,528	0.64	※ 1.38
3月	158,141	1,201,249,150	0	※ 0	0.00	※ 0.00
計	1,924,292	15,741,000,388	1,547,740	12,747,822,003	80.43	80.98
平成29年度	1,903,642	15,940,064,164	1,527,495	12,980,953,928	80.24	81.44
平成28年度	1,879,342	16,178,342,172	1,472,356	12,808,690,345	78.34	79.17

【参考】翌年度の6月末時点の徴収率

区分 年度別	調定額		徴収額		徴収率 (税込)	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (%)	金額 (%)
平成30年度	1,924,272	15,737,461,185	1,907,261	15,641,613,726	99.12	99.39
平成29年度	1,903,676	15,935,834,476	1,884,056	15,812,451,106	98.97	99.23
平成28年度	1,879,414	16,174,029,619	1,852,176	16,004,816,704	98.55	98.95

※ 1月～3月調定分の一部は、翌年度以降に徴収されるため、徴収額及び徴収率が低くなっている。

(水道料金と併せて徴収している下水道使用料は、一旦、水道事業会計で収入し、翌月に水道事業会計から下水道事業会計に支払っている。そのため下水道事業会計で収入するのは、水道事業より1か月遅くなっている。)

3 普及促進

3-1 里道・水路敷の下水道整備

里道、水路敷は隣接民有地と一体となった道路を形成しているのが一般的です。よって、隣接土地所有者の承諾を得た上で、整備を行うことを基本としています。

項目	平成30年度	平成29年度	平成28年度
路線数 (本)	8	3	2
管延長 (m)	585	154	120

3-2 私道の下水道整備

本市には私道が多く点在しており、私道への下水道整備を行うため、次の制度を設けて普及促進に努めています。

○ 私道公共下水道布設制度

- 以下の条件を満たしている場合、沿道住民の申請により、本市が私道内に公共下水道を設置する制度です。

- ・ 私道の一端が、公共下水道が布設されている道路に接していること。
- ・ 道路の形態を有し、現に一般の通行の用に供されていること。
- ・ 道路幅員等が、下水管の工事及び維持管理を行うのに十分であること。
- ・ 私道に汚水を排除する予定の未水洗家屋が2戸以上(所有者を同じくする家屋については1戸として数える。)あること。
- ・ 私道敷地の土地所有者全員の土地使用承諾書、その他必要書類が提出できること。
- ・ 利用者の内から代表者を選任できること。
- ・ 私道排水設備工事補助金の適用を受けた私道でないこと。
- ・ 工事完了後は、速やかに宅地内の水洗化改造工事を行うこと。

項目	平成30年度	平成29年度	平成28年度
申請件数 (件)	6	4	6
対象戸数 (戸)	41	11	18
道路延長 (m)	300	100	174

○ 私道排水設備工事補助金制度

➤ 以下の条件を満たしている私道については、共同で排水設備を設置するための補助金を利用できます。

- ・ 工事により家屋に障害が生じるおそれがないなど、排水設備工事が困難なく施行出来ること
- ・ 所有者の異なる交付要件家屋が2戸以上あること。
- ・ 補助対象家屋の3分の2以上が直ちに宅地内の水洗化改造工事を行うこと。
- ・ 私道敷地の土地所有者全員の土地使用承諾書を提出できること。
- ・ 補助金の交付を受けられる方から代表者を選任できること。

項目	平成30年度	平成29年度	平成28年度
申請件数 (件)	1	3	5
対象戸数 (戸)	6	34	35
道路延長 (m)	26	215	250
布設延長 (m)	25	235	298
総工事費 (千円)	4,406	26,055	37,735
補助額 (千円)	3,875	23,814	34,401

3-3 環境整備資金貸付金制度

既設のくみ取り便所（浄化槽も含む。）を、水洗便所に改造する市民の費用負担を軽くし、下水道の普及促進を図る目的から貸付金制度を設けています。

貸付条件は、便槽1個（浄化槽1基）に対し、400,000円以内(無利子)とし、貸付を受けた月の翌月から36か月以内の元金均等月賦償還としています。その他に、市民税や下水道事業受益者負担金の滞納がないこと、確実な連帯保証人を有することなどです。

項目	平成30年度	平成29年度	平成28年度
貸付件数 (件)	91	13	17
貸付金額 (円)	34,474,000	6,715,000	6,909,000

※環境整備資金貸付金制度は平成30年度末で終了しました。

3-4 生活扶助世帯への助成制度

公共下水道が整備された処理区域内において、生活保護法に基づく生活扶助を受けている世帯で、かつ持ち家の場合は、水洗化に際し、市の助成制度を設けています。

項目	平成30年度	平成29年度	平成28年度
助成件数 (件)	0	1	1
助成金額 (円)	0	456,224	689,000

4 維持管理

4-1 水再生センター

○ 流入水量等

名称	項目	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
豎川	降雨量	mm	1,486	1,237	1,114
	汚水揚水量	m ³	8,223,930	7,880,890	7,671,720
	雨水揚水量	m ³	765,575	557,700	483,425
	沈砂量	m ³	24.0	16.7	25.5
	しき量	m ³	46.1	56.3	52.0
	電力使用量	千kwh	274	266	262
	重油使用量	リットル	3,546	2,855	2,675
	上水使用量	m ³	3,324	2,884	2,055
古川 (第1施設)	降雨量	mm	1,486	1,237	1,114
	汚水揚水量	m ³	9,218,080	8,704,640	8,642,180
	雨水揚水量	m ³	982,470	777,035	627,850
	沈砂量	m ³	24.8	17.1	16.9
	しき量	m ³	19.1	20.9	17.4
	電力使用量	千kwh	440	422	429
	重油使用量	リットル	3,235	2,450	2,239
	上水使用量	m ³	1,601	1,608	1,569
出島	降雨量	mm	1,472	1,228	1,120
	汚水揚水量	m ³	(注1) -	4,805,450	4,661,170
	沈砂量	m ³	5.3	6.1	7.8
	しき量	m ³	2.3	2.6	3.8
	電力使用量	千kwh	394	363	374
	重油使用量	リットル	310	(注2) 167	(注2) -
	上水使用量	m ³	646	541	454
浜寺	降雨量	mm	1,358	1,065	1,003
	雨水揚水量	m ³	2,764,200	1,998,900	1,568,000
	沈砂量	m ³	24.2	19.3	23.8
	しき量	m ³	9.5	11.6	11.1
	電力使用量	千kwh	453	415	412
	重油使用量	リットル	15,882	11,288	8,744
	井水使用量	m ³	38,066	40,076	33,491
湊石津	降雨量	mm	1,494	1,210	1,146
	雨水揚水量	m ³	2,063,650	1,596,440	1,349,620
	沈砂量	m ³	27.0	20.9	23.6
	しき量	m ³	4.1	4.5	5.2
	電力使用量	千kwh	141	134	122
	重油使用量	リットル	2,724	2,365	4,117
	上水使用量	m ³	1,849	1,280	1,383
戎橋	降雨量	mm	1,483	1,228	1,173
	汚水揚水量	m ³	435,114	266,491	245,434
	雨水揚水量	m ³	49,005	31,184	27,455
	沈砂量	m ³	0.0	0.0	0.0
	しき量	m ³	0.3	0.3	0.3
	電力使用量	千kwh	44	45	45
	重油使用量	リットル	368	(注2) 32	(注2) -
	上水使用量	m ³	67	57	37

(注1)出島下水ポンプ場の汚水揚水量の平成30年度データについては、流量計の不具合によりデータが欠損したため、数値を記載していません。

(注2)出島下水ポンプ場と戎橋下水ポンプ場の重油使用量の平成28年度データについては、ポンプ場更新工事に伴いデータが欠損したため、数値を記載していません。また、平成29年度についても4月から8月のデータが欠損したため、その期間の重油使用量が含まれていない数値となっています。

○ 水質管理

名称	採水	項目	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
三 宝 水 再 生 セ ン タ ー	流 入 水	水温	℃	23	22	23
		透視度	度	4.4	5.0	4.8
		pH		7.5	7.5	7.5
		SS	mg/リットル	120	120	110
		BOD	mg/リットル	140	140	150
		COD	mg/リットル	90	83	93
		総窒素	mg/リットル	33	33	33
		アンモニア性窒素	mg/リットル	20	19	17
		亜硝酸性窒素	mg/リットル	0.1	0.1	0.1
		硝酸性窒素	mg/リットル	0.2	0.3	0.4
		有機性窒素	mg/リットル	13	12	15
		総リン	mg/リットル	3.6	3.8	3.8
		大腸菌群数	個/cm ³	260,000	230,000	180,000
	放 流 水	水温	℃	23	23	23
		透視度	度	100	100	100
		pH		7.2	7.3	7.3
		SS	mg/リットル	1	1	1
		BOD	mg/リットル	1.9	1.7	1.8
		COD	mg/リットル	8.8	8.6	8.8
		総窒素	mg/リットル	3.9	4.2	4.2
		アンモニア性窒素	mg/リットル	0.4	0.7	0.7
		亜硝酸性窒素	mg/リットル	0.1	0.1	0.1
		硝酸性窒素	mg/リットル	2.6	3.0	2.7
		有機性窒素	mg/リットル	0.9	0.5	0.7
総リン		mg/リットル	0.20	0.20	0.23	
大腸菌群数		個/cm ³	140	110	140	
石 津 水 再 生 セ ン タ ー	流 入 水	水温	℃	23	22	23
		透視度	度	4.8	4.8	4.6
		pH		7.6	7.7	7.6
		SS	mg/リットル	160	160	180
		BOD	mg/リットル	220	200	190
		COD	mg/リットル	120	130	140
		総窒素	mg/リットル	44	46	43
		アンモニア性窒素	mg/リットル	28	27	22
		亜硝酸性窒素	mg/リットル	0.1	0.1	0.1
		硝酸性窒素	mg/リットル	0.2	0.3	0.2
		有機性窒素	mg/リットル	16	19	21
		総リン	mg/リットル	5.3	4.9	4.4
		大腸菌群数	個/cm ³	180,000	240,000	380,000
	放 流 水	水温	℃	25	24	24
		透視度	度	86	87	88
		pH		7.2	7.3	7.3
		SS	mg/リットル	2	2	2
		BOD	mg/リットル	4.3	3.5	4.5
		COD	mg/リットル	12	11	12
		総窒素	mg/リットル	20	19	19
		アンモニア性窒素	mg/リットル	17	16	14
		亜硝酸性窒素	mg/リットル	0.5	0.8	0.9
		硝酸性窒素	mg/リットル	0.6	0.7	1.8
		有機性窒素	mg/リットル	1.9	1.5	2.3
総リン		mg/リットル	0.35	0.30	0.32	
大腸菌群数		個/cm ³	110	150	110	

名称	採水	項目	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
泉北水再生センター	流入水	水温	℃	22	20	21
		透視度	度	3.3	3.3	3.2
		pH		7.3	7.3	7.3
		SS	mg/リットル	210	200	200
		BOD	mg/リットル	230	220	190
		COD	mg/リットル	140	130	150
		総窒素	mg/リットル	41	39	38
		アンモニア性窒素	mg/リットル	20	18	18
		亜硝酸性窒素	mg/リットル	0.2	0.3	0.4
		硝酸性窒素	mg/リットル	0.7	0.8	1.0
		有機性窒素	mg/リットル	20	20	19
		総リン	mg/リットル	4.6	4.1	4.0
		大腸菌群数	個/cm ³	300,000	270,000	340,000
	放流水	水温	℃	22	21	22
		透視度	度	48	50	50
		pH		6.9	6.9	6.9
		SS	mg/リットル	1	1	1
		BOD	mg/リットル	2.6	1.6	1.6
		COD	mg/リットル	8.6	7.9	8.7
		総窒素	mg/リットル	8.5	7.8	8.6
		アンモニア性窒素	mg/リットル	1.5	0.8	1.0
		亜硝酸性窒素	mg/リットル	0.1	0.1	0.1
		硝酸性窒素	mg/リットル	5.5	6.5	6.9
有機性窒素	mg/リットル	1.4	0.4	0.6		
総リン	mg/リットル	0.35	0.30	0.30		
大腸菌群数	個/cm ³	58	62	43		

4-2 ポンプ場

名称	項目	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
堅川	降雨量	mm	1,486	1,237	1,114
	污水揚水量	m ³	8,223,930	7,880,890	7,671,720
	雨水揚水量	m ³	765,575	557,700	483,425
	沈砂量	m ³	24.0	16.7	25.5
	しさを	m ³	46.1	56.3	52.0
	電力使用量	千kwh	274	266	262
	重油使用量	リットル	3,546	2,855	2,675
	上水使用量	m ³	3,324	2,884	2,055
古川 (第1施設)	降雨量	mm	1,486	1,237	1,114
	污水揚水量	m ³	9,218,080	8,704,640	8,642,180
	雨水揚水量	m ³	982,470	777,035	627,850
	沈砂量	m ³	24.8	17.1	16.9
	しさを	m ³	19.1	20.9	17.4
	電力使用量	千kwh	440	422	429
	重油使用量	リットル	3,235	2,450	2,239
	上水使用量	m ³	1,601	1,608	1,569
出島	降雨量	mm	1,472	1,228	1,120
	污水揚水量	m ³	(注1) -	4,805,450	4,661,170
	沈砂量	m ³	5.3	6.1	7.8
	しさを	m ³	2.3	2.6	3.8
	電力使用量	千kwh	394	363	374
	重油使用量	リットル	310	(注2) 167	(注2) -
	上水使用量	m ³	646	541	454
	浜寺	降雨量	mm	1,358	1,065
雨水揚水量		m ³	2,764,200	1,998,900	1,568,000
沈砂量		m ³	24.2	19.3	23.8
しさを		m ³	9.5	11.6	11.1
電力使用量		千kwh	453	415	412
重油使用量		リットル	15,882	11,288	8,744
井水使用量		m ³	38,066	40,076	33,491
湊石津		降雨量	mm	1,494	1,210
	雨水揚水量	m ³	2,063,650	1,596,440	1,349,620
	沈砂量	m ³	27.0	20.9	23.6
	しさを	m ³	4.1	4.5	5.2
	電力使用量	千kwh	141	134	122
	重油使用量	リットル	2,724	2,365	4,117
	上水使用量	m ³	1,849	1,280	1,383
	戎橋	降雨量	mm	1,483	1,228
污水揚水量		m ³	435,114	266,491	245,434
雨水揚水量		m ³	49,005	31,184	27,455
沈砂量		m ³	0.0	0.0	0.0
しさを		m ³	0.3	0.3	0.3
電力使用量		千kwh	44	45	45
重油使用量		リットル	368	(注2) 32	(注2) -
上水使用量		m ³	67	57	37

(注1)出島下水ポンプ場の污水揚水量の平成30年度データについては、流量計の不具合によりデータが欠損したため、数値を記載していません。

(注2)出島下水ポンプ場と戎橋下水ポンプ場の重油使用量の平成28年度データについては、ポンプ場更新工事に伴いデータが欠損したため、数値を記載していません。また、平成29年度についても4月から8月のデータが欠損したため、その期間の重油使用量が含まれていない数値となっています。

4-3 管路施設

管路施設は、ひび割れ、継手部分のずれ、たるみ、蛇行等が生じると、管路の閉塞、不明水の流入等があり、最悪の場合は管路の破損による路面陥没等の事故が発生します。それを予防するためには、管路施設の計画的な調査、清掃、修繕、改築等の実施が重要です。

○ 予防保全

今後耐用年数を超過する管路施設が急増することが予想されるなか、持続的かつ安定的なサービスを提供するため、施設の特性、重要度に応じた管理手法を導入し、施設の長寿命化を図るとともに、適切な時期に効率的な改築・更新を実施しています。

項 目				平成30年度	平成29年度	平成28年度
下水管調査	本 管	污水管	m	0	24,539	64,396
		雨水管	m	0	19,300	41,828
	マンホール		ヶ所	1,141	4,717	5,780
	水路、側溝		m	0	0	41,300
下水管修繕	本 管	污水管	ヶ所	996	39	0
		雨水管	ヶ所	133	66	0
下水管更生	本 管	污水管	m	368	53	153
		雨水管	m	1,769	303	0
下水管更新	本 管	污水管	m	61	1,015	0
		雨水管	m	35	230	0
	マンホール		ヶ所	1,221	1,267	766

○ 事後保全

管路施設の管理区域は、下水道公示区域内の在来水路を含め、ほぼ市域全般に広がっています。広い地域で十分なサービスを提供するため、市域を3分割し、管路施設の修繕等に対応しています。

項 目				平成30年度	平成29年度	平成28年度
下水管調査	本 管	污水管	m	1,849	4,141	4,852
		雨水管	m	690	631	401
	マンホール		ヶ所	288	259	197
	污水柵及び取付管		ヶ所	214	180	139
	雨水柵及び取付管		ヶ所	7,173	8,066	14,955
下水管浚渫	本 管	污水管	m	1,758	744	1,928
		雨水管	m	426	371	507
	污水柵及び取付管		ヶ所	91	69	92
	雨水柵及び取付管		ヶ所	13,934	7,887	14,874
水路、側溝		m	35,707	38,525	28,038	
下水管修繕	本 管	污水管	m	63	49	42
		雨水管	m	126	56	60
	マンホール		ヶ所	201	125	412
	污水柵及び取付管		ヶ所	67	56	38
	雨水柵及び取付管		ヶ所	184	203	518
	水路、側溝		m	307	1,017.60	546.40

4-4 管きよ系機械・電気設備

○ マンホールポンプ設置状況

項 目		平成30年度	平成29年度	平成28年度	
マンホールポンプ	新設	ヶ所	5	3	1
	更新	ヶ所	7	8	0
	撤去	ヶ所	0	1	0
	当年度末残存数	ヶ所	233	228	226
宅内マンホールポンプ	新設	ヶ所	2	2	0
	更新	ヶ所	0	0	0
	撤去	ヶ所	0	0	0
	当年度末残存数	ヶ所	51	49	47

○ マンホールポンプ等点検・工事件数

項 目		平成30年度	平成29年度	平成28年度	
マンホールポンプ	引上げ点検	回数	130	166	180
	うち、緊急点検	回数	32	19	44
	警報緊急出動	回数	245	67	105
	修繕工事	回数	40	0	0
宅内マンホールポンプ	引上げ点検	回数	23	20	19
	うち、緊急点検	回数	0	0	0
	警報緊急出動	回数	6	5	0
	修繕工事	回数	2	2	0
調整池機械電気設備	引上げ点検	回数	3	4	5
	うち、緊急点検	回数	0	1	1
	警報緊急出動	回数	10	5	0
	修繕工事	回数	1	9	0

4-5 水質規制

下水道法における工場・事業場排水の水質規制は、下水道の施設や機能を守るとともに、水環境保全のための施設である終末処理場の放流水の水質を技術上の基準に適合させるために行います。

この目的を担保するために、下水道に排除する特定施設の設置者に届出の義務を課すとともに、指導対象事業場については立入検査、水質検査を通して、除害施設の運転管理状況や排水の水質等の状況を監視し、下水道排除基準に適合するよう指導を行っています。

○ 事業場数

項 目		平成30年度	平成29年度	平成28年度
特定事業場	(ヶ所)	438	453	451
一般事業場	(ヶ所)	30	28	26
計	(ヶ所)	468	481	477
再掲	指導対象事業場 (ヶ所)	328	326	322
	除害施設設置事業場 (ヶ所)	288	287	283

○ 立入検査等実施状況

項 目	平成30年度	平成29年度	平成28年度
立入検査実施回数 (回)	1047	838	893
水質検査実施回数 (回)	547	562	540
報告書徴収数 (回)	362	392	379
行政指導回数 (回)	20	22	12

○ 各種届出状況

項 目	平成30年度	平成29年度	平成28年度
特定施設使用届	1	1	0
特定施設設置届	9	9	11
特定施設の構造等変更届	42	26	23
特定施設使用廃止届	14	9	11
氏名変更等届	48	12	41
承継届	9	2	4
公共下水道使用開始届	21	19	15
除害施設設置等届	25	18	15
除害施設氏名等変更届	44	9	36
除害施設使用廃止届	5	5	2
除害施設承継届	7	1	0
工事完工届	13	15	10

○ 排出基準（平成 27 年 10 月 21 日 改定）

（単位 mg/リットル）

項 目	特定事業場(排水量)			一般事業場		
	50m ³ /日以上	30m ³ /日以上 50m ³ /日未満	30m ³ /日未満			
カドミウム	0.03	0.03	0.03	0.03		
シアン	1	1	1	1		
有機リン	1	1	1	1		
鉛	0.1	0.1	0.1	0.1		
六価クロム	0.5	0.5	0.5	0.5		
ヒ素	0.1	0.1	0.1	0.1		
総水銀	0.005	0.005	0.005	0.005		
アルキル水銀	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと		
ポリ塩化ビフェニル	0.003	0.003	0.003	0.003		
トリクロロエチレン	0.1	0.1	0.1	0.1		
テトラクロロエチレン	0.1	0.1	0.1	0.1		
ジクロロメタン	0.2	0.2	0.2	0.2		
四塩化炭素	0.02	0.02	0.02	0.02		
1, 2-ジクロロエタン	0.04	0.04	0.04	0.04		
1, 1-ジクロロエチレン	1	1	1	1		
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.4	0.4	0.4	0.4		
1, 1, 1-トリクロロエタン	3	3	3	3		
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.06	0.06	0.06	0.06		
1, 3-ジクロロプロペン	0.02	0.02	0.02	0.02		
チウラム	0.06	0.06	0.06	0.06		
シマジン	0.03	0.03	0.03	0.03		
チオベンカルブ	0.2	0.2	0.2	0.2		
ベンゼン	0.1	0.1	0.1	0.1		
セレン	0.1	0.1	0.1	0.1		
ほう素	10	10	10	10		
ふっ素	石津・北部処理区	15	15	15		
	他の処理区	8	8	8		
1, 4-ジオキサン	0.5	0.5	0.5	0.5		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/リットル)	10	10	10	10		
アンモニア性窒素、 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素	380	380	380	380		
生活環境項目等	フェノール類	石津処理区	2	2	2	
		今池処理区	新設 1 既設 5	新設 1 既設 5	1	1
		北部処理区	新設 1 既設 2	新設 1 既設 2	1	1
		他の処理区	5	5	5	5
	銅	3	3	3	3	
	亜鉛	2	2	2	2	
	鉄(溶解性)	10	10	10	10	
	マンガン(溶解性)	10	10	10	10	
	クロム	2	2	2	2	
	BOD	600	600	600	600	
	SS	600	600	600	600	
	N-ヘキサン抽出物質	鉱油類	5	5	5	5
		動植物油脂類	30	30	30	30
	pH	5を超9未満	5を超9未満	5を超9未満	5を超9未満	
	窒素含有量	240	240	240	240	
	リン含有量	32	32	32	32	
温度	45℃	45℃	45℃	45℃		
ヨウ素消費量	220	220	220	220		
色又は臭気	放流先で支障をきたすような色又は臭気を帯びていないこと。					

(注1) 単位はpH、温度およびダイオキシン類を除き全てmg/リットル。

(注2) フェノール類: 今池、北部処理区の基準で新設は、昭和49年11月2日以降に設置されたもの又は平成6年11月2日以降に(但し 昭和49年11月2日から平成6年11月1日の間にあらたに特定施設に追加されたもののみ) 設置されたもの。これ以外は既設。

○ 業種別水質規制事業場詳細

業種	処理区名								市計		
	三宝		石津		泉北		今池				
	事業場数	排水量 (m ³ /日)	事業場数	排水量 (m ³ /日)	事業場数	排水量 (m ³ /日)	事業場数	排水量 (m ³ /日)	事業場数	排水量 (m ³ /日)	
製造業	食料品業	10	476	11	648	5	436	7	389	33	1,949
	繊維、染色業	2	775	3	136	8	491	1	47	14	1,449
	化学	7	1,363	0	0	2	43	3	38	12	1,444
	ゴム、木材	3	62	0	0	0	0	1	1	4	63
	窯業	5	219	0	0	2	41	3	9	10	269
	鉄鋼業	2	120	0	0	0	0	1	21	3	141
	非鉄金属業	5	2,547	0	0	0	0	0	0	5	2,547
	金属加工業	4	271	2	3	1	10	1	4	8	288
	機械	6	956	3	391	2	3	7	627	18	1,977
	自転車部品業	2	27	1	1,145	0	0	0	0	3	1,172
	鍍金業	8	225	1	6	0	0	1	29	10	260
	表面処理業	8	130	5	19	0	0	5	66	18	215
非製造業	クリーニング	34	302	19	326	6	319	12	35	71	982
	印刷、写真	13	141	4	10	4	80	3	34	24	265
	洗車場	22	141	40	163	23	138	24	111	109	553
	官公庁	7	860	1	572	4	440	3	535	15	2,407
	病院	5	2,868	6	1,075	6	1,243	3	398	20	5,584
	旅館	21	387	14	292	0	0	3	3	38	682
	飲食店	12	1,530	4	1,222	1	40	0	0	17	2,792
その他	15	8,909	10	90	4	217	8	39	37	9,255	
計	191	22,309	124	6,098	68	3,501	86	2,386	468	34,294	

(注1) 官公庁の事業場のうち、三宝処理区と今池処理区にまたがって事業を行っている事業者があるため、事業場数 市計において1を減じています。

5 経営状況

5-1 比較損益計算書

(税抜)

科 目	平成 30 年度			平成 29 年度			平成 28 年度		
	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %
1. 営業収益	22,255,015,205	76.5	△2.2	22,763,343,989	77.4	△0.1	22,786,027,640	76.7	△0.9
(1) 下水道使用料	14,575,000,372	50.1	△1.2	14,759,318,679	50.2	△1.5	14,979,946,453	50.4	0.9
(2) 他会計負担金	7,464,675,832	25.7	△4.1	7,787,398,365	26.5	2.7	7,579,128,082	25.5	△4.7
(3) 負担金	198,491,902	0.6	0.6	197,236,162	0.6	△4.8	207,197,377	0.7	8.1
(4) その他営業収益	16,847,099	0.1	△13.1	19,390,783	0.1	△1.8	19,755,718	0.1	△3.3
2. 営業費用	22,397,437,871	82.4	△0.7	22,547,546,667	80.1	1.9	22,128,003,646	79.0	△1.5
(1) 管きよ費	1,189,721,189	4.4	△13.2	1,370,923,507	4.9	31.6	1,041,696,531	3.7	3.2
(2) ポンプ場費	555,646,113	2.0	3.6	536,219,184	1.9	△1.1	542,352,995	1.9	△15.4
(3) 処理場費	3,268,106,186	12.0	△0.6	3,286,892,117	11.7	2.1	3,219,677,912	11.5	△4.7
(4) 水質検査費	50,550,095	0.2	1.8	49,655,462	0.2	10.7	44,851,054	0.2	27.4
(5) 水質規制費	77,954,072	0.3	2.2	76,281,641	0.3	35.4	56,345,537	0.2	△17.6
(6) 普及促進費	281,650,733	1.0	△4.6	295,276,616	1.0	3.3	285,956,378	1.0	△11.5
(7) 環境整備資金貸付事業費	10,624,858	0.0	3.5	10,267,975	0.0	△30.9	14,857,861	0.1	32.2
(8) 業務費	545,704,212	2.0	15.9	471,013,487	1.7	△2.1	480,984,546	1.7	△0.1
(9) 総係費	557,457,168	2.1	16.8	477,132,183	1.7	△12.0	542,413,001	1.9	△29.7
(10) 維持管理負担金	689,765,863	2.6	△0.9	696,252,096	2.5	2.1	682,236,833	2.4	2.2
(11) し尿処理費	71,121,243	0.3	△6.9	76,417,606	0.3	5.5	72,445,402	0.3	5.1
(12) 減価償却費	15,007,803,277	55.2	△0.5	15,078,313,940	53.5	0.0	15,073,477,346	53.8	1.7
(13) 資産減耗費	91,332,862	0.3	△25.7	122,900,853	0.4	73.8	70,708,250	0.3	△59.6
営業利益(△営業損失)	△ 142,422,666	-	△166.0	215,797,322	-	△67.2	658,023,994	-	20.5
3. 営業外収益	6,689,120,941	23.0	1.2	6,608,742,132	22.5	△2.8	6,801,935,797	22.9	8.5
(1) 受取利息及び配当金	2,354,242	0.0	△77.2	10,323,076	0.0	223.6	3,189,913	0.0	93.7
(2) 他会計補助金	519,264,533	1.8	45.4	357,085,865	1.2	△39.8	593,305,649	2.0	313.0
(3) 補助金	660,500	0.0	△98.9	57,773,500	0.2	8,836.3	646,500	0.0	△42.1
(4) 長期前受金戻入	5,882,891,839	20.2	△0.4	5,905,883,484	20.1	△0.1	5,913,401,103	19.9	0.9
(5) 雑収益	283,949,827	1.0	2.3	277,676,207	1.0	△4.7	291,392,632	1.0	13.4
4. 営業外費用	4,744,291,750	17.4	△6.9	5,093,317,932	18.1	△6.5	5,449,717,862	19.5	△6.6
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	4,627,661,048	17.0	△7.1	4,982,622,064	17.7	△7.1	5,363,996,556	19.2	△6.9
(2) 補償補填及び賠償金	11,405,518	0.0	20,331.6	55,823	0.0	皆増	0	0.0	皆減
(3) 雑支出	105,225,184	0.4	△4.9	110,640,045	0.4	29.1	85,721,306	0.3	16.4
営業外利益(△営業外損失)	1,944,829,191	-	28.3	1,515,424,200	-	12.1	1,352,217,935	-	212.4
経常利益(△経常損失)	1,802,406,525	-	4.1	1,731,221,522	-	△13.9	2,010,241,929	-	105.3
5. 特別利益	141,717,881	0.5	319.4	33,790,987	0.1	△70.1	113,182,197	0.4	△60.0
(1) 固定資産売却益	0	0.0	-	0	0.0	皆減	1,875,066	0.0	皆増
(2) 過年度損益修正益	132,726,881	0.5	14,614.9	901,987	0.0	△99.0	87,409,131	0.3	901.0
(3) その他特別利益	8,991,000	0.0	△72.7	32,889,000	0.1	37.6	23,898,000	0.1	0.0
6. 特別損失	33,205,226	0.2	△93.5	514,512,780	1.8	22.6	419,807,982	1.5	△54.6
(1) 過年度損益修正損	8,793,226	0.1	△13.1	10,120,302	0.0	31.3	7,707,982	0.0	△22.5
(2) 固定資産売却損	0	0.0	皆減	67,880,478	0.2	皆増	0	0.0	-
(3) その他特別損失	24,412,000	0.1	△94.4	436,512,000	1.6	5.9	412,100,000	1.5	0.0
特別損益	108,512,655	-	122.6	△480,721,793	-	△56.8	△306,625,785	-	52.2
当年度純利益(△純損失)	1,910,919,180	-	52.8	1,250,499,729	-	△26.6	1,703,616,144	-	405.6
前年度繰越利益剰余金(△繰越欠損金)	△2,354,748,661	-	34.7	△3,605,248,390	-	32.1	△5,308,864,534	-	6.0
当年度末処分利益剰余金(△未処理欠損金)	△443,829,481	-	81.2	△2,354,748,661	-	34.7	△3,605,248,390	-	32.1
総 収 益	29,085,854,027	100.0	△1.1	29,405,877,108	100.0	△1.0	29,701,145,634	100.0	0.5
総 費 用	27,174,934,847	100.0	△3.5	28,155,377,379	100.0	0.6	27,997,529,490	100.0	△4.2

5-2 比較貸借対照表

(税抜)

科 目	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %	金 額 円	構成比 %	対前年 度伸率 %
1. 固定資産	489,200,892,166	98.0	△1.4	496,001,307,167	97.6	△0.7	499,466,325,514	98.1	△0.8
(1)有形固定資産	478,554,333,010	95.9	△1.4	485,239,180,171	95.4	△0.7	488,616,869,647	95.9	△0.8
(2)無形固定資産	10,588,949,005	2.1	1.5	10,427,939,384	2.1	△0.8	10,515,280,855	2.1	△1.2
(3)投資その他の資産	57,610,151	0.0	△82.8	334,187,612	0.1	0.0	334,175,012	0.1	△47.3
2. 流動資産	9,830,676,867	2.0	△20.7	12,399,170,246	2.4	31.4	9,436,923,703	1.9	△2.2
(1)現金・預金	4,006,654,867	0.8	△52.5	8,430,625,327	1.6	58.7	5,311,155,234	1.0	△2.4
(2)未収金	3,420,003,139	0.7	1.6	3,365,501,919	0.7	△11.2	3,790,223,874	0.8	△7.6
(3)貸倒引当金	△38,263,000	0.0	△44.6	△26,457,000	0.0	3.4	△27,399,000	0.0	16.0
(4)前払金	2,426,331,171	0.5	285.4	629,500,000	0.1	73.4	362,943,595	0.1	157.4
(5)短期貸付金	15,950,690	0.0	皆増	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
資産合計	499,031,569,033	100.0	△1.8	508,400,477,413	100.0	△0.1	508,903,249,217	100.0	△0.9
3. 固定負債	238,773,266,998	47.8	△2.4	244,521,048,439	48.1	△1.7	248,754,987,193	48.9	△1.6
(1)建設改良費等の財源に充てるための 企業債	233,844,538,998	46.9	△2.4	239,488,041,306	47.1	△1.9	244,039,710,216	48.0	△2.0
(2)建設改良費等の財源に充てるための 長期借入金	3,285,000,000	0.6	△1.4	3,331,000,000	0.7	△1.3	3,375,000,000	0.7	19.3
(3)リース債務	0	0.0	皆減	3,161,133	0.0	△57.1	7,375,977	0.0	△36.4
(4)退職給付引当金	964,443,000	0.2	△2.3	987,405,000	0.2	66.1	594,569,000	0.1	119.0
(5)修繕引当金	679,285,000	0.1	△4.5	711,441,000	0.1	△3.6	738,332,000	0.1	△8.3
4. 流動負債	22,024,118,377	4.4	△13.4	25,428,279,944	5.0	12.0	22,700,394,466	4.4	△5.8
(1)建設改良費等の財源に充てるための 企業債	16,214,502,307	3.3	△1.1	16,401,868,910	3.2	3.9	15,784,683,164	3.1	0.4
(2)建設改良費等の財源に充てるための 長期借入金	46,000,000	0.0	4.5	44,000,000	0.0	2.3	43,000,000	0.0	皆増
(3)リース債務	3,161,133	0.0	△25.0	4,214,844	0.0	0.0	4,214,844	0.0	0.0
(4)未払金	5,590,129,155	1.1	△36.5	8,805,251,813	1.8	31.9	6,675,745,180	1.3	△18.2
(5)前受金	775,560	0.0	0.0	775,560	0.0	0.0	775,560	0.0	皆増
(6)預り金	85,594,222	0.0	△7.8	92,878,817	0.0	△14.7	108,841,718	0.0	△19.3
(7)賞与引当金	70,398,000	0.0	5.5	66,733,000	0.0	△4.6	69,950,000	0.0	1.3
(8)法定福利費引当金	13,558,000	0.0	8.0	12,557,000	0.0	△4.8	13,184,000	0.0	△0.5
5. 繰延収益	167,437,762,895	33.6	△1.5	169,954,560,133	33.4	△0.5	170,860,338,977	33.6	△0.6
(1)長期前受金	266,440,803,456	53.4	1.2	263,378,586,677	51.8	1.9	258,481,504,398	50.8	1.9
(2)長期前受金収益化累計額	△ 99,003,040,561	△ 19.8	△6.0	△ 93,424,026,544	△ 18.4	△6.6	△ 87,621,165,421	△ 17.2	△7.1
負債合計	428,235,148,270	85.8	△2.7	439,903,888,516	86.5	△0.5	442,315,720,636	87.0	△1.5
6. 資本金	58,406,477,051	11.7	1.1	57,757,623,246	11.4	1.1	57,120,757,110	11.2	1.2
(1)自己資本金	58,406,477,051	11.7	1.1	57,757,623,246	11.4	1.1	57,120,757,110	11.2	1.2
7. 剰余金	12,389,943,712	2.5	15.4	10,738,965,651	2.1	13.4	9,466,771,471	1.9	17.5
(1)資本剰余金	12,833,773,193	2.6	△2.0	13,093,714,312	2.6	0.2	13,072,019,861	2.6	△2.2
(2)利益剰余金(△欠損金)	△443,829,481	△ 0.1	81.2	△2,354,748,661	△ 0.5	34.7	△3,605,248,390	△ 0.7	32.1
資本合計	70,796,420,763	14.2	3.4	68,496,588,897	13.5	2.9	66,587,528,581	13.1	3.3
負債・資本合計	499,031,569,033	100.0	△1.8	508,400,477,413	100.0	△0.1	508,903,249,217	100.0	△0.9

5-3 目的別原価

(税抜)

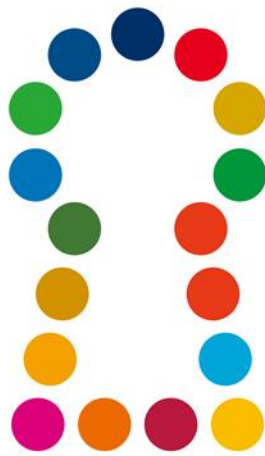
区 分 項 目	平成30年度				平成29年度				平成28年度			
	原価費用 (汚水) 千円	構成比 %	対前年 度伸率 %	1㎡当り の原価 円	原価費用 (汚水) 千円	構成比 %	対前年 度伸率 %	1㎡当り の原価 円	原価費用 (汚水) 千円	構成比 %	対前年 度伸率 %	1㎡当り の原価 円
人件費	807,926	6.2	2.1	9.80	792,549	6.0	△7.8	9.60	864,473	6.5	△7.5	10.41
動力費	413,079	3.2	2.0	5.01	405,310	3.1	4.2	4.91	390,683	2.9	△19.3	4.71
薬品費	21,000	0.2	△35.9	0.25	31,906	0.2	5.4	0.39	30,716	0.2	△9.8	0.37
修繕費	250,290	1.9	△23.0	3.04	326,028	2.5	67.4	3.95	196,180	1.5	△17.8	2.36
委託料	2,125,688	16.2	△0.6	25.78	2,141,329	16.1	△1.5	25.93	2,185,384	16.3	△5.6	26.33
減価償却費	5,317,380	40.6	△0.4	64.48	5,344,528	40.2	0.9	64.73	5,324,268	39.8	△4.4	64.15
支払利息	2,644,588	20.2	△7.4	32.07	2,858,601	21.5	△5.4	34.62	3,038,055	22.7	△7.9	36.60
その他の費用	1,508,521	11.5	9.3	18.29	1,381,385	10.4	2.5	16.73	1,354,184	10.1	0.4	16.32
合 計	13,088,472	100.0	△1.3	158.72	13,281,636	100.0	△0.2	160.86	13,383,943	100.0	△5.9	161.25

5-4 経営指標

項目	単位	算出基礎	平成30年度	平成29年度	平成28年度
自己資本構成比率	(%)	(自己資本金+剰余金+繰延収益)/負債資本合計×100	47.7	46.9	46.7
固定資産対長期資本比率	(%)	固定資産/(固定負債+資本金+剰余金+繰延収益)×100	102.6	102.7	102.7
流動比率	(%)	流動資産/流動負債×100	44.6	48.7	41.5
現金比率	(%)	現金預金/流動負債×100	18.1	33.1	23.3
未収金回転率	(回)	(営業収益-受託工事収益)/((期首期末金+期末未収金)/2)	6.30	6.11	5.54
総資本利益率	(%)	経常利益/(期首負債資本合計+期末負債資本合計)/2)×100	0.4	0.3	0.4
経常収支比率	(%)	(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)×100	106.7	106.3	107.3
営業収支比率	(%)	(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費用)×100	96.6	98.1	100.0
利子負担率	(%)	支払利息/(企業債+長期借入金+リース債務)×100	1.8	1.9	2.0
企業債償還元金対減価償却比率	(%)	企業債償還元金(借換債除く)/(減価償却費-長期前受金戻入)×100	179.9	172.2	171.7
企業債利息対使用料収入比率	(%)	(企業債利息(汚水分)/料金収入)×100	31.7	33.7	35.8
企業債償還元金対使用料収入比率	(%)	建設改良のための企業債償還元金/使用料収入×100	98.5	95.1	98.7
経常利益率	(%)	(営業収益-営業費用+営業外収益-営業外費用)/(営業収益)×100	8.4	7.8	9.1
施設利用率	(%)	現在晴天時平均処理水量/現在処理能力(晴天時)×100	69.4	66.1	66.4
晴天時最大稼働率(単独公共下水道)	(%)	晴天時最大処理水量/現在処理能力(晴天時)×100	98.5	95.4	85.5
雨天時最大稼働率(単独公共下水道)	(%)	雨天時最大処理水量/現在処理能力(雨天時)×100	175.9	198.5	81.8
使用料単価	(円/m ³)	使用料収入/年間有収水量	176.7	178.8	180.5
処理原価	(円/m ³)	汚水処理費/年間有収水量	158.7	160.9	161.3
経費回収率	(%)	使用料単価/処理原価×100	111.4	111.1	111.9
有収率	(%)	年間有収水量/年間汚水処理量×100	84.1	86.0	85.5
管きょ経年化率	(%)	法定耐用年数を超えた管きょ延長/下水管布設延長×100	8.1	7.7	5.8
重要な管きょの耐震化率	(%)	耐震化済重要な管きょ延長/重要な管きょ延長×100	99.6	99.5	99.3
負荷率(単独公共下水道)	(%)	現在晴天時平均処理水量/晴天時最大処理水量×100	70.4	69.3	77.6
職員1人当たり処理人口	(人)	公共区域内人口/損益勘定職員数	4,806	5,111	5,292
1ヶ月当たり家庭用料金(20m ³)【税込額】	円	1ヶ月当たりの一般家庭用(口径20mm以下)の基本料金+20m ³ 使用時の従量料金	2,770	2,770	2,824

上下水道事業年報 平成 30 年度(2018 年度)
令和元年 10 月発行

編集・発行 堺市上下水道局経営企画室
〒591-8505
堺市北区百舌鳥梅北町1丁39番地2
TEL 072-250-3427
FAX 072-250-6600
URL <http://www.water.sakai.lg.jp/>



笑顔あふれる 住み続けたいまち

SDGs未来都市・堺

Sustainable Development Goals Future City, SAKAI CITY



上下水道局

www.water.sakai.lg.jp



上下水道局マスコット
キャラクター
「すいちゃん」